



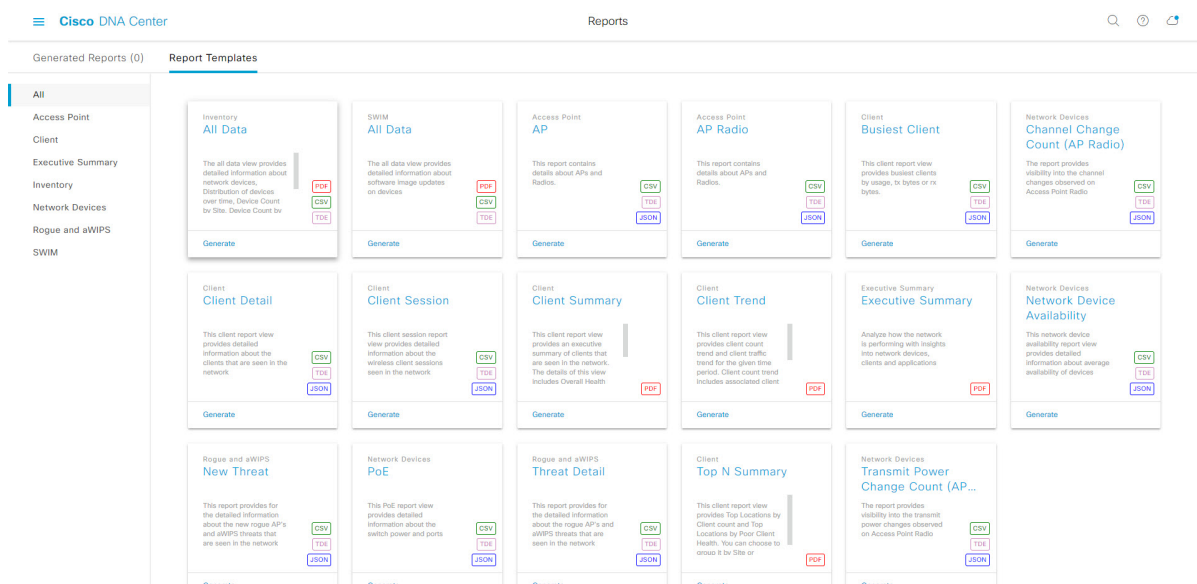
レポート

- レポートの概要 (1 ページ)
- 最初のレポートの実行 (2 ページ)
- アクセスポイントレポートの実行 (12 ページ)
- クライアントレポートの実行 (20 ページ)
- エグゼクティブ サマリー レポートの実行 (29 ページ)
- インベントリレポートの実行 (38 ページ)
- ネットワーク デバイス レポートの実行 (47 ページ)
- 不正および aWIPS レポートの実行 (56 ページ)
- SWIM レポートの実行 (65 ページ)
- 生成されたレポートの表示 (74 ページ)

レポートの概要

Cisco DNA Center プラットフォームの**レポート**機能のデータを使用すると、ネットワークとその動作に関する洞察を得ることができます。このデータがいくつかの形式でレポートされることと、柔軟なスケジューリングおよび設定オプションが提供されることにより、データとレポートの両方を運用上のニーズに合わせて容易にカスタマイズできます。

図 1: Cisco DNA Center プラットフォーム



[Reports] 機能は、次の使用例をサポートしています。

- キャパシティプランニング：ネットワーク内のデバイスがどのように利用されているのかを理解できます。
- パターンの変更：ネットワークでの使用パターンの傾向の変化を追跡します。使用パターンの傾向には、クライアント、デバイス、バンド、またはアプリケーションが含まれる場合があります。
- 運用レポート：アップグレード完了やプロビジョニング障害などのネットワーク運用に関するレポートを確認できます。
- ネットワークの正常性：レポートによってネットワークの全体的な正常性を判断できます。

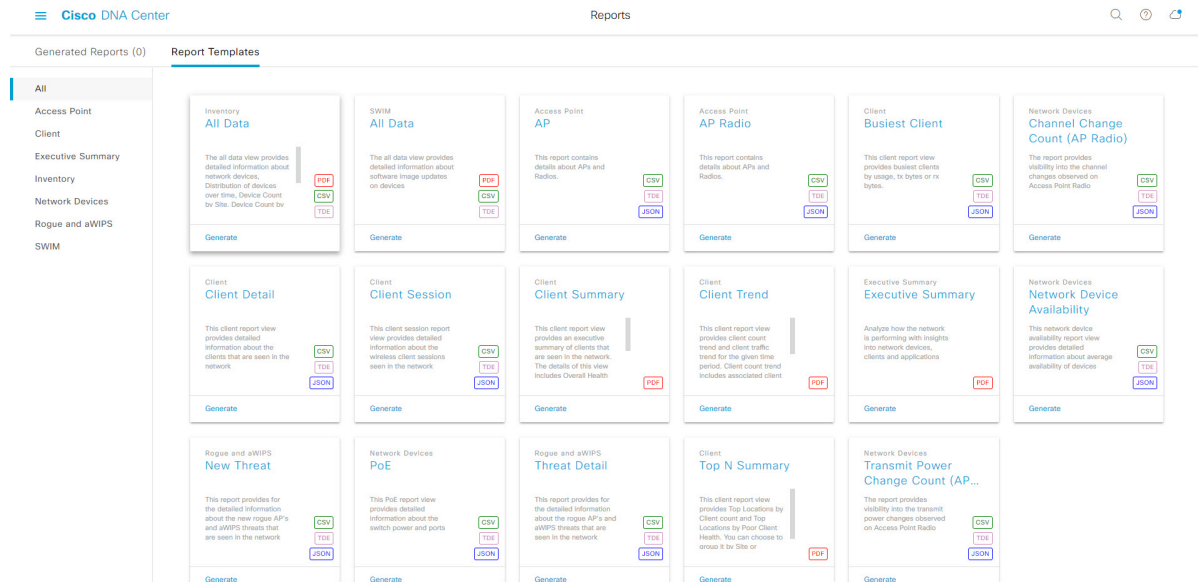


(注) [Reports]機能の新しい使用例は、将来のリリースで追加される予定です。これらの情報については、今後の Cisco DNA Center プラットフォーム のリリースノートで確認してください。

最初のレポートの実行

ネットワークについての専門的なデータレポートの実行を開始するには、この手順を実行します。Cisco DNA Center GUI の [Reports] ウィンドウを使用してデータレポートを設定できます。

図 2: Cisco DNA Center プラットフォームの [Reports] ウィンドウ



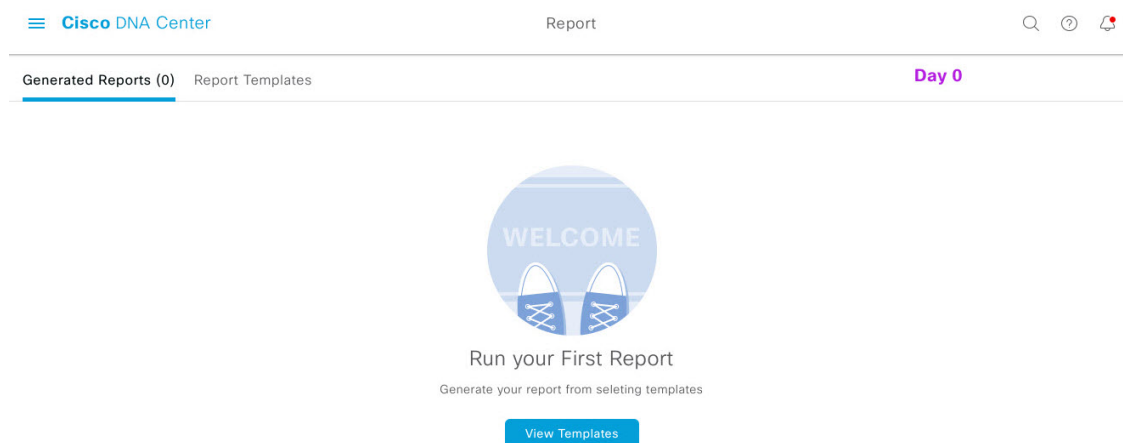
始める前に

- 正常なディスクバリジョブを Cisco DNA Center で実行します。[Device Inventory] でディスクバリジョブが成功しているかどうか確認できます。[Menu] アイコン (☰) から、[Provision] > [Inventory] の順にクリックして結果を表示します。

ステップ 1 [Reports]Cisco DNA Center GUI で [Menu] アイコン (☰) をクリックして。

[Run Your First Report] ウィンドウが表示されます。

図 3: [Run Your First Report] ウィンドウ



ステップ 2 [View Reports Templates] をクリックします。

[Report Templates] ウィンドウが開き、slide-in pane にサポートされているレポートカテゴリが表示されます。各カテゴリはリンクで表されます。リンクをクリックすると、そのカテゴリでサポートされているレポートのみが表示されます。

このリリースでは、次のカテゴリのレポートがサポートされています。

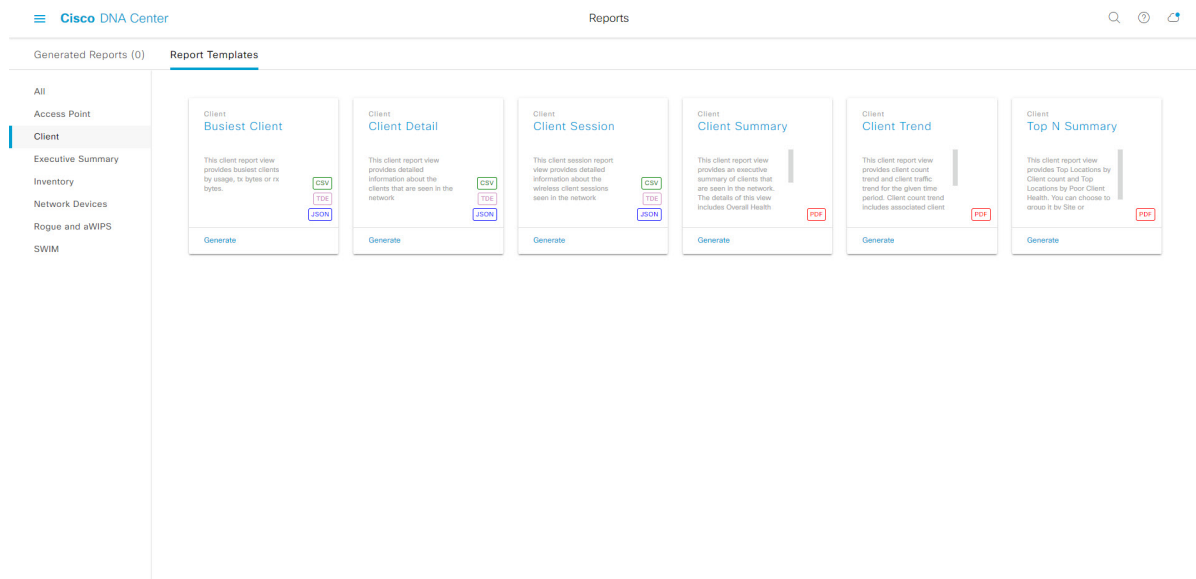
- [Access Point] : アクセスポイントおよびアクセスポイントの無線に関するデータを提供するレポート。
- [Client] : ネットワークにおけるクライアントのパフォーマンスの分析に役立つレポート。
- [Executive Summary] : ネットワークにおけるデバイス、アプリケーション、クライアントのパフォーマンスの分析に役立つレポート。
- [Inventory] : Cisco DNA Center で検出されたデバイスを一覧表示するレポート。
- [Network Devices] : ネットワーク内のデバイスに関するデータを提供するレポート。
- [Rogue and aWIPS] : ネットワーク内の脅威に関するデータを提供するレポート。
- [SWIM] : ネットワーク内のすべてのデバイスのソフトウェアとバージョンを一覧表示するレポート。

(注) [Access Point]、[Client]、[Executive Summary] のレポートのデータは最大 90 日間保持されません。

(注) この手順では、例として [Clients] を選択しています。レポートで使用可能なオプションと GUI に表示されるオプションは、選択したレポートのタイプによって異なります。

ステップ 3 リンクをクリックした後、選択したカテゴリの [Report Templates] ウィンドウを確認します。

図 4: [Report Templates] ウィンドウ



[Report Templates] ウィンドウに、サポートされているレポートテンプレートが表示されます。各テンプレートはタイルで表され、レポートに関する情報とレポートを設定（生成）するためのリンクが含まれています。表示されたテンプレートからレポートの生成に使用するテンプレートを選びます。たとえば、クライアントレポートの場合は、[Client Summary]、[Client Detail]、[Top N Summary]、[Client Trend]、[Client Session] のレポートを作成できます。サポートされるレポートのファイルタイプ（PDF、CSV、TDE、JSON）も各タイル内にアイコンで示されます。

ステップ 4 サンプルレポートを表示するには、タイルでヘッダーをクリックします。

そのサンプルレポートの [Preview] ウィンドウが表示されます。ウィンドウのサイドバーを使用して下にスクロールし、サンプルレポート全体を確認します。次のデータが表示されます。

- 適用されたフィルタ（レポートを構築するために使用されたデータフィルタ）。
- データメトリックとサマリー。
- データのグラフィカル表示（回線、バー、円グラフを含む）。
- データの分析を支援するテーブル。

(注) サンプルレポートを使用して、レポートの表示方法を計画できます。

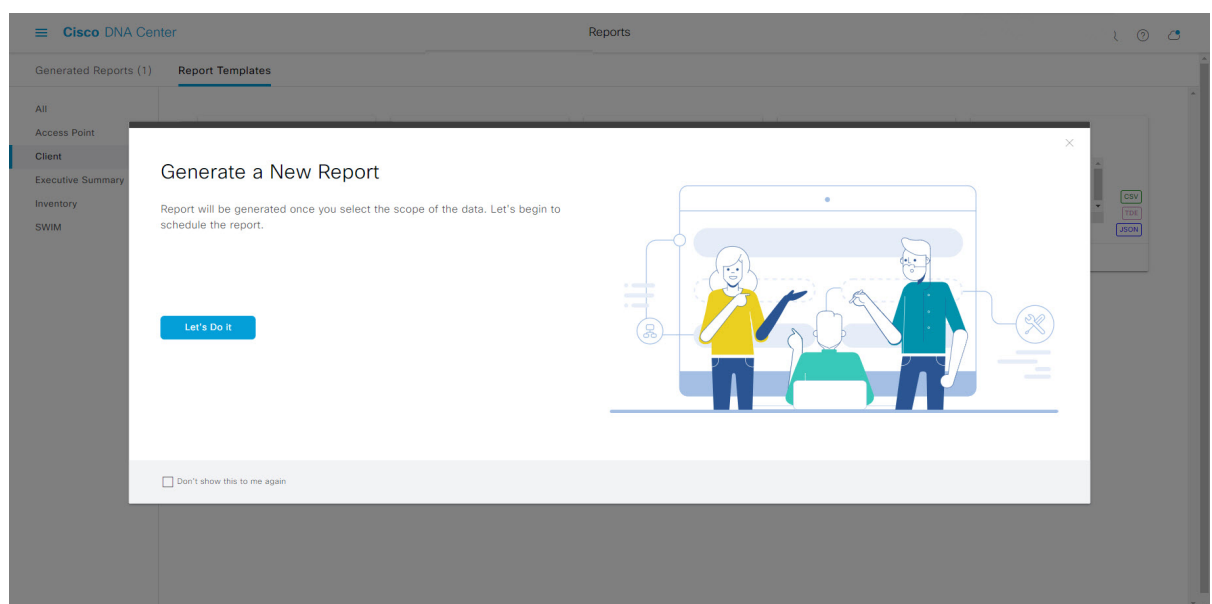
ステップ 5 [X] をクリックして、プレビューを閉じます。

ステップ 6 レポートを作成するためのパラメータを設定するには、タイルで [Generate] リンクをクリックします。

[Generate] ウィンドウが開きます。このウィンドウで、レポートのフォーマットタイプの選択やデータのフィルタの適用のほか、実際のレポート生成スケジュールの設定が可能です。

ステップ 7 [Generate a New Report] ウィンドウで、[Let's Do It] をクリックして生成を開始します。

図 5: [Generate a New Report]



[Setup the Report Template] ウィンドウが開きます。

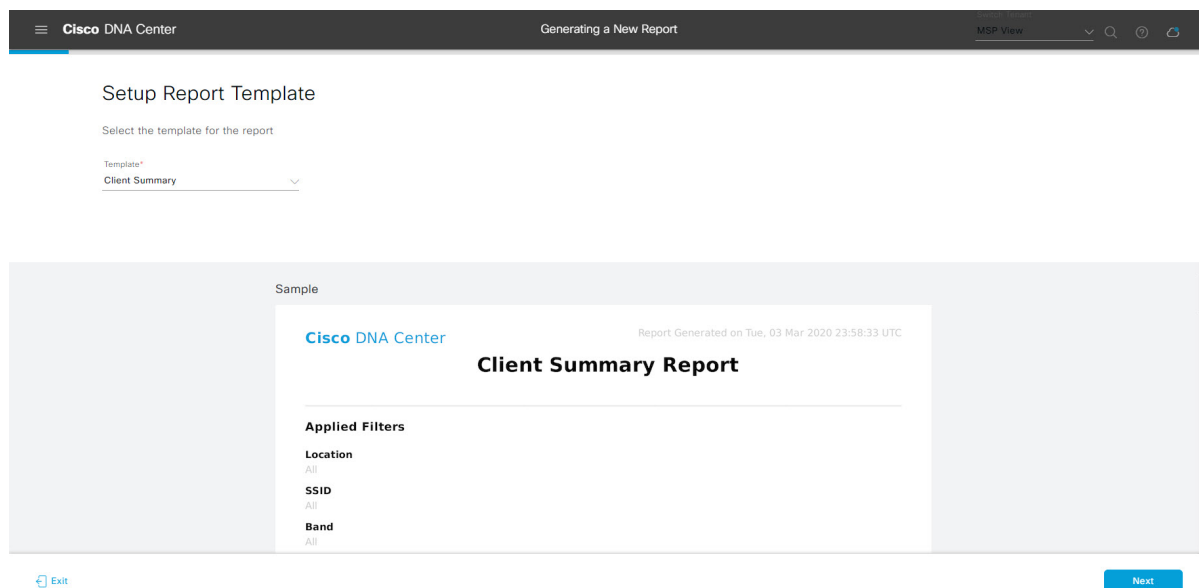
ステップ 8 [Setup the Report Template] ウィンドウで、レポートのテンプレートを選択します。

[Template Group] と [Template] のドロップダウンメニューからいずれかを選択します。

[Template Group] には、リリースでサポートされるレポートカテゴリのタイプが表示されます。[Template] には、リリースに対応するカテゴリの個々のレポートタイプが表示されます。

同じウィンドウで自動生成されたサンプルを確認できます。

図 6: [Setup Report Template]



[Next] をクリックして続行します。[Setup the Report Scope] ウィンドウが開きます。

ステップ 9 [Setup the Report Scope] ウィンドウで、レポートの名前を入力して範囲を選択します。

[Report Name] フィールドにレポート名を入力し、[Scope] フィールドをクリックして使用可能なフィルタを表示します。レポートに使用するフィルタオプションをクリックします。

(注) [Report Scope] のオプションは、[Template Group] の選択に応じて変わります。

図 7: [Setup Report Scope]

The screenshot shows the 'Setup Report Scope' configuration page in Cisco DNA Center. The page title is 'Setup Report Scope' and the subtitle is 'Name the report and select the scope to include in report.' The 'Report Name' field contains 'Client Report for Mar 18, 2020 at 02:29 pm'. The 'Scope' section includes four dropdown menus: 'Location', 'SSID', 'Band', and 'Group By'. At the bottom, there are 'Exit', 'Previous', and 'Next' buttons.

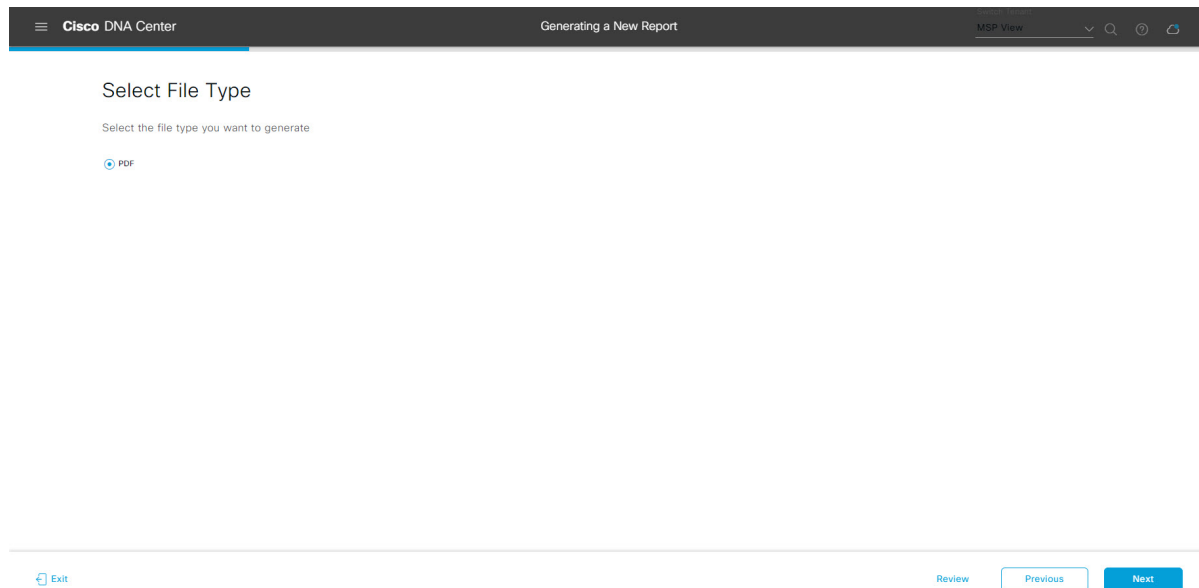
[Next] をクリックして続行します。[Select File Type] ウィンドウが開きます。

ステップ 10 [Select File Type] ウィンドウで、レポートのファイルタイプを選択します。
[File Type] では、作成するレポートに応じて次のオプションを選択できます。

- **PDF**
- **CSV**
- **Tableau Data Extract**
- **JSON**

ファイルタイプが [CSV]、[JSON]、[Tableau Data Extract] の場合、[Fields] オプションが表示され、CSV、JSON、Tableau Data Extract から作成するレポートの属性（追加フィールド）を選択できます。

図 8: [Select File Type]



[Next] をクリックして続行します。[Schedule Report] ウィンドウが開きます。

ステップ 11 [Schedule Report] ウィンドウで、レポートの時間範囲とスケジュールを選択します。

[Time Range] のオプションは次のとおりです。

- **Last 3 hours**
- **Last 24 hours**
- **Last 7 days**
- **Custom**

(注) [Custom] をクリックすると、特定のレポートタイプごとに期間の日時と時間範囲のタイムゾーン (GMT) を選択できるフィールドが表示されます。

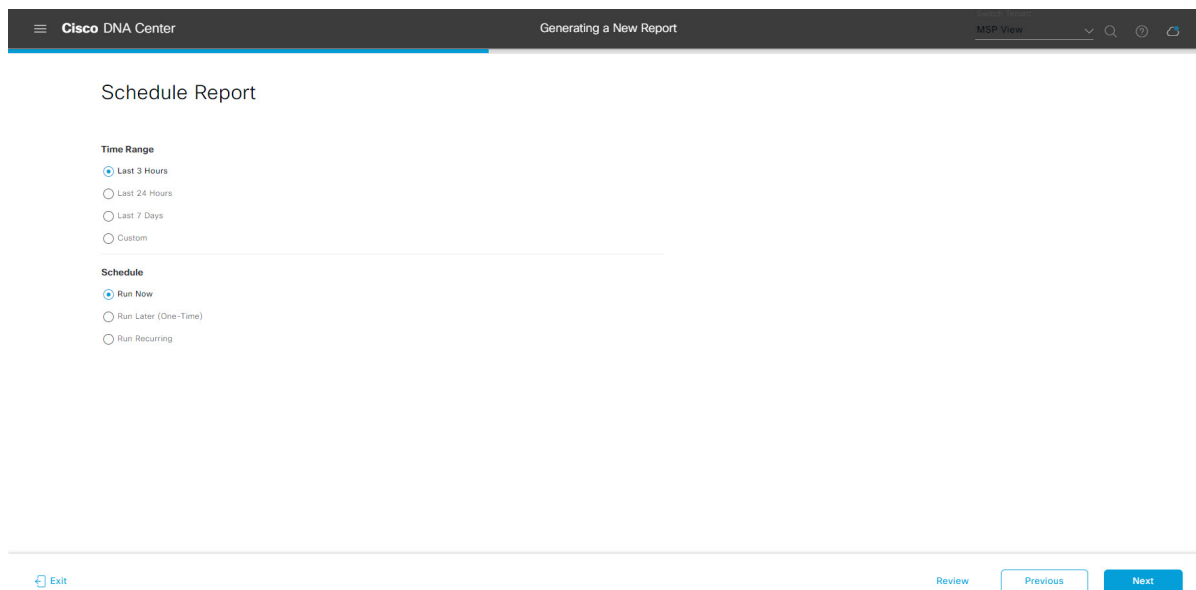
[Schedule] には、次のオプションがあります。

- **Run Now**
- **[Run Later]**
- **[Run Recurring]**

[Schedule] で次のオプションを選択した場合は、レポートのタイムゾーンも選択できます。

- **Custom**
- **[Run Later (One Time)]**
- **[Run Recurring]**

図 9: レポートのスケジュール



[Next] をクリックして続行します。[Delivery and Notification] ウィンドウが開きます。

ステップ 12 [Delivery and Notification] ウィンドウで、レポートの配信方法を選択します。

オプションは次のとおりです。

- [No delivery/notification] : 電子メールまたはウェブフックの通知を送信しません。
- [Email Report] : 電子メールレポートがリンクまたは添付ファイルとして送信されます。
 - (注) 電子メールの SMTP サーバーをまだ設定していない場合は設定するように求められます。GUI の [Email] タブのプロンプトに従って SMTP サーバーを設定します。[System] > [Settings] > [External Services] > [Destinations] > [Email] タブの順にクリックします。
- [Link] : レポートが正常にコンパイルされたことを伝える電子メール通知に、元のレポートと [Reports] の [Generated Reports] ページへのリンクが含まれます。ここからリンクを使用して、レポートを表示およびダウンロードできます。
 - (注) リンクを含む電子メールレポートでは、最大 20 の電子メールアドレスがサポートされます。複数の電子メールを追加する場合は、電子メールアドレスを追加した後にキーボードの Enter を押す必要があります。Enter を押した時点で、電子メールアドレスについて必要なすべての検証が実行され、電子メールアドレスのシンタックスに誤りがある場合は通知されます。
- [Attachment] : レポートが電子メール通知に添付されます。

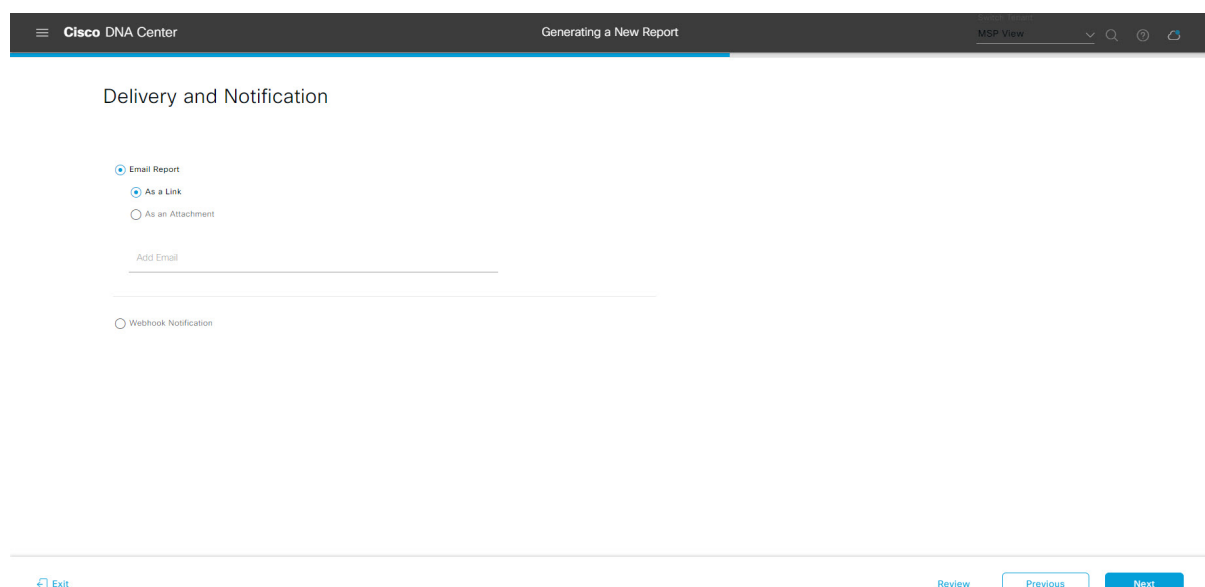
- (注) 電子メール通知への添付は、PDFレポートでのみサポートされます。また、電子メールに添付できるPDFレポートの最大サイズは20MBです。電子メールの添付ファイルでは、最大10の電子メールアドレスがサポートされます。複数の電子メールを追加する場合は、電子メールアドレスを追加した後にキーボードのEnterを押す必要があります。Enterを押した時点で、電子メールアドレスについて必要なすべての検証が実行され、電子メールアドレスのシンタックスに誤りがある場合は通知されます。

Cisco DNA Center は、レポートに関する次の電子メール通知を送信します。

- レポートは、実行待ちのキュー内にあります。
 - インポートプロセスは進行中です。
 - レポートのコンパイルが正常に完了しました。
- **[Webhook Notification]** : 設定されたウェブフック URL アドレス (コールバック URL) へのウェブフックとして通知が送信されます。ドロップダウンメニュー ([Subscription Profile] フィールド) からウェブフックを選択します。
- (注) まだウェブフックを作成していない場合は作成するように求められます。GUIの[Webhook]タブのプロンプトに従ってウェブフックを設定します。一般に、ウェブフックを設定するには、[System] > [Settings] > [External Services] > [Destinations] > [Webhook] タブの順にクリックします。

レポートのステータスウェブフック通知を受信します。たとえば、「キュー内 (In Queue)」、「進行中 (In Progress)」、「成功 (Success)」のウェブフック通知が届きます。これらの通知は、GUIで表示することもできます。

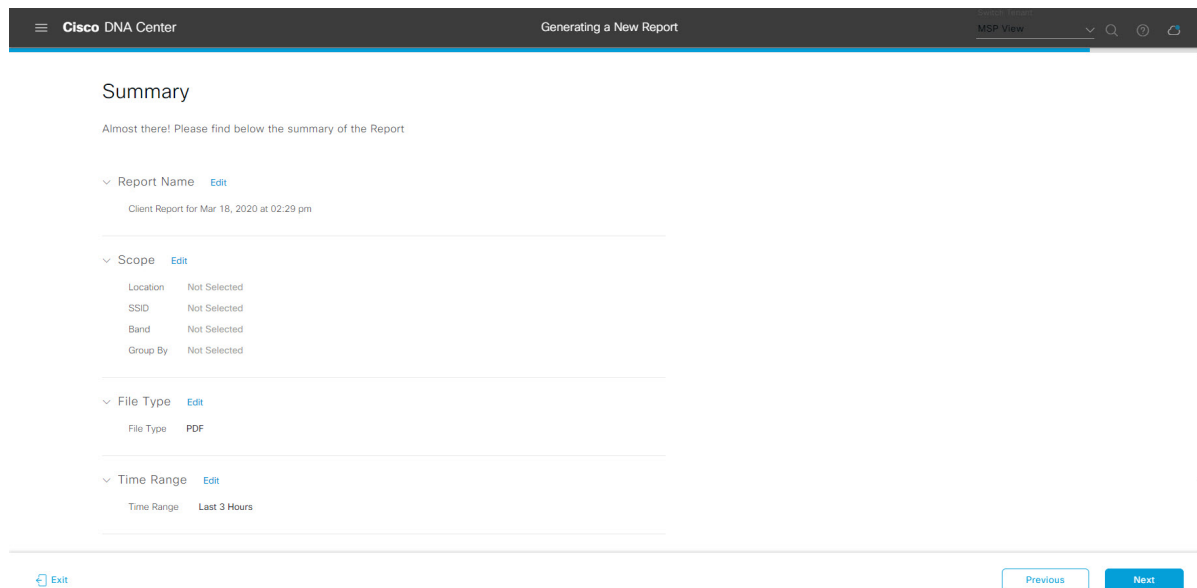
図 10: [Delivery and Notification]



[Next] をクリックして続行します。[Summary] ウィンドウが開きます。

ステップ 13 [Summary] ウィンドウで、設定を確認し、必要に応じてファイルを編集します。

図 11: [Summary]



[Next] ボタンをクリックします。

レポートが生成されると、成功したことを示すウィンドウが表示されます。

ステップ 14 [View the Generated Reports] リンクをクリックします。

[Generated Reports] ウィンドウが開き、スケジュールされたレポートのインスタンスの詳細が表示されます。

図 12: [Generated Reports]

The screenshot shows the 'Generated Reports' page in Cisco DNA Center. The page title is 'Reports'. The main content area is titled 'Generated Reports (2)' and contains a table of report instances. The table has the following columns: Report Name, Schedule, Last Run, Reports, Format, Template Category, Report Template, and Actions. The table contains two rows of data:

Report Name	Schedule	Last Run	Reports	Format	Template Category	Report Template	Actions
Client Report for Mar 18, 2020 at 02:29 pm	One-Time on Mar 18, 2020 at 2:32 pm	In Queue	1	PDF	Client	Client Summary	...
Client Report for Mar 16, 2020 at 03:13 pm	One-Time on Mar 16, 2020 at 3:13 pm	Mar 16, 2020 at 3:14 pm ↓	1	CSV	Client	Client Detail	...

次のタスク

[Generated Reports] ウィンドウで、レポートインスタンスを確認します。

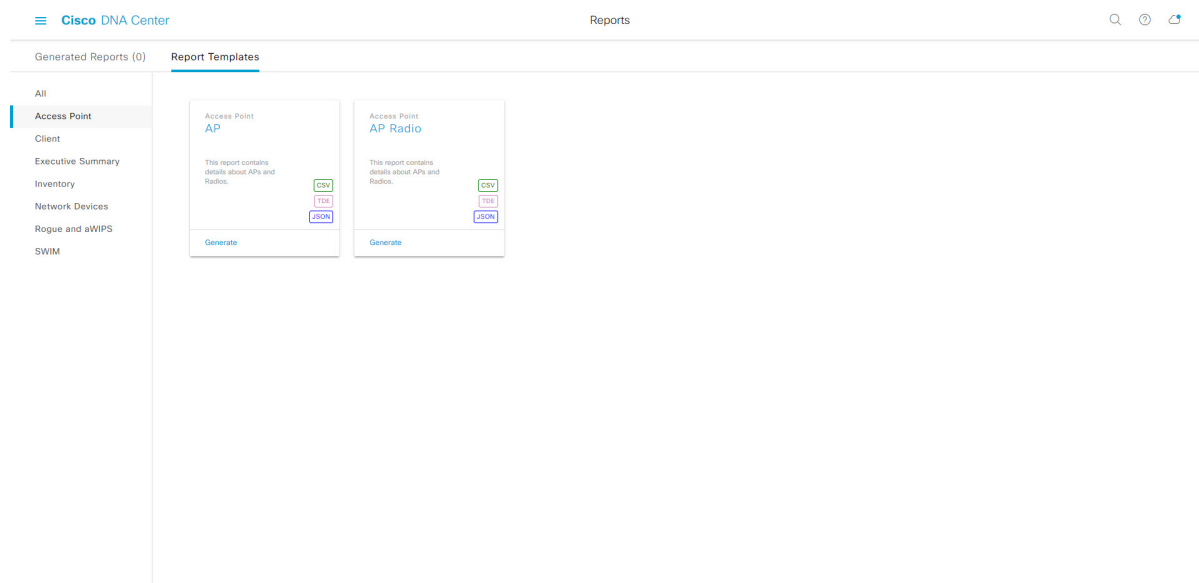


(注) [Generated Reports] ウィンドウで、レポートをダウンロード、確認、編集、複製、または削除できます。詳細については、[生成されたレポートの表示 \(74 ページ\)](#) を参照してください。

アクセスポイントレポートの実行

ネットワークについてのアクセスポイントレポートを設定するには、次の手順を実行します。Cisco DNA Center GUI の [Reports] ウィンドウを使用してアクセスポイントレポートを設定することができます。

図 13: アクセスポイントレポート



始める前に

- 正常なディスカバリジョブを Cisco DNA Center で実行します。[Device Inventory] でディスカバリジョブが成功しているかどうか確認できます。[Menu] アイコン (☰) から、[Provision] > [Inventory] の順にクリックして結果を表示します。

ステップ 1 Cisco DNA Center GUI で [Menu] アイコン (☰) をクリックして > [Reports] > [Reports Templates] の順に選択します。

[Report Templates] ウィンドウが開き、サポートされているレポートカテゴリが表示されます。各カテゴリはリンクで表されます。リンクをクリックすると、そのカテゴリでサポートされているレポートのみが表示されます。

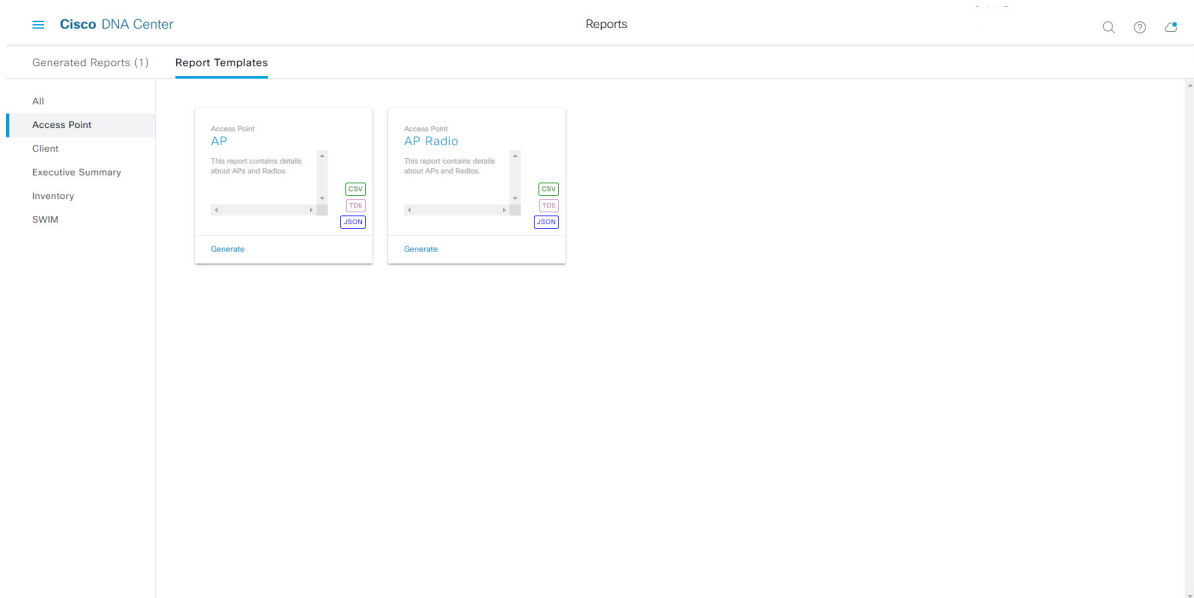
このリリースでは、次のカテゴリのレポートがサポートされています。

- [Access Point] : アクセスポイントおよびアクセスポイントの無線に関するデータを提供するレポート。
- [Client] : ネットワークにおけるクライアントのパフォーマンスの分析に役立つレポート。
- [Executive Summary] : ネットワークにおけるデバイス、アプリケーション、クライアントのパフォーマンスの分析に役立つレポート。
- [Inventory] : Cisco DNA Center で検出されたデバイスを一覧表示するレポート。
- [Network Devices] : ネットワーク内のデバイスに関するデータを提供するレポート。
- [Rogue and aWIPS] : ネットワーク内の脅威に関するデータを提供するレポート。
- [SWIM] : ネットワーク内のすべてのデバイスのソフトウェアとバージョンを一覧表示するレポート。

(注) [Access Point]、[Client]、[Executive Summary] のレポートのデータは最大 90 日間保持されます。

ステップ 2 リンクをクリックした後、選択したカテゴリの [Report Templates] ウィンドウを確認します。

図 14: [Report Templates] ウィンドウ



[Report Templates] ウィンドウに、サポートされているレポートテンプレートが表示されます。各テンプレートはタイルで表され、レポートに関する情報とレポートを設定（生成）するためのリンクが含まれています。表示されたテンプレートからレポートの生成に使用するテンプレートを選びます。たとえば、アクセスポイントレポートの場合は、[AP] レポートまたは [AP Radio] レポートを作成できます。サポートされるレポートのファイルタイプ（CSV、TDE、JSON）も各タイル内にアイコンで示されます。

ステップ 3 サンプルレポートを表示するには、タイルでヘッダーをクリックします。

サンプルレポートのウィンドウが表示されます。ウィンドウのサイドバーを使用して下にスクロールし、サンプルレポート全体を確認します。

(注) サンプルレポートを使用して、レポートの表示方法を計画できます。

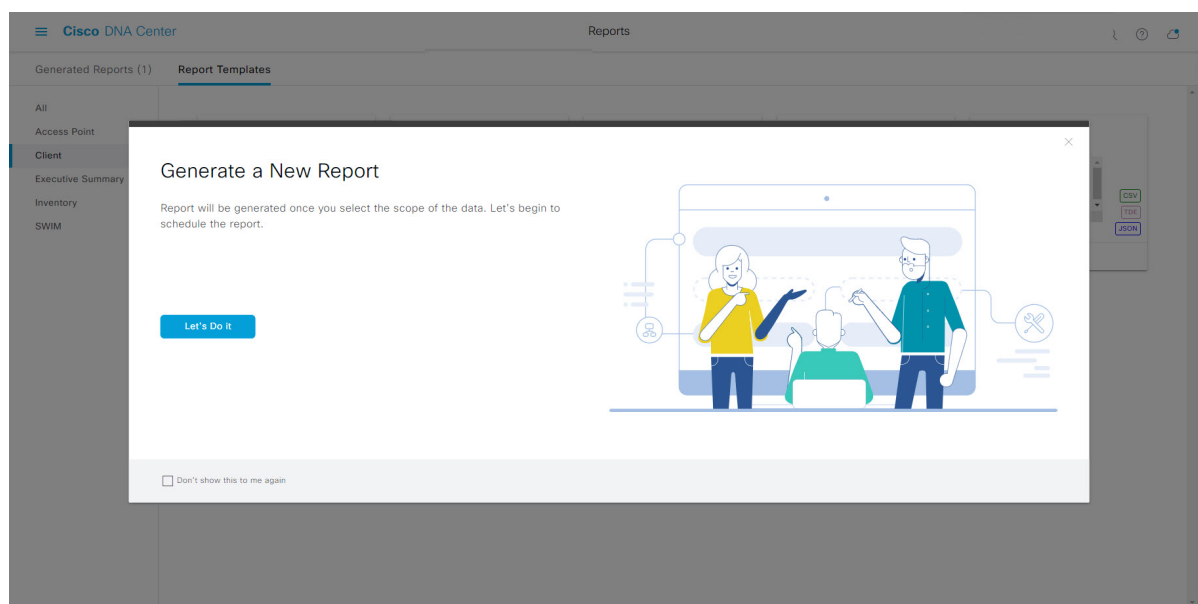
ステップ 4 [X] をクリックして、プレビューを閉じます。

ステップ 5 レポートを作成するためのパラメータを設定するには、タイトルで [Generate] リンクをクリックします。

[Generate] ウィンドウが開きます。このウィンドウで、レポートのフォーマットタイプの選択やデータのフィルタの適用のほか、実際のレポート生成スケジュールの設定が可能です。

ステップ 6 [Generate a New Report] ウィンドウで、[Let's Do It] をクリックして生成を開始します。

図 15: [Generate a New Report]



[Setup the Report Template] ウィンドウが開きます。

ステップ 7 [Setup the Report Template] ウィンドウで、レポートのテンプレートを選択します。

[Template] ドロップダウンメニューからいずれかを選択します。

(注) [Template] には、リリースに対応するカテゴリの個々のレポートタイプが表示されます。

同じウィンドウで自動生成されたサンプルを確認できます。

図 16 : [Setup Report Template]

Sample

AP MAC Address	Up Time	Admin State	Mode	Device Name	Operational State	Average Client Count	CPU Usage	Memory Usage	Max Client Count	Device Family	OS Version	Device Type	IP Address	Platform	Device Model	Health Score	WLC
F4DBE5E5FBC0	117 days 00:12:19	1	monitor	AP4800-46	AP is in registered state	0	5	46	0	Unified AP	8.8.125.0	Cisco 4800 Series Unified Access Points	10.79.66.46	AIR-AP4800-H-K9	AIR-AP4800-H-K9	10	CRDC-WLC-5520-3
C4F7264439C0	49 days 19:18:54	1	local	AP1815-126	AP is in registered state	0	4	23	0	Unified AP	8.8.125.0	Cisco 1815I Unified Access Point	10.79.59.126	AIR-AP1815I-H-K9	AIR-AP1815I-H-K9	6	CRDC-WLC-5520-3
5C5A7DDDF130	49 days 19:18:49	1	local	AP2802-129	AP is in registered state	0	5	44	0	Unified AP	8.8.125.0	Cisco 2802I Unified Access Point	10.79.59.129	AIR-AP2802I-H-K9	AIR-AP2802I-H-K9	10	CRDC-WLC-5520-3
5488BC4906E0	49 days 19:18:45	1	monitor	AP1802-114	AP is in registered state	0	5	27	0	Unified AP	8.8.125.0	Cisco 1802I Unified Access Point	10.79.59.114	AIR-AP1802I-H-K9	AIR-AP1802I-H-K9	10	CRDC-WLC-5520-3

[Next] をクリックして続行します。[Setup the Report Scope] ウィンドウが開きます。

ステップ 8 [Setup the Report Scope] ウィンドウで、レポートの名前を指定して範囲を選択します。

[ReportName] フィールドにレポート名を入力し、[Scope] フィールドをクリックして使用可能なフィルタを表示します。レポートに使用するフィルタオプションをクリックします。

(注) [Report Scope] のオプションは、[Template] の選択に応じて変わります。

図 17 : [Setup Report Scope]

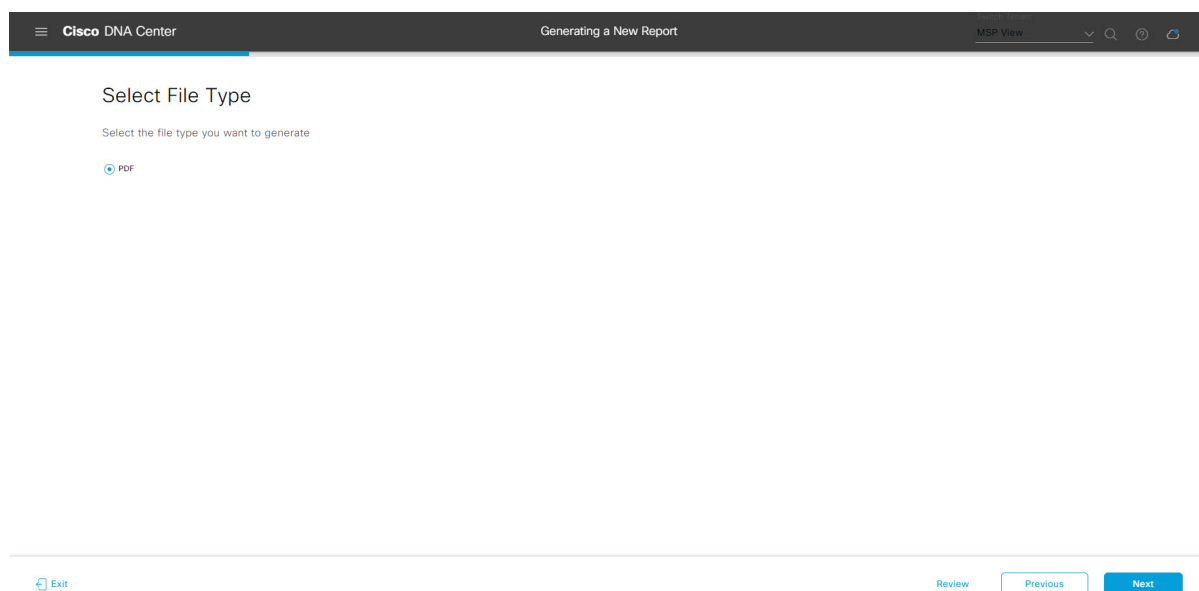
[Next] をクリックして続行します。[Select File Type] ウィンドウが開きます。

ステップ 9 [Select File Type] ウィンドウで、レポートのファイルタイプを選択します。
[File Type] では、作成するレポートに応じて次のオプションを選択できます。

- **PDF**
- **CSV**
- **Tableau Data Extract**
- **JSON**

ファイルタイプが [CSV]、[JSON]、[Tableau Data Extract] の場合、[Fields] オプションが表示され、CSV、JSON、Tableau Data Extract から作成するレポートの属性（追加フィールド）を選択できます。

図 18: [Select File Type]



[Next] をクリックして続行します。[Schedule Report] ウィンドウが開きます。

ステップ 10 [Schedule Report] ウィンドウで、レポートの時間範囲とスケジュールを選択します。
[Time Range] のオプションは次のとおりです。

- **Last 3 hours**
- **Last 24 hours**
- **Last 7 days**
- **Custom**

(注) [Custom] をクリックすると、特定のレポートタイプごとに期間の日時と時間範囲のタイムゾーン (GMT) を選択できるフィールドが表示されます。

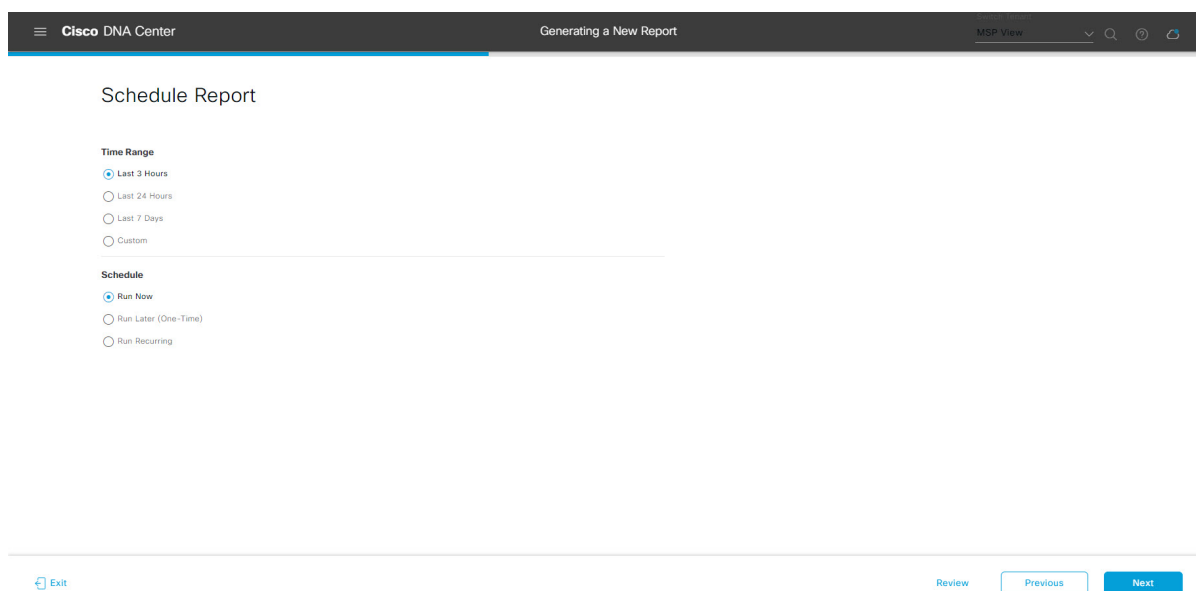
[Schedule] には、次のオプションがあります。

- **Run Now**
- **[Run Later]**
- **[Run Recurring]**

[Schedule] で次のオプションを選択した場合は、レポートのタイムゾーンも選択できます。

- **Custom**
- **[Run Later (One Time)]**
- **[Run Recurring]**

図 19: レポートのスケジュール



[Next] をクリックして続行します。[Delivery and Notification] ウィンドウが開きます。

ステップ 11 [Delivery and Notification] ウィンドウで、レポートの配信方法を選択します。

オプションは次のとおりです。

- **[Email Report]** : 電子メールレポートがリンクまたは添付ファイルとして送信されます。
(注) 電子メールのSMTPサーバーをまだ設定していない場合は設定するように求められます。GUIの [Email] タブのプロンプトに従ってSMTPサーバーを設定します。[System] > [Settings] > [External Services] > [Destinations] > [Email] タブの順にクリックします。
- **[Link]** : レポートが正常にコンパイルされたことを伝える電子メール通知に、元のレポートと [Reports] の [Generated Reports] ページへのリンクが含まれます。ここからリンクを使用して、レポートを表示およびダウンロードできます。

(注) リンクを含む電子メールレポートでは、最大20の電子メールアドレスがサポートされます。複数の電子メールを追加する場合は、電子メールアドレスを追加した後にキーボードの **Enter** を押す必要があります。Enter を押した時点で、電子メールアドレスについて必要なすべての検証が実行され、電子メールアドレスのシンタックスに誤りがある場合は通知されます。

• [Attachment] : レポートが電子メール通知に添付されます。

(注) 電子メール通知への添付は、PDF レポートでのみサポートされます。また、電子メールに添付できる PDF レポートの最大サイズは 20 MB です。電子メールの添付ファイルでは、最大 10 の電子メールアドレスがサポートされます。複数の電子メールを追加する場合は、電子メールアドレスを追加した後にキーボードの **Enter** を押す必要があります。Enter を押した時点で、電子メールアドレスについて必要なすべての検証が実行され、電子メールアドレスのシンタックスに誤りがある場合は通知されます。

Cisco DNA Center は、レポートに関する次の電子メール通知を送信します。

- レポートは、実行待ちのキュー内にあります。
- インポートプロセスは進行中です。
- レポートのコンパイルが正常に完了しました。

• [Webhook Notification] : 設定されたウェブフック URL アドレス (コールバック URL) へのウェブフックとして通知が送信されます。ドロップダウンメニュー ([Subscription Profile] フィールド) からウェブフックを選択します。

(注) まだウェブフックを作成していない場合は作成するように求められます。GUI の [Webhook] タブのプロンプトに従ってウェブフックを設定します。一般に、ウェブフックを設定するには、[System] > [Settings] > [External Services] > [Destinations] > [Webhook] タブの順にクリックします。

レポートのステータスウェブフック通知を受信します。たとえば、「キュー内 (In Queue)」、「進行中 (In Progress)」、「成功 (Success)」のウェブフック通知が届きます。これらの通知は、GUI で表示することもできます。

図 20 : [Delivery and Notification]

The screenshot shows the 'Delivery and Notification' configuration page in Cisco DNA Center. The page title is 'Generating a New Report'. Under 'Delivery and Notification', there are three radio button options: 'Email Report' (selected), 'As a Link', and 'As an Attachment'. Below these is an 'Add Email' input field. There is also a 'Webhook Notification' option. At the bottom right, there are 'Review', 'Previous', and 'Next' buttons.

[Next] をクリックして続行します。[Summary] ウィンドウが開きます。

ステップ 12 [Summary] ウィンドウで、設定を確認し、必要に応じてファイルを編集します。

図 21 : [Summary]

The screenshot shows the 'Summary' configuration page in Cisco DNA Center. The page title is 'Generating a New Report'. The main heading is 'Summary' with the subtext 'Almost there! Please find below the summary of the Report'. There are four expandable sections: 'Report Name' (Client Report for Mar 18, 2020 at 02:29 pm), 'Scope' (Location: Not Selected, SSID: Not Selected, Band: Not Selected, Group By: Not Selected), 'File Type' (File Type: PDF), and 'Time Range' (Time Range: Last 3 Hours). At the bottom right, there are 'Previous' and 'Next' buttons.

[Next] ボタンをクリックします。

レポートが生成されると、成功したことを示すウィンドウが表示されます。

ステップ 13 [View the Generated Reports] リンクをクリックします。

[Generated Reports] ウィンドウが開き、スケジュールされたレポートのインスタンスの詳細が表示されます。

図 22 : [Generated Reports]

The screenshot shows the Cisco DNA Center Reports interface. At the top, there is a navigation bar with 'Cisco DNA Center' and 'Reports'. Below this, there are tabs for 'Generated Reports (2)' and 'Report Templates'. A search bar is present with the text 'Search Table'. The main content is a table with the following columns: Report Name, Schedule, Last Run, Reports, Format, Template Category, Report Template, and Actions. Two report instances are listed:

Report Name	Schedule	Last Run	Reports	Format	Template Category	Report Template	Actions
Client Report for Mar 18, 2020 at 02:29 pm	One-Time on Mar 18, 2020 at 2:32 pm	In Queue	1	PDF	Client	Client Summary	⋮
Client Report for Mar 16, 2020 at 03:13 pm	One-Time on Mar 16, 2020 at 3:13 pm	Mar 16, 2020 at 3:14 pm ↓	1	CSV	Client	Client Detail	⋮

次のタスク

[Generated Reports] ウィンドウで、レポートインスタンスを確認します。

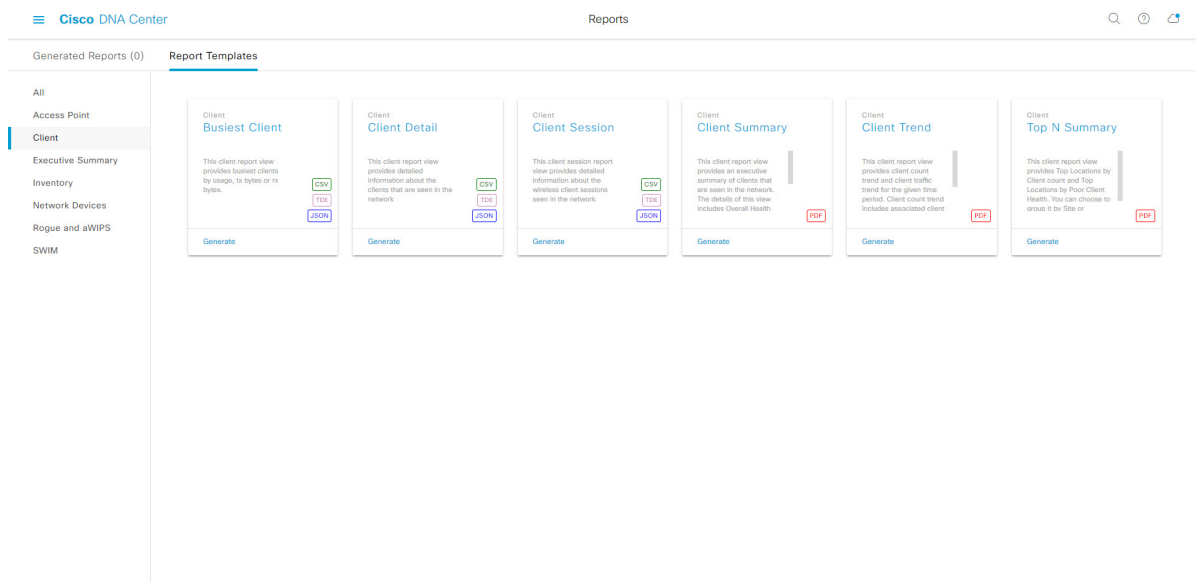


(注) [Generated Reports] ウィンドウで、レポートをダウンロード、確認、編集、複製、または削除できます。詳細については、[生成されたレポートの表示 \(74 ページ\)](#) を参照してください。

クライアントレポートの実行

ネットワークについての専門的なクライアントレポートを設定するには、次の手順を実行します。Cisco DNA Center GUI の [Reports] ウィンドウを使用してクライアントレポートを設定することができます。

図 23: クライアント レポート



始める前に

- 正常なディスクバリジョブを Cisco DNA Center で実行します。[Device Inventory] でディスクバリジョブが成功しているかどうか確認できます。[Menu]アイコン (≡) から、[Provision] > [Inventory] の順にクリックして結果を表示します。

ステップ 1 Cisco DNA Center GUI で [Menu] アイコン (≡) をクリックして > [Reports] > [Reports Template] の順に選択します。

[Report Templates] ウィンドウが開き、サポートされているレポートカテゴリが表示されます。各カテゴリはリンクで表されます。リンクをクリックすると、そのカテゴリでサポートされているレポートのみが表示されます。

このリリースでは、次のカテゴリのレポートがサポートされています。

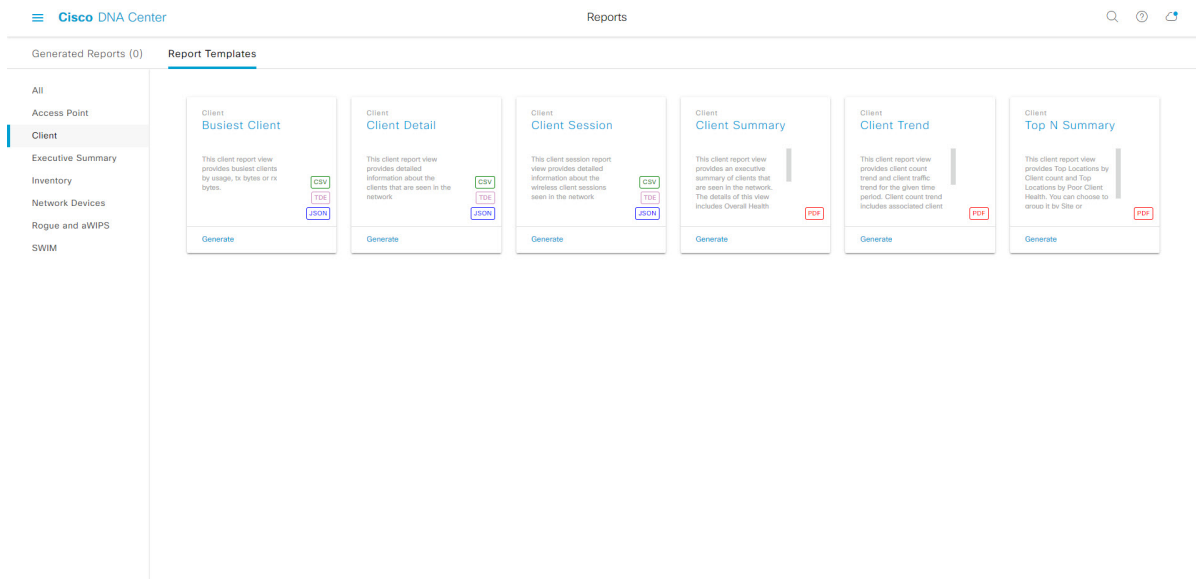
- [Access Point] : アクセスポイントおよびアクセスポイントの無線に関するデータを提供するレポート。
- [Client] : ネットワークにおけるクライアントのパフォーマンスの分析に役立つレポート。
- [Executive Summary] : ネットワークにおけるデバイス、アプリケーション、クライアントのパフォーマンスの分析に役立つレポート。
- [Inventory] : Cisco DNA Center で検出されたデバイスを一覧表示するレポート。
- [Network Devices] : ネットワーク内のデバイスに関するデータを提供するレポート。
- [Rogue and aWIPS] : ネットワーク内の脅威に関するデータを提供するレポート。

- [SWIM] : ネットワーク内のすべてのデバイスのソフトウェアとバージョンを一覧表示するレポート。

(注) [Access Point]、[Client]、[Executive Summary] のレポートのデータは最大 90 日間保持されます。

ステップ 2 リンクをクリックした後、選択したカテゴリの [Report Templates] ウィンドウを確認します。

図 24 : [Report Templates] ウィンドウ



[Report Templates] ウィンドウに、サポートされているレポートテンプレートが表示されます。各テンプレートはタイトルで表され、レポートに関する情報とレポートを設定（生成）するためのリンクが含まれています。表示されたテンプレートからレポートの生成に使用するテンプレートを選びます。たとえば、クライアントレポートの場合は、[Busiest Client]、[Client Summary]、[Client Detail]、[Top N Summary]、[Client Trend]、[Client Session] のレポートを作成できます。サポートされるレポートのファイルタイプ（PDF、CSV、TDE、JSON）も各タイトル内にアイコンで示されます。

ステップ 3 サンプルレポートを表示するには、タイトルでヘッダーをクリックします。

サンプルレポートのウィンドウが表示されます。ウィンドウのサイドバーを使用して下にスクロールし、サンプルレポート全体を確認します。一部のクライアントレポートで表示されるデータを次に示します。

- 適用されたフィルタ（レポートを構築するために使用されたデータフィルタ）。
- データメトリックとサマリー。
- データのグラフィカル表示（回線、バー、円グラフを含む）。
- データの分析を支援するテーブル。

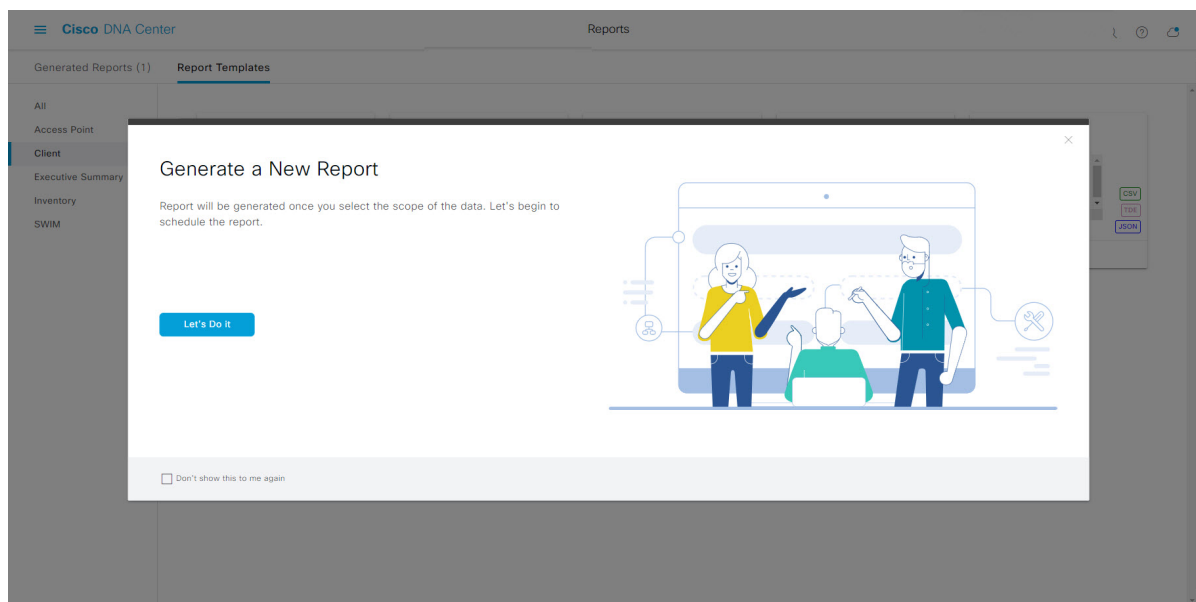
(注) サンプルレポートを使用して、レポートの表示方法を計画できます。

ステップ 4 [X] をクリックして、プレビューを閉じます。

ステップ 5 レポートを作成するためのパラメータを設定するには、タイトルで [Generate] リンクをクリックします。
[Generate] ウィンドウが開きます。このウィンドウで、レポートのフォーマットタイプの選択やデータのフィルタの適用のほか、実際のレポート生成スケジュールの設定が可能です。

ステップ 6 [Generate a New Report] ウィンドウで、[Let's Do It] をクリックして生成を開始します。

図 25: [Generate a New Report]



[Setup the Report Template] ウィンドウが開きます。

ステップ 7 [Setup the Report Template] ウィンドウで、レポートのテンプレートを選択します。

[Template] ドロップダウンメニューからいずれかを選択します。

(注) [Template] には、リリースに対応するカテゴリの個々のレポートタイプが表示されます。

同じウィンドウで自動生成されたサンプルを確認できます。

図 26 : [Setup Report Template]

Sample

Filters																					
Location	All																				
Device Type	All																				
SSID	All																				
Band	All																				
Start Time	2020-03-03 22:07:44.368 PM UTC																				
End Time	2020-03-04 22:07:44.368 PM UTC																				
Host Name	User ID	MAC Address	IPv4 Address	IPv6 Address	Device Type	Current Status	Health Score	Usage (Bytes)	Connected Device Name	Band	RSSI (dBm)	SNR (dB)	Last Location	Last Seen	AP Group	SSID	VLAN ID	VNI	Onboarding Time	Association Time	
SEP000FD06E800		00:50:2B:54:8B:E1	172.20.35.237		Wired	connected	10	2,298977265-07	Gsum-7x-switch	0	0	0	san jose/building 4/floor 2	2020-03-04 22:08:44.368						0	0
SEP000FD06E806		00:50:56:93:08:8C	172.20.35.44		Wired	connected	10	4855615	Gsum-7x-switch	0	0	0	san jose/building 4/floor 2	2020-03-04 22:08:44.368						0	0
		00:A6:87:3D:EC:66			Wired	connected	0	0	HQ1.AC.3.4	0	0	0		2020-03-04 22:08:44.368						0	0

Exit Next

[Next] をクリックして続行します。[Setup the Report Scope] ウィンドウが開きます。

ステップ 8 [Setup the Report Scope] ウィンドウで、レポートの名前を指定して範囲を選択します。

[ReportName] フィールドにレポート名を入力し、[Scope] フィールドをクリックして使用可能なフィルタを表示します。レポートに使用するフィルタオプションをクリックします。

(注) [Report Scope] のオプションは、[Template] の選択に応じて変わります。

図 27 : [Setup Report Scope]

Setup Report Scope

Name the report and select the scope to include in report.

Report Name

Client Report for Mar 18, 2020 at 02:29 pm

Scope

Location

SSID

Band

Group By

Exit Previous Next

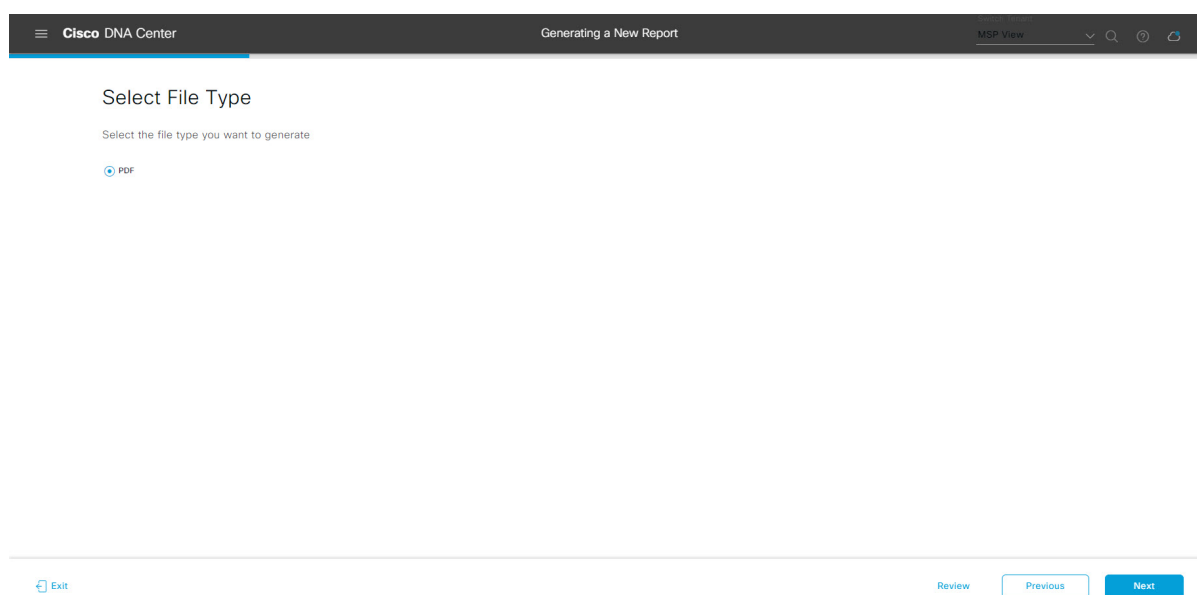
[Next] をクリックして続行します。[Select File Type] ウィンドウが開きます。

ステップ 9 [Select File Type] ウィンドウで、レポートのファイルタイプを選択します。
[File Type] では、作成するレポートに応じて次のオプションを選択できます。

- PDF
- CSV
- **Tableau Data Extract**
- JSON

ファイルタイプが [CSV]、[JSON]、[Tableau Data Extract] の場合、[Fields] オプションが表示され、CSV、JSON、Tableau Data Extract から作成するレポートの属性（追加フィールド）を選択できます。

図 28 : [Select File Type]



[Next] をクリックして続行します。[Schedule Report] ウィンドウが開きます。

ステップ 10 [Schedule Report] ウィンドウで、レポートの時間範囲とスケジュールを選択します。
[Time Range] のオプションは次のとおりです。

- Last 3 hours
- Last 24 hours
- Last 7 days
- Custom

(注) [Custom] をクリックすると、特定のレポートタイプごとに期間の日時と時間範囲のタイムゾーン（GMT）を選択できるフィールドが表示されます。

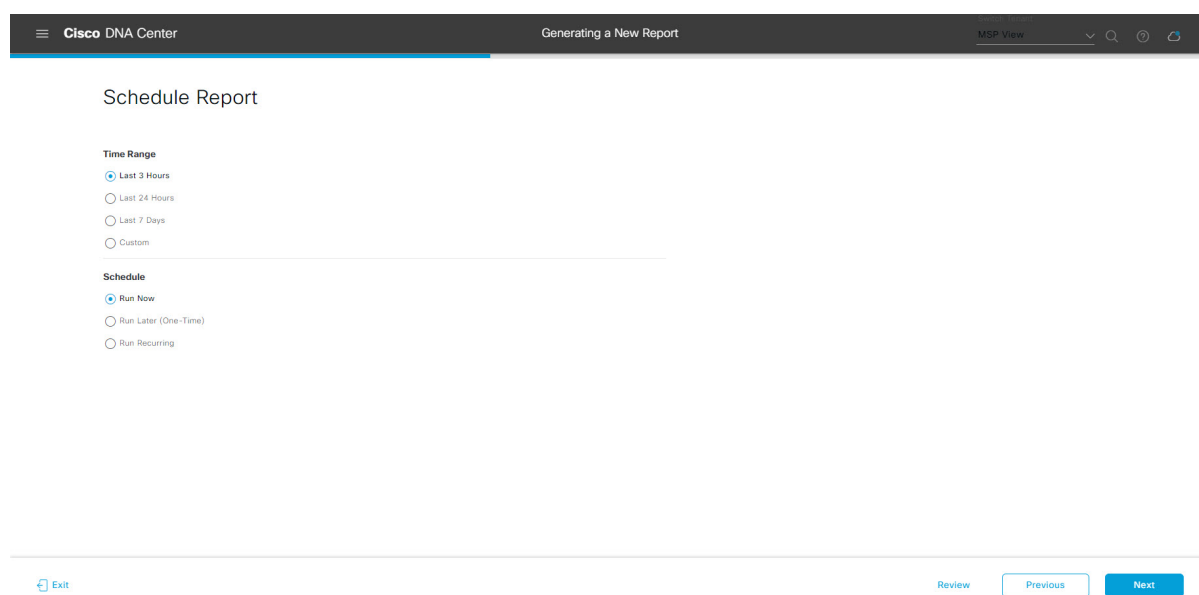
[Schedule] には、次のオプションがあります。

- **Run Now**
- **[Run Later]**
- **[Run Recurring]**

[Schedule] で次のオプションを選択した場合は、レポートのタイムゾーンも選択できます。

- **Custom**
- **[Run Later (One Time)]**
- **[Run Recurring]**

図 29: レポートのスケジュール



[Next] をクリックして続行します。[Delivery and Notification] ウィンドウが開きます。

ステップ 11 [Delivery and Notification] ウィンドウで、レポートの配信方法を選択します。

オプションは次のとおりです。

- **[Email Report]** : 電子メールレポートがリンクまたは添付ファイルとして送信されます。
 - (注) 電子メールの SMTP サーバーをまだ設定していない場合は設定するように求められます。GUI の [Email] タブのプロンプトに従って SMTP サーバーを設定します。[System] > [Settings] > [External Services] > [Destinations] > [Email] タブの順にクリックします。
- **[Link]** : レポートが正常にコンパイルされたことを伝える電子メール通知に、元のレポートと [Reports] の [Generated Reports] ページへのリンクが含まれます。ここからリンクを使用して、レポートを表示およびダウンロードできます。

(注) リンクを含む電子メールレポートでは、最大20の電子メールアドレスがサポートされます。複数の電子メールを追加する場合は、電子メールアドレスを追加した後にキーボードの **Enter** を押す必要があります。Enter を押した時点で、電子メールアドレスについて必要なすべての検証が実行され、電子メールアドレスのシンタックスに誤りがある場合は通知されます。

• [Attachment] : レポートが電子メール通知に添付されます。

(注) 電子メール通知への添付は、PDF レポートでのみサポートされます。また、電子メールに添付できる PDF レポートの最大サイズは20 MB です。電子メールの添付ファイルでは、最大10の電子メールアドレスがサポートされます。複数の電子メールを追加する場合は、電子メールアドレスを追加した後にキーボードの **Enter** を押す必要があります。Enter を押した時点で、電子メールアドレスについて必要なすべての検証が実行され、電子メールアドレスのシンタックスに誤りがある場合は通知されます。

Cisco DNA Center は、レポートに関する次の電子メール通知を送信します。

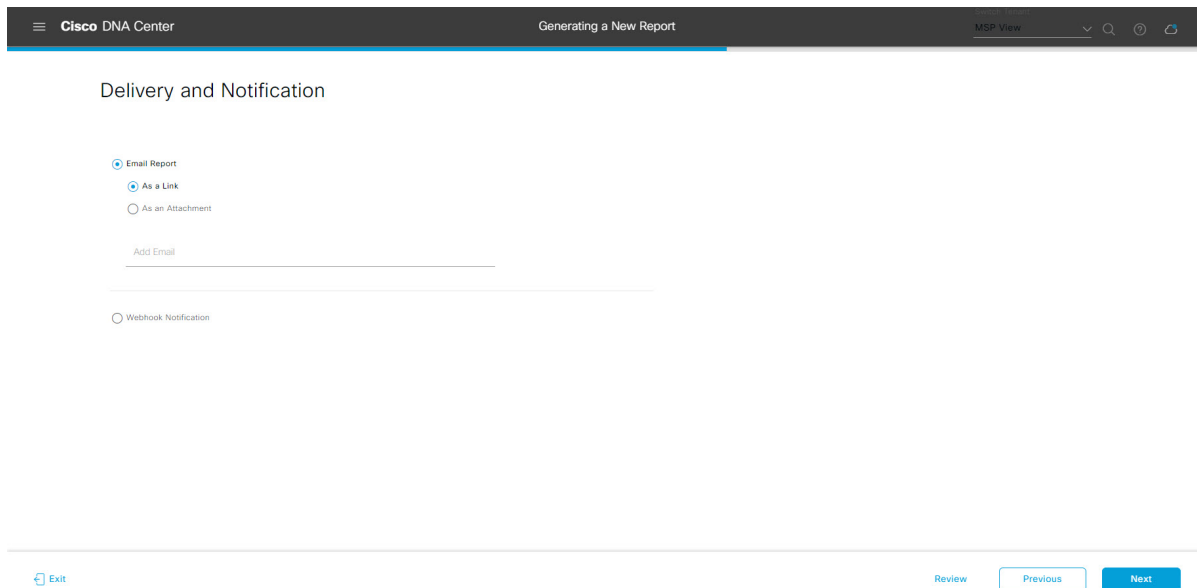
- レポートは、実行待ちのキュー内にあります。
- インポートプロセスは進行中です。
- レポートのコンパイルが正常に完了しました。

• [Webhook Notification] : 設定されたウェブフック URL アドレス (コールバック URL) へのウェブフックとして通知が送信されます。ドロップダウンメニュー ([Subscription Profile] フィールド) からウェブフックを選択します。

(注) まだウェブフックを作成していない場合は作成するように求められます。GUIの[Webhook] タブのプロンプトに従ってウェブフックを設定します。一般に、ウェブフックを設定するには、[System] > [Settings] > [External Services] > [Destinations] > [Webhook] タブの順にクリックします。

レポートのステータスウェブフック通知を受信します。たとえば、「キュー内 (In Queue)」、「進行中 (In Progress)」、「成功 (Success)」のウェブフック通知が届きます。これらの通知は、GUIで表示することもできます。

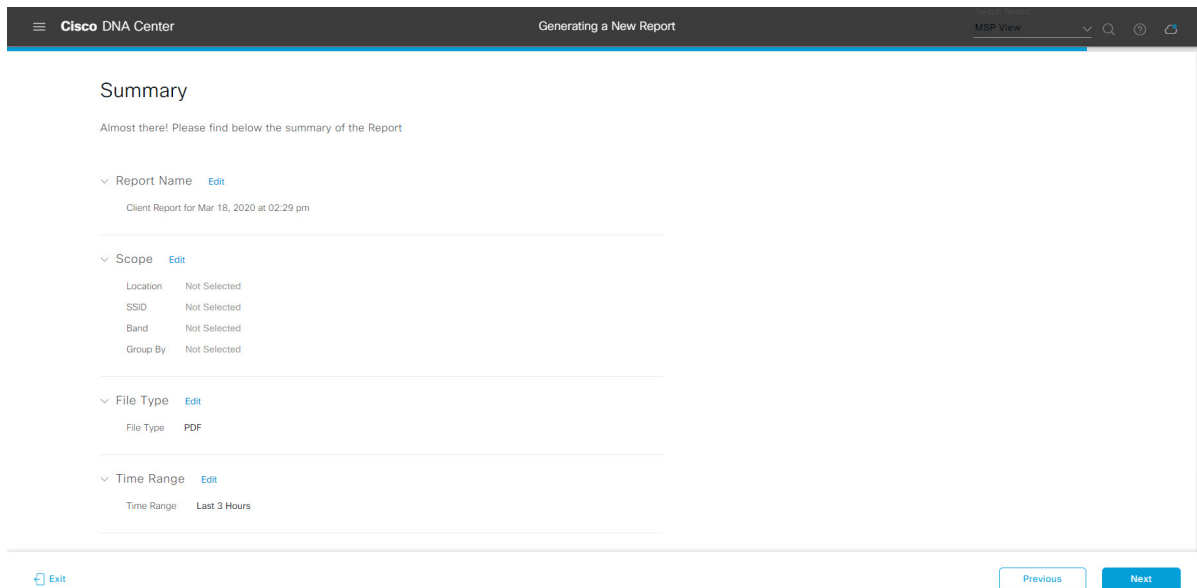
図 30 : [Delivery and Notification]



[Next] をクリックして続行します。[Summary] ウィンドウが開きます。

ステップ 12 [Summary] ウィンドウで、設定を確認し、必要に応じてファイルを編集します。

図 31 : [Summary]



[Next] ボタンをクリックします。

レポートが生成されると、成功したことを示すウィンドウが表示されます。

ステップ 13 [View the Generated Reports] リンクをクリックします。

[Generated Reports] ウィンドウが開き、スケジュールされたレポートのインスタンスの詳細が表示されます。

図 32: [Generated Reports]

The screenshot shows the Cisco DNA Center GUI with the 'Reports' section active. The page title is 'Cisco DNA Center Reports'. There are tabs for 'Generated Reports (2)' and 'Report Templates'. A search bar is present with the text 'Search Table'. The table below lists two reports:

Report Name	Schedule	Last Run	Reports	Format	Template Category	Report Template	Actions
Client Report for Mar 18, 2020 at 02:29 pm	One-Time on Mar 18, 2020 at 2:32 pm	In Queue	1	PDF	Client	Client Summary	⋮
Client Report for Mar 16, 2020 at 03:13 pm	One-Time on Mar 16, 2020 at 3:13 pm	● Mar 16, 2020 at 3:14 pm ↓	1	CSV	Client	Client Detail	⋮

次のタスク

[Generated Reports] ウィンドウで、レポートインスタンスを確認します。

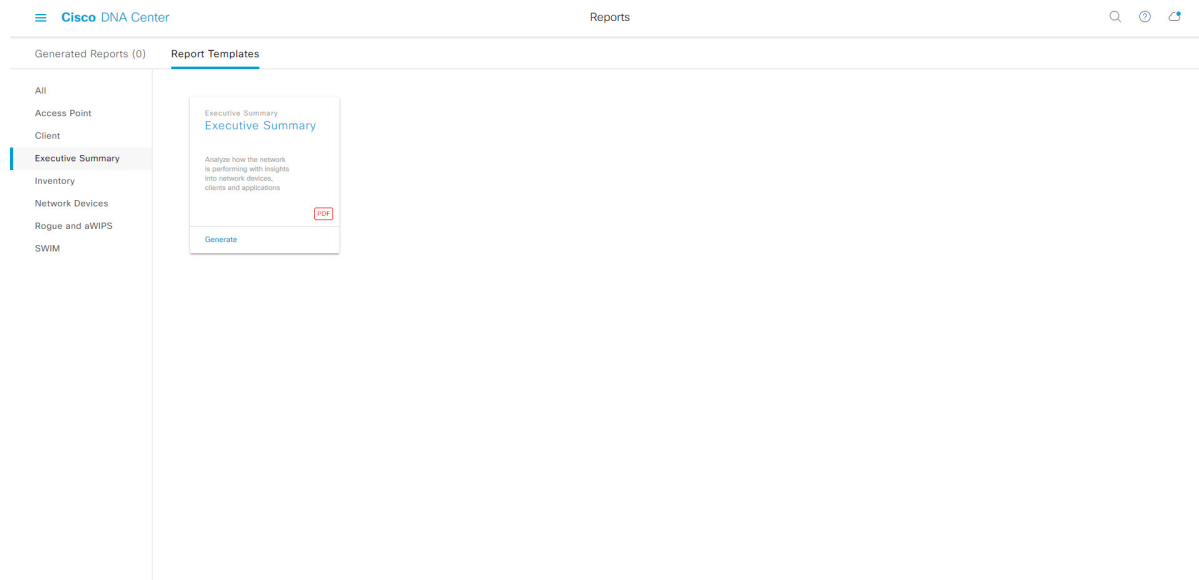


(注) [Generated Reports] ウィンドウで、レポートをダウンロード、確認、編集、複製、または削除できます。詳細については、[生成されたレポートの表示 \(74 ページ\)](#) を参照してください。

エグゼクティブ サマリー レポートの実行

ネットワークについての [Executive Summary] レポートを設定するには、次の手順を実行します。Cisco DNA Center GUI の [Reports] ウィンドウを使用して [Executive Summary] レポートを設定することができます。

図 33 : [Executive Summary] レポート



始める前に

- 正常なディスカバリジョブを Cisco DNA Center で実行します。[Device Inventory] でディスカバリジョブが成功しているかどうか確認できます。[Menu] アイコン (☰) から、[Provision] > [Inventory] の順にクリックして結果を表示します。

ステップ 1 Cisco DNA Center GUI で [Menu] アイコン (☰) をクリックして > [Reports] > [Report Templates] の順に選択します。

[Report Templates] ウィンドウが開き、サポートされているレポートカテゴリが表示されます。各カテゴリはリンクで表されます。リンクをクリックすると、そのカテゴリでサポートされているレポートのみが表示されます。

このリリースでは、次のカテゴリのレポートがサポートされています。

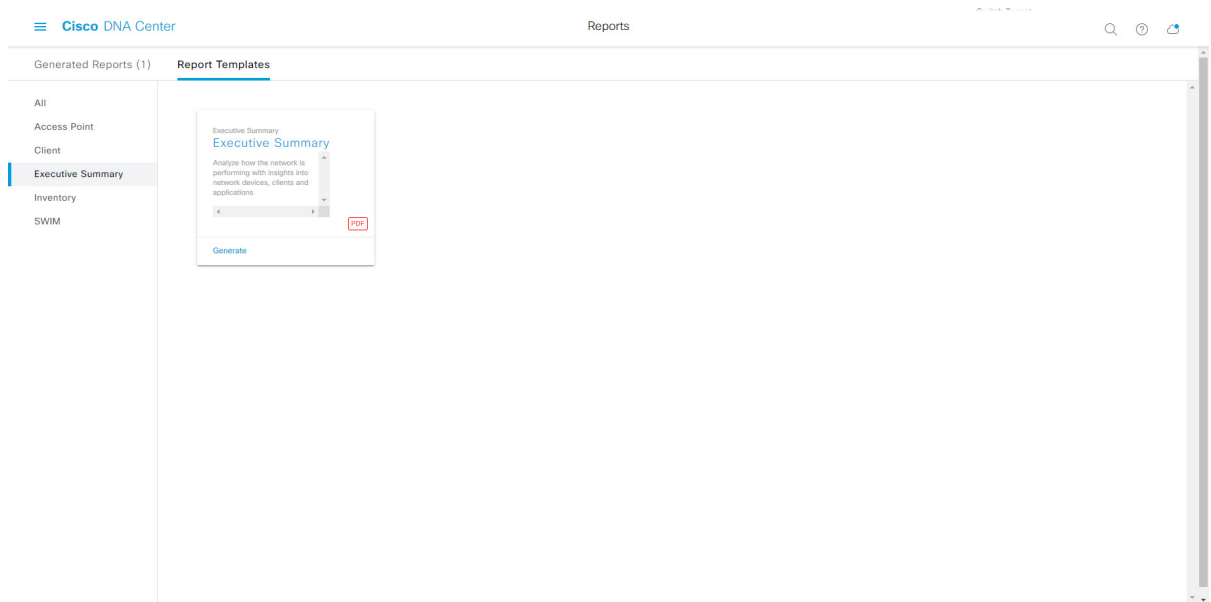
- [Access Point] : アクセスポイントおよびアクセスポイントの無線に関するデータを提供するレポート。
- [Client] : ネットワークにおけるクライアントのパフォーマンスの分析に役立つレポート。
- [Executive Summary] : ネットワークにおけるデバイス、アプリケーション、クライアントのパフォーマンスの分析に役立つレポート。
- [Inventory] : Cisco DNA Center で検出されたデバイスを一覧表示するレポート。
- [Network Devices] : ネットワーク内のデバイスに関するデータを提供するレポート。
- [Rogue and aWIPS] : ネットワーク内の脅威に関するデータを提供するレポート。

- [SWIM] : ネットワーク内のすべてのデバイスのソフトウェアとバージョンを一覧表示するレポート。

(注) [Access Point]、[Client]、[Executive Summary] のレポートのデータは最大 90 日間保持されません。

ステップ 2 リンクをクリックした後、選択したカテゴリの [Report Templates] ウィンドウを確認します。

図 34 : [Report Templates] ウィンドウ



[Report Templates] ウィンドウに、サポートされているレポートテンプレートが表示されます。各テンプレートはタイルで表され、レポートに関する情報とレポートを設定（生成）するためのリンクが含まれています。表示されたテンプレートからレポートの生成に使用するテンプレートを選びます。たとえば、[Executive Summary] レポートの場合は、[Executive Summary] レポートを作成できます。サポートされるレポートのファイルタイプ（PDF）もタイル内にアイコンで示されます。

ステップ 3 サンプルレポートを表示するには、タイルでヘッダーをクリックします。

サンプルレポートのウィンドウが表示されます。ウィンドウのサイドバーを使用して下にスクロールし、サンプルレポート全体を確認します。次のデータが表示されます。

- データメトリックとサマリー。
- データのグラフィカル表示（回線、バー、円グラフを含む）。
- データの分析を支援するテーブル。

(注) サンプルレポートを使用して、レポートの表示方法を計画できます。

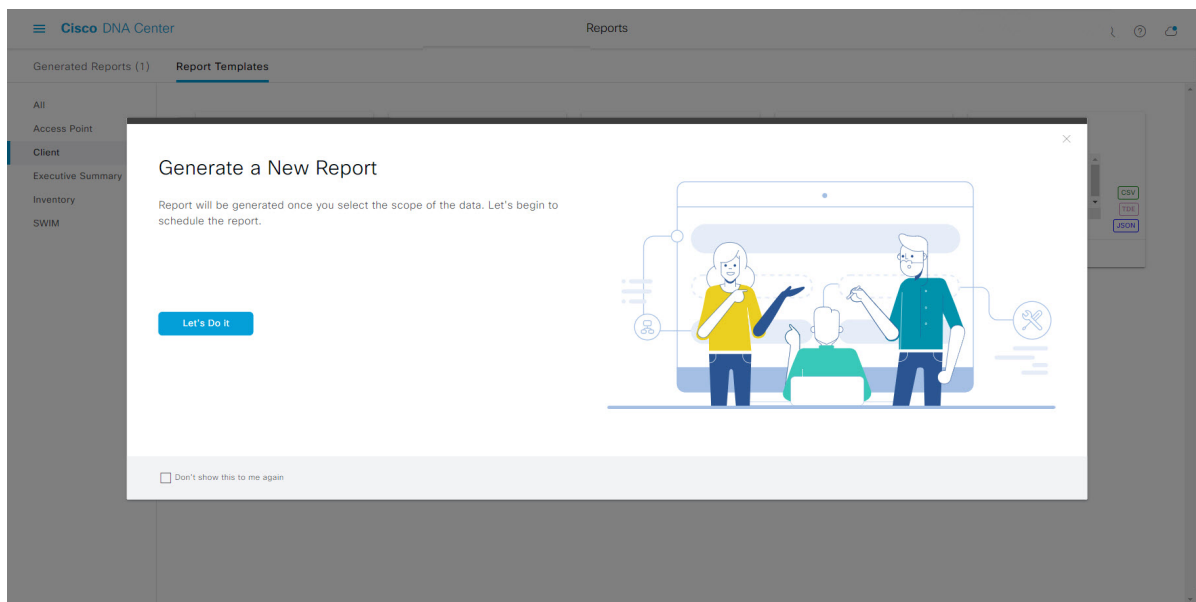
ステップ 4 [X] をクリックして、プレビューを閉じます。

ステップ 5 レポートを作成するためのパラメータを設定するには、タイルで [Generate] リンクをクリックします。

[Generate] ウィンドウが開きます。このウィンドウで、レポートのフォーマットタイプの選択やデータのフィルタの適用のほか、実際のレポート生成スケジュールの設定が可能です。

ステップ 6 [Generate a New Report] ウィンドウで、[Let's Do It] をクリックして生成を開始します。

図 35: [Generate a New Report]



[Setup the Report Template] ウィンドウが開きます。

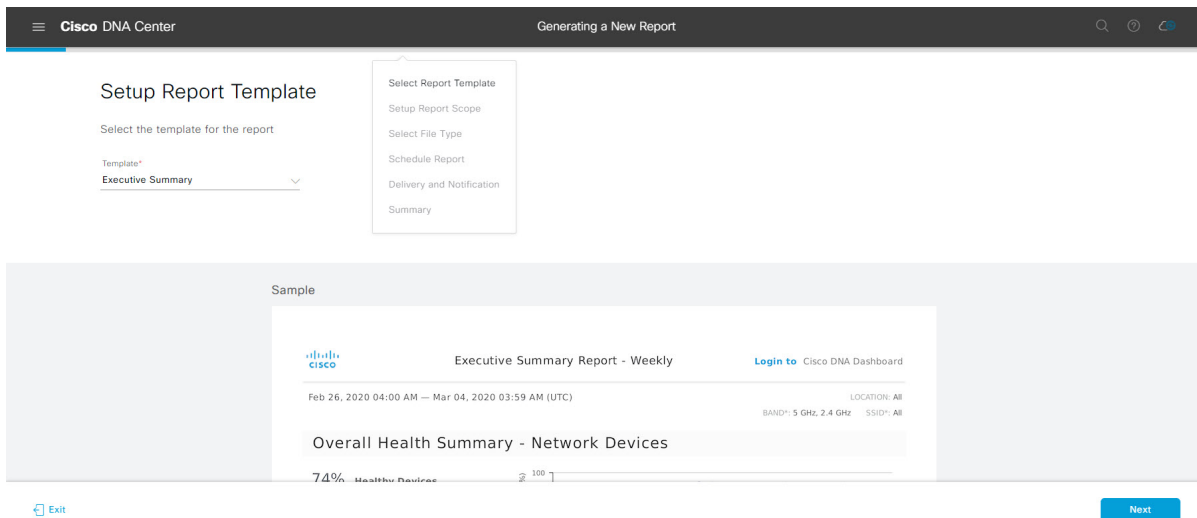
ステップ 7 [Setup the Report Template] ウィンドウで、レポートのテンプレートを選択します。

[Template] ドロップダウンメニューからいずれかを選択します。

(注) [Template] には、リリースに対応するカテゴリの個々のレポートタイプが表示されます。

同じウィンドウで自動生成されたサンプルを確認できます。

図 36 : [Setup Report Template]



[Next] をクリックして続行します。[Setup the Report Scope] ウィンドウが開きます。

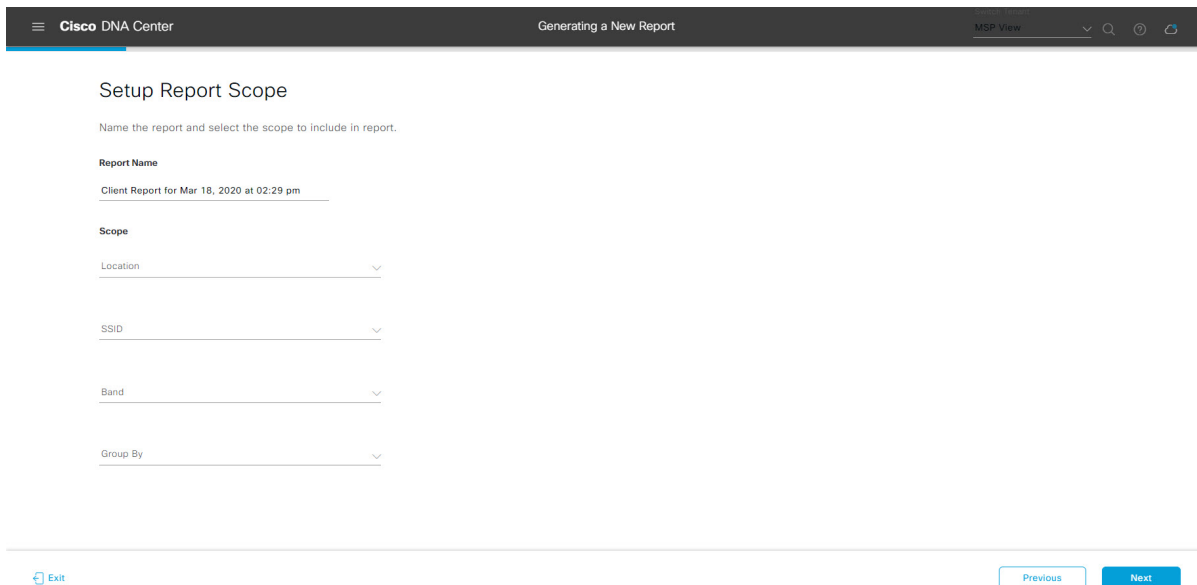
ステップ 8

[Setup the Report Scope] ウィンドウで、レポートの名前を指定して範囲を選択します。

[ReportName] フィールドにレポート名を入力し、[Scope] フィールドをクリックして使用可能なフィルタを表示します。レポートに使用するフィルタオプションをクリックします。

(注) [Report Scope] のオプションは、[Template] の選択に応じて変わります。

図 37 : [Setup Report Scope]



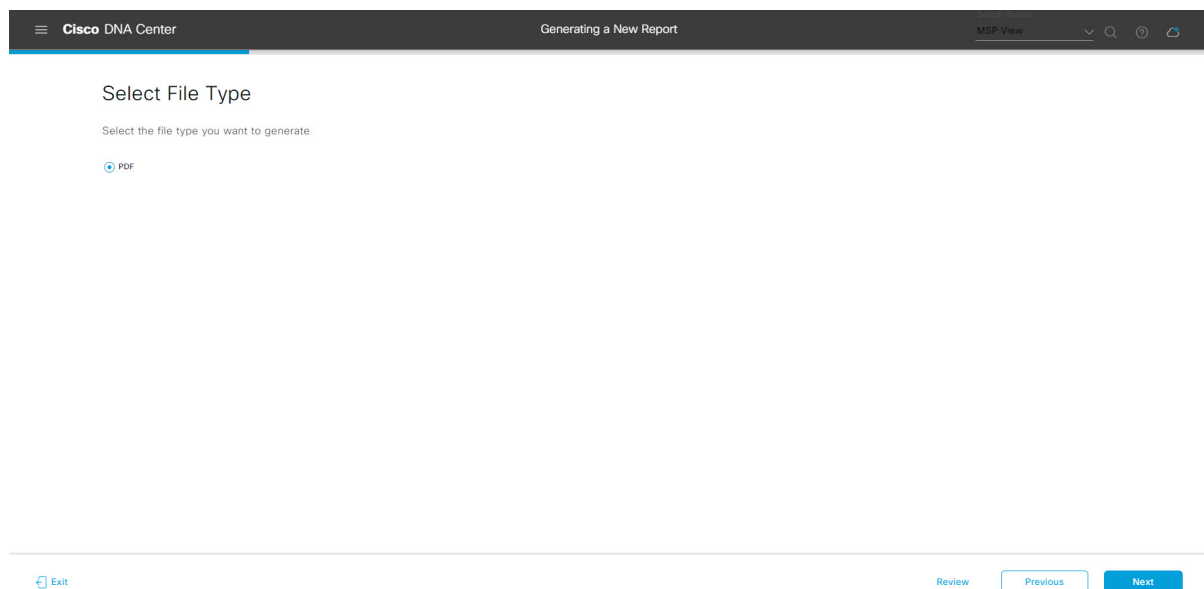
[Next] をクリックして続行します。[Select File Type] ウィンドウが開きます。

ステップ 9 [Select File Type] ウィンドウで、レポートのファイルタイプを選択します。
[File Type] では、作成するレポートに応じて次のオプションを選択できます。

- **PDF**
- **CSV**
- **Tableau Data Extract**
- **JSON**

ファイルタイプが [CSV]、[JSON]、[Tableau Data Extract] の場合、[Fields] オプションが表示され、CSV、JSON、Tableau Data Extract から作成するレポートの属性（追加フィールド）を選択できます。

図 38: [Select File Type]



[Next] をクリックして続行します。[Schedule Report] ウィンドウが開きます。

ステップ 10 [Schedule Report] ウィンドウで、レポートの時間範囲とスケジュールを選択します。
[Time Range] のオプションは次のとおりです。

- **Last 3 hours**
- **Last 24 hours**
- **Last 7 days**
- **Custom**

(注) [Custom] をクリックすると、特定のレポートタイプごとに期間の日時と時間範囲のタイムゾーン (GMT) を選択できるフィールドが表示されます。

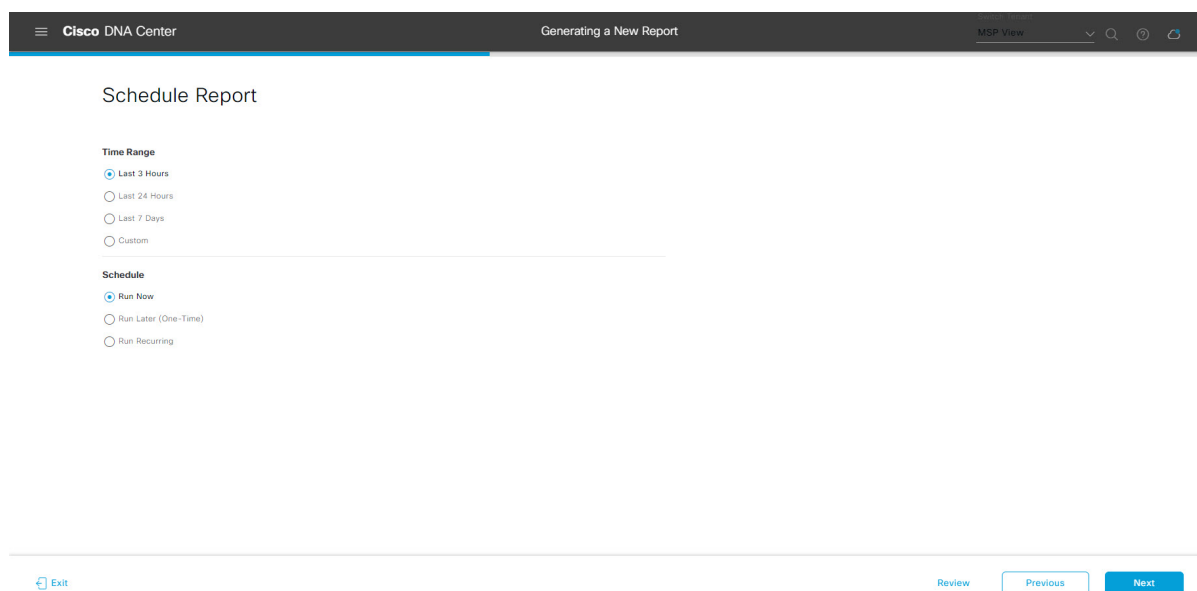
[Schedule] には、次のオプションがあります。

- **Run Now**
- **[Run Later]**
- **[Run Recurring]**

[Schedule] で次のオプションを選択した場合は、レポートのタイムゾーンも選択できます。

- **Custom**
- **[Run Later (One Time)]**
- **[Run Recurring]**

図 39: レポートのスケジュール



[Next] をクリックして続行します。[Delivery and Notification] ウィンドウが開きます。

ステップ 11 [Delivery and Notification] ウィンドウで、レポートの配信方法を選択します。

オプションは次のとおりです。

- **[Email Report]** : 電子メールレポートがリンクまたは添付ファイルとして送信されます。
(注) 電子メールのSMTPサーバーをまだ設定していない場合は設定するように求められます。GUIの [Email] タブのプロンプトに従ってSMTPサーバーを設定します。[System] > [Settings] > [External Services] > [Destinations] > [Email] タブの順にクリックします。
- **[Link]** : レポートが正常にコンパイルされたことを伝える電子メール通知に、元のレポートと [Reports] の [Generated Reports] ページへのリンクが含まれます。ここからリンクを使用して、レポートを表示およびダウンロードできます。

(注) リンクを含む電子メールレポートでは、最大20の電子メールアドレスがサポートされます。複数の電子メールを追加する場合は、電子メールアドレスを追加した後にキーボードの **Enter** を押す必要があります。Enter を押した時点で、電子メールアドレスについて必要なすべての検証が実行され、電子メールアドレスのシンタックスに誤りがある場合は通知されます。

• [Attachment] : レポートが電子メール通知に添付されます。

(注) 電子メール通知への添付は、PDF レポートでのみサポートされます。また、電子メールに添付できる PDF レポートの最大サイズは 20 MB です。電子メールの添付ファイルでは、最大 10 の電子メールアドレスがサポートされます。複数の電子メールを追加する場合は、電子メールアドレスを追加した後にキーボードの **Enter** を押す必要があります。Enter を押した時点で、電子メールアドレスについて必要なすべての検証が実行され、電子メールアドレスのシンタックスに誤りがある場合は通知されます。

Cisco DNA Center は、レポートに関する次の電子メール通知を送信します。

- レポートは、実行待ちのキュー内にあります。
- インポートプロセスは進行中です。
- レポートのコンパイルが正常に完了しました。

• [Webhook Notification] : 設定されたウェブフック URL アドレス (コールバック URL) へのウェブフックとして通知が送信されます。ドロップダウンメニュー ([Subscription Profile] フィールド) からウェブフックを選択します。

(注) まだウェブフックを作成していない場合は作成するように求められます。GUI の [Webhook] タブのプロンプトに従ってウェブフックを設定します。一般に、ウェブフックを設定するには、[System] > [Settings] > [External Services] > [Destinations] > [Webhook] タブの順にクリックします。

レポートのステータスウェブフック通知を受信します。たとえば、「キュー内 (In Queue)」、「進行中 (In Progress)」、「成功 (Success)」のウェブフック通知が届きます。これらの通知は、GUI で表示することもできます。

図 40 : [Delivery and Notification]

The screenshot shows the 'Delivery and Notification' configuration page in Cisco DNA Center. The page title is 'Generating a New Report'. Under 'Delivery and Notification', there are three radio button options: 'Email Report' (selected), 'As a Link', and 'As an Attachment'. Below these is an 'Add Email' input field. There is also a 'Webhook Notification' option. At the bottom right, there are 'Review', 'Previous', and 'Next' buttons. An 'Exit' button is at the bottom left.

[Next] をクリックして続行します。[Summary] ウィンドウが開きます。

ステップ 12 [Summary] ウィンドウで、設定を確認し、必要に応じてファイルを編集します。

図 41 : [Summary]

The screenshot shows the 'Summary' configuration page in Cisco DNA Center. The page title is 'Generating a New Report'. The main heading is 'Summary'. Below it, there is a message: 'Almost there! Please find below the summary of the Report'. There are four expandable sections: 'Report Name' (value: Client Report for Mar 18, 2020 at 02:29 pm), 'Scope' (Location: Not Selected, SSID: Not Selected, Band: Not Selected, Group By: Not Selected), 'File Type' (value: PDF), and 'Time Range' (value: Last 3 Hours). At the bottom right, there are 'Previous' and 'Next' buttons. An 'Exit' button is at the bottom left.

[Next] ボタンをクリックします。

レポートが生成されると、成功したことを示すウィンドウが表示されます。

ステップ 13 [View the Generated Reports] リンクをクリックします。

[Generated Reports] ウィンドウが開き、スケジュールされたレポートのインスタンスの詳細が表示されます。

図 42: [Generated Reports]

The screenshot shows the Cisco DNA Center Reports page. The page title is "Cisco DNA Center Reports". There are tabs for "Generated Reports (2)" and "Report Templates". A search bar is present with the text "Search Table". The table below lists two reports:

Report Name	Schedule	Last Run	Reports	Format	Template Category	Report Template	Actions
Client Report for Mar 18, 2020 at 02:29 pm	One-Time on Mar 18, 2020 at 2:32 pm	In Queue	1	PDF	Client	Client Summary	⋮
Client Report for Mar 16, 2020 at 03:13 pm	One-Time on Mar 16, 2020 at 3:13 pm	● Mar 16, 2020 at 3:14 pm ↓	1	CSV	Client	Client Detail	⋮

Additional UI elements include "Last Updated: 2:33 PM" and a "Refresh" button.

次のタスク

[Generated Reports] ウィンドウで、レポートインスタンスを確認します。

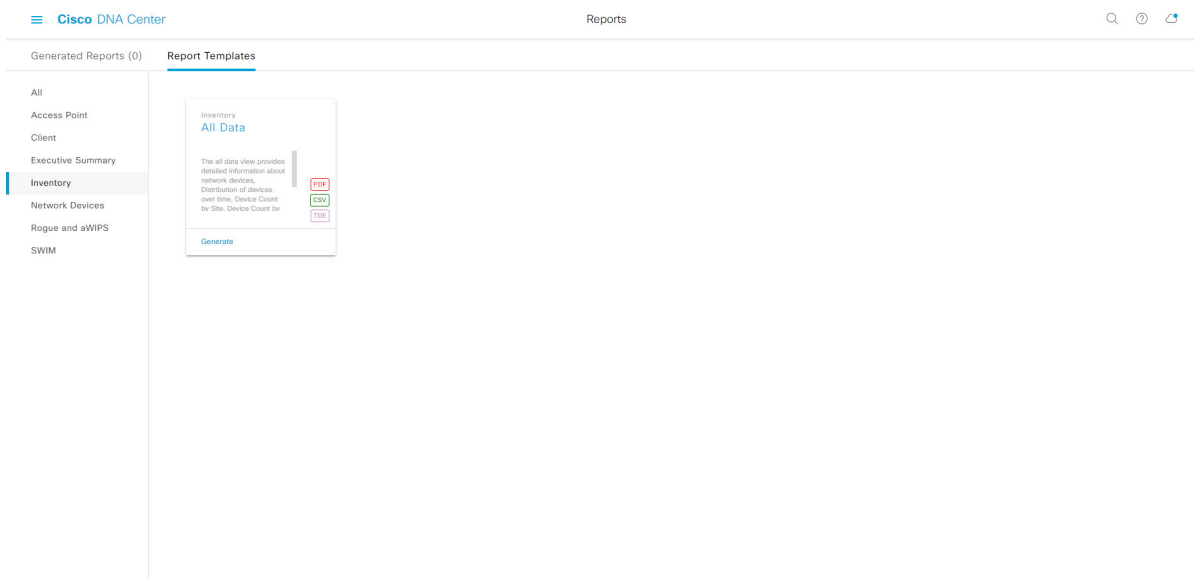


(注) [Generated Reports] ウィンドウで、レポートをダウンロード、確認、編集、複製、または削除できます。詳細については、[生成されたレポートの表示 \(74 ページ\)](#) を参照してください。

インベントリレポートの実行

ネットワークについてのインベントリレポートを設定するには、次の手順を実行します。Cisco DNA Center GUI の [Reports] ウィンドウを使用して、インベントリレポートを設定できます。

図 43 : Inventory Report



始める前に

- 正常なディスクバリジョブを Cisco DNA Center で実行します。[Device Inventory] でディスクバリジョブが成功しているかどうか確認できます。[Menu]アイコン (☰) から、[Provision] > [Inventory] の順にクリックして結果を表示します。

ステップ 1 Cisco DNA Center GUI で [Menu] アイコン (☰) をクリックして > [Reports] > [Report Templates] の順に選択します。

[Report Templates] ウィンドウが開き、サポートされているレポートカテゴリが表示されます。各カテゴリはリンクで表されます。リンクをクリックすると、そのカテゴリでサポートされているレポートのみが表示されます。

このリリースでは、次のカテゴリのレポートがサポートされています。

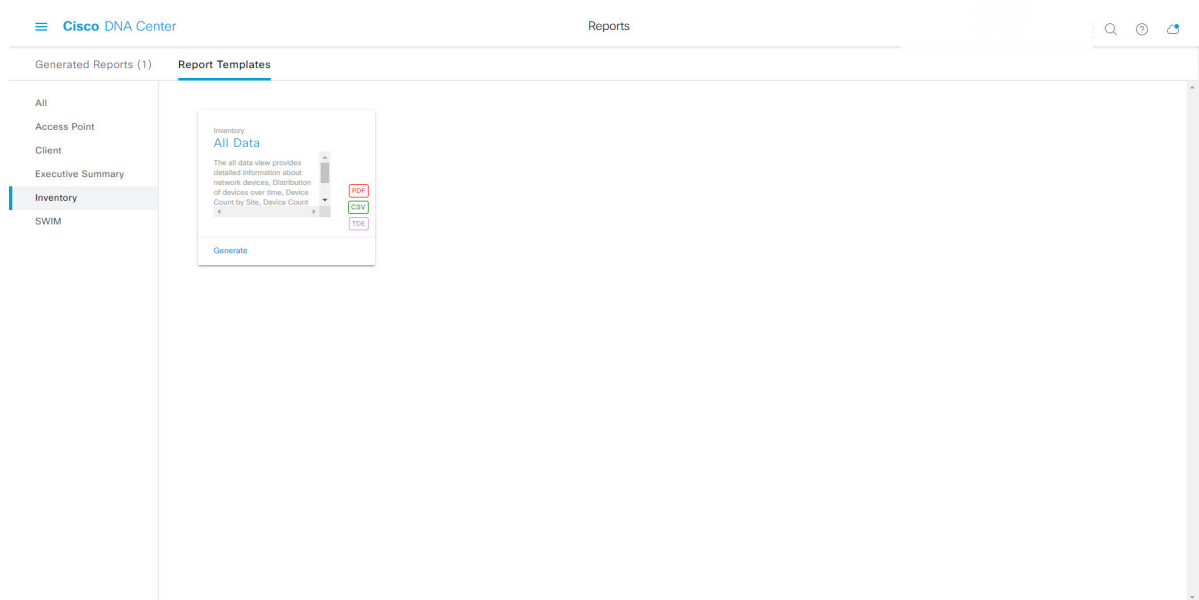
- [Access Point] : アクセスポイントおよびアクセスポイントの無線に関するデータを提供するレポート。
- [Client] : ネットワークにおけるクライアントのパフォーマンスの分析に役立つレポート。
- [Executive Summary] : ネットワークにおけるデバイス、アプリケーション、クライアントのパフォーマンスの分析に役立つレポート。
- [Inventory] : Cisco DNA Center で検出されたデバイスを一覧表示するレポート。
- [Network Devices] : ネットワーク内のデバイスに関するデータを提供するレポート。
- [Rogue and aWIPS] : ネットワーク内の脅威に関するデータを提供するレポート。

- [SWIM]：ネットワーク内のすべてのデバイスのソフトウェアとバージョンを一覧表示するレポート。

(注) [Access Point]、[Client]、[Executive Summary] のレポートのデータは最大 90 日間保持されます。

ステップ 2 リンクをクリックした後、選択したカテゴリの [Report Templates] ウィンドウを確認します。

図 44: [Report Templates] ウィンドウ



[Report Templates] ウィンドウに、サポートされているレポートテンプレートが表示されます。各テンプレートはタイルで表され、レポートに関する情報とレポートを設定（生成）するためのリンクが含まれています。表示されたテンプレートからレポートの生成に使用するテンプレートを選びます。たとえば、インベントリレポートの場合は、[All Data] レポートを作成できます。サポートされるレポートのファイルタイプ（PDF、CSV、TDE）もタイル内にアイコンで示されます。

ステップ 3 サンプルレポートを表示するには、タイルでヘッダーをクリックします。

サンプルレポートのウィンドウが表示されます。ウィンドウのサイドバーを使用して下にスクロールし、サンプルレポート全体を確認します。次のデータが表示されます。

- 適用されたフィルタ（レポートを構築するために使用されたデータフィルタ）。
- データメトリックとサマリー。
- データのグラフィカル表示（回線、バー、円グラフを含む）。
- データの分析を支援するテーブル。

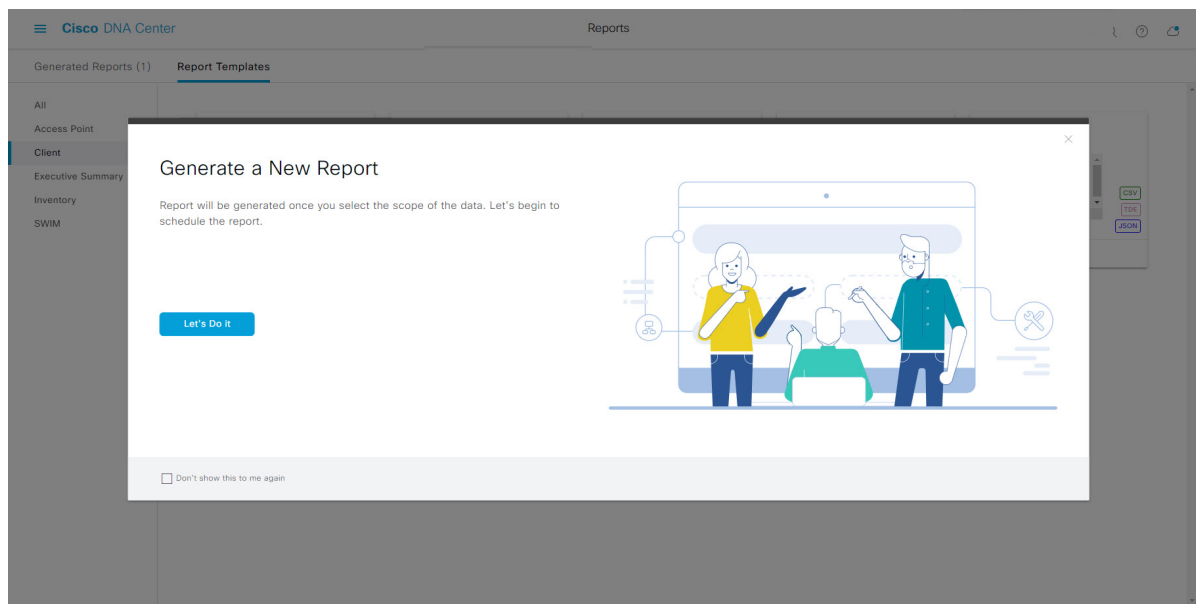
(注) サンプルレポートを使用して、レポートの表示方法を計画できます。

ステップ 4 [X] をクリックして、プレビューを閉じます。

ステップ5 レポートを作成するためのパラメータを設定するには、タイトルで **[Generate]** リンクをクリックします。
[Generate] ウィンドウが開きます。このウィンドウで、レポートのフォーマットタイプの選択やデータのフィルタの適用のほか、実際のレポート生成スケジュールの設定が可能です。

ステップ6 **[Generate a New Report]** ウィンドウで、**[Let's Do It]** をクリックして生成を開始します。

図 45: **[Generate a New Report]**



[Setup the Report Template] ウィンドウが開きます。

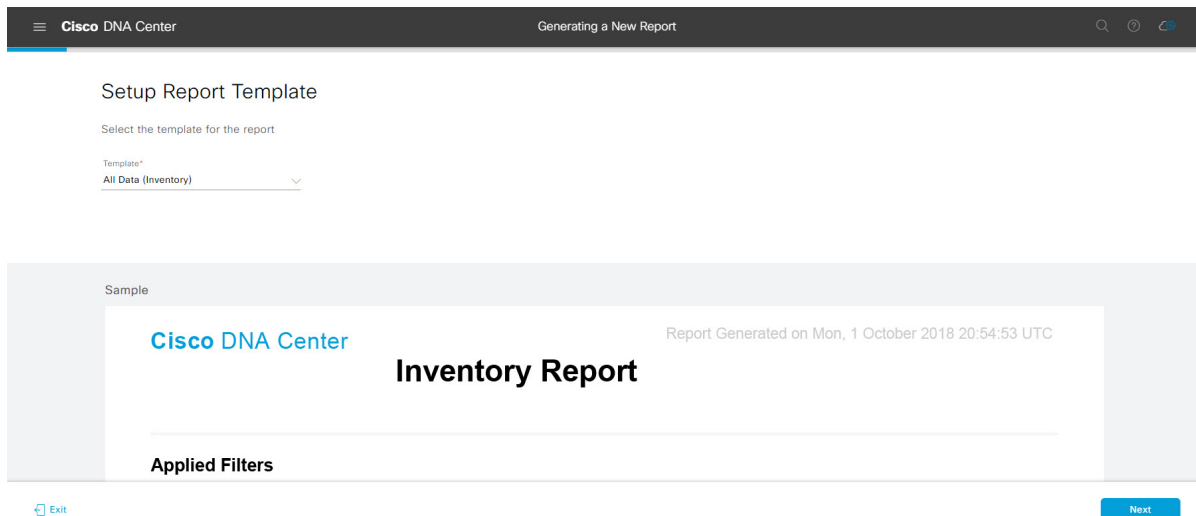
ステップ7 **[Setup the Report Template]** ウィンドウで、レポートのテンプレートを選択します。

[Template] ドロップダウンメニューからいずれかを選択します。

(注) **[Template]** には、リリースに対応するカテゴリの個々のレポートタイプが表示されます。

同じウィンドウで自動生成されたサンプルを確認できます。

図 46: [Setup Report Template]



[Next] をクリックして続行します。[Setup the Report Scope] ウィンドウが開きます。

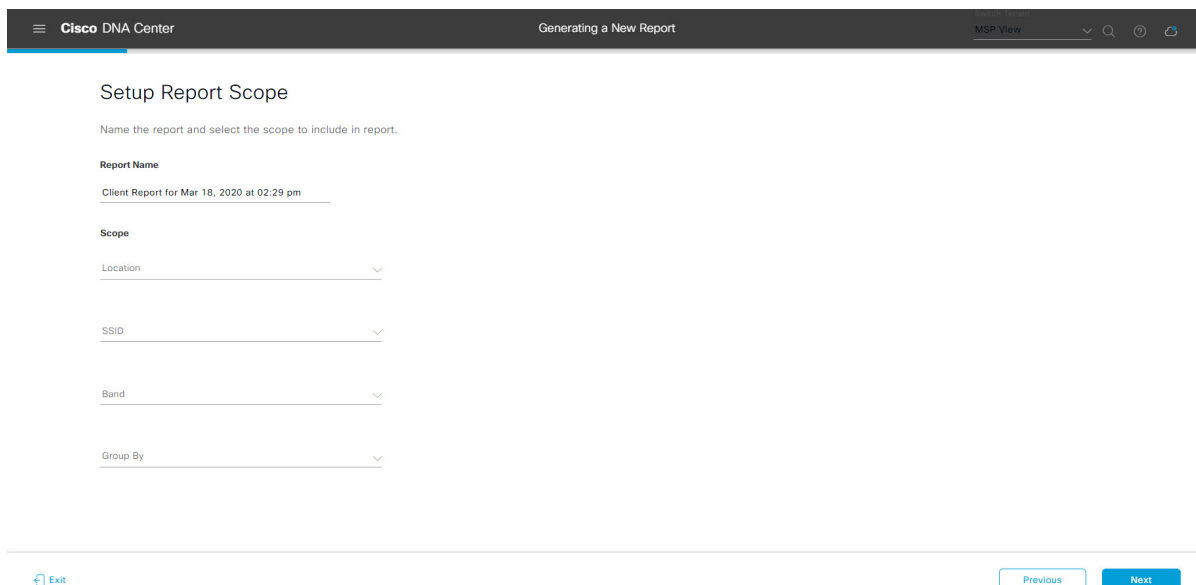
ステップ 8

[Setup the Report Scope] ウィンドウで、レポートの名前を指定して範囲を選択します。

[ReportName] フィールドにレポート名を入力し、[Scope] フィールドをクリックして使用可能なフィルタを表示します。レポートに使用するフィルタオプションをクリックします。

(注) [Report Scope] のオプションは、[Template] の選択に応じて変わります。

図 47: [Setup Report Scope]



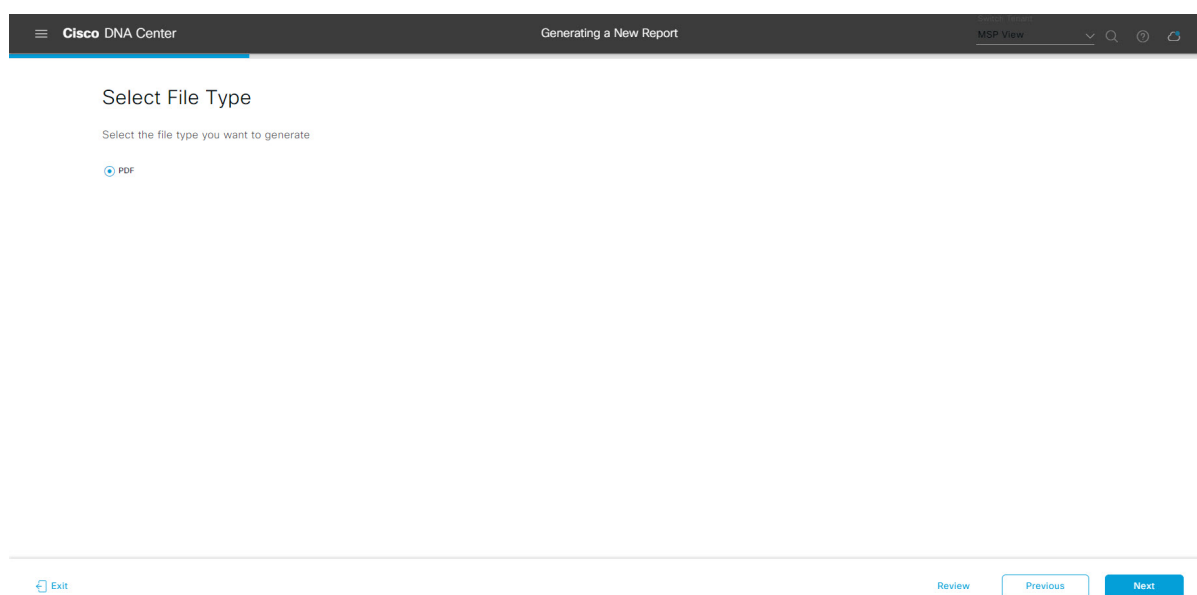
[Next] をクリックして続行します。[Select File Type] ウィンドウが開きます。

ステップ 9 [Select File Type] ウィンドウで、レポートのファイルタイプを選択します。
[File Type] では、作成するレポートに応じて次のオプションを選択できます。

- PDF
- CSV
- **Tableau Data Extract**
- JSON

ファイルタイプが [CSV]、[JSON]、[Tableau Data Extract] の場合、[Fields] オプションが表示され、CSV、JSON、Tableau Data Extract から作成するレポートの属性（追加フィールド）を選択できます。

図 48 : [Select File Type]



[Next] をクリックして続行します。[Schedule Report] ウィンドウが開きます。

ステップ 10 [Schedule Report] ウィンドウで、レポートの時間範囲とスケジュールを選択します。
[Time Range] のオプションは次のとおりです。

- Last 3 hours
- Last 24 hours
- Last 7 days
- **Custom**

(注) [Custom] をクリックすると、特定のレポートタイプごとに期間の日時と時間範囲のタイムゾーン（GMT）を選択できるフィールドが表示されます。

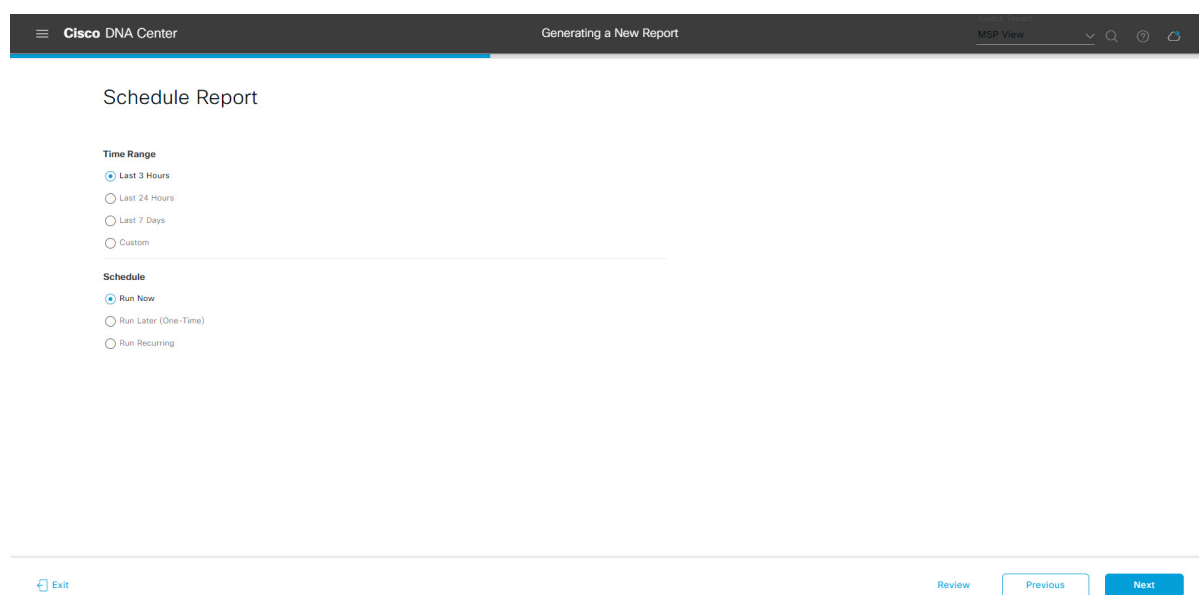
[Schedule] には、次のオプションがあります。

- **Run Now**
- **[Run Later]**
- **[Run Recurring]**

[Schedule] で次のオプションを選択した場合は、レポートのタイムゾーンも選択できます。

- **Custom**
- **[Run Later (One Time)]**
- **[Run Recurring]**

図 49: レポートのスケジュール



[Next] をクリックして続行します。[Delivery and Notification] ウィンドウが開きます。

ステップ 11 [Delivery and Notification] ウィンドウで、レポートの配信方法を選択します。

オプションは次のとおりです。

- **[Email Report]** : 電子メールレポートがリンクまたは添付ファイルとして送信されます。
 - (注) 電子メールのSMTPサーバーをまだ設定していない場合は設定するように求められます。GUIの [Email] タブのプロンプトに従ってSMTPサーバーを設定します。[System] > [Settings] > [External Services] > [Destinations] > [Email] タブの順にクリックします。
- **[Link]** : レポートが正常にコンパイルされたことを伝える電子メール通知に、元のレポートと [Reports] の [Generated Reports] ページへのリンクが含まれます。ここからリンクを使用して、レポートを表示およびダウンロードできます。

(注) リンクを含む電子メールレポートでは、最大20の電子メールアドレスがサポートされます。複数の電子メールを追加する場合は、電子メールアドレスを追加した後にキーボードの **Enter** を押す必要があります。Enter を押した時点で、電子メールアドレスについて必要なすべての検証が実行され、電子メールアドレスのシンタックスに誤りがある場合は通知されます。

• [Attachment] : レポートが電子メール通知に添付されます。

(注) 電子メール通知への添付は、PDF レポートでのみサポートされます。また、電子メールに添付できる PDF レポートの最大サイズは20 MB です。電子メールの添付ファイルでは、最大10の電子メールアドレスがサポートされます。複数の電子メールを追加する場合は、電子メールアドレスを追加した後にキーボードの **Enter** を押す必要があります。Enter を押した時点で、電子メールアドレスについて必要なすべての検証が実行され、電子メールアドレスのシンタックスに誤りがある場合は通知されます。

Cisco DNA Center は、レポートに関する次の電子メール通知を送信します。

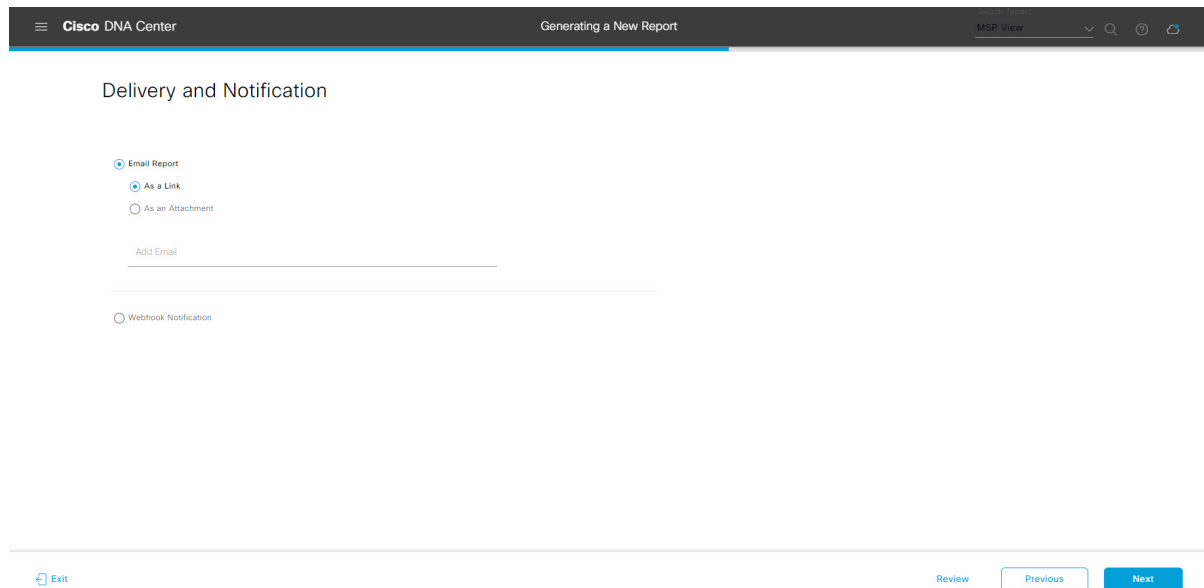
- レポートは、実行待ちのキュー内にあります。
- インポートプロセスは進行中です。
- レポートのコンパイルが正常に完了しました。

• [Webhook Notification] : 設定されたウェブフック URL アドレス (コールバック URL) へのウェブフックとして通知が送信されます。ドロップダウンメニュー ([Subscription Profile] フィールド) からウェブフックを選択します。

(注) まだウェブフックを作成していない場合は作成するように求められます。GUIの[Webhook] タブのプロンプトに従ってウェブフックを設定します。一般に、ウェブフックを設定するには、[System] > [Settings] > [External Services] > [Destinations] > [Webhook] タブの順にクリックします。

レポートのステータスウェブフック通知を受信します。たとえば、「キュー内 (In Queue)」、「進行中 (In Progress)」、「成功 (Success)」のウェブフック通知が届きます。これらの通知は、GUIで表示することもできます。

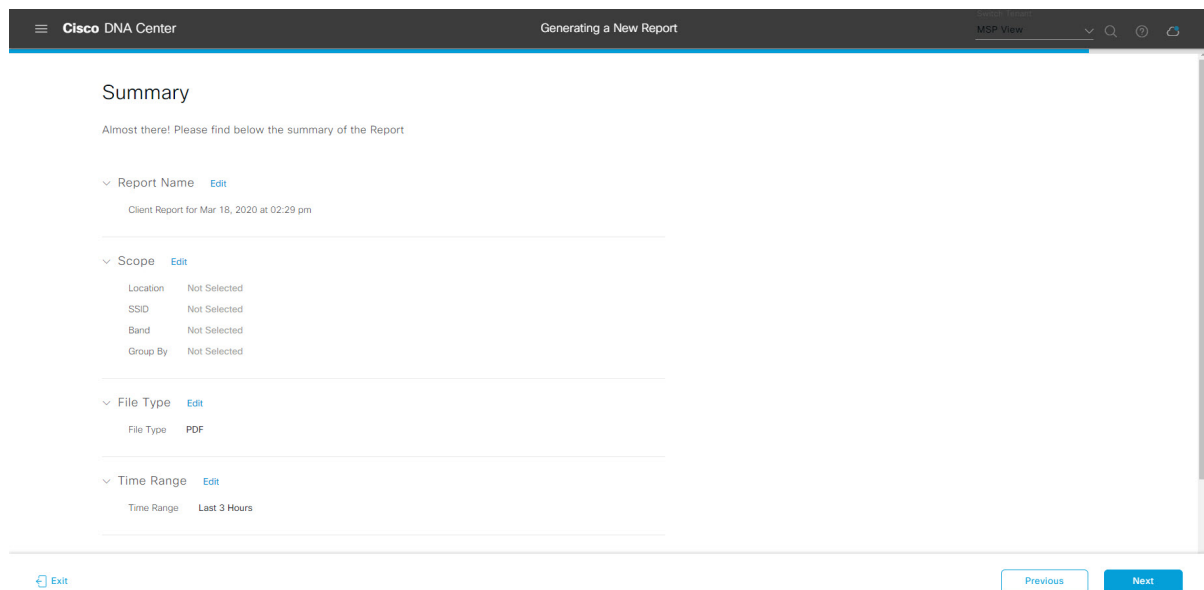
図 50 : [Delivery and Notification]



[Next] をクリックして続行します。[Summary] ウィンドウが開きます。

ステップ 12 [Summary] ウィンドウで、設定を確認し、必要に応じてファイルを編集します。

図 51 : [Summary]



[Next] ボタンをクリックします。

レポートが生成されると、成功したことを示すウィンドウが表示されます。

ステップ 13 [View the Generated Reports] リンクをクリックします。

[Generated Reports] ウィンドウが開き、スケジュールされたレポートのインスタンスの詳細が表示されます。

図 52: [Generated Reports]

The screenshot shows the Cisco DNA Center interface for the Reports section. It features a search bar and a table with the following data:

Report Name	Schedule	Last Run	Reports	Format	Template Category	Report Template	Actions
Client Report for Mar 18, 2020 at 02:29 pm	One-Time on Mar 18, 2020 at 2:32 pm	In Queue	1	PDF	Client	Client Summary	...
Client Report for Mar 16, 2020 at 03:13 pm	One-Time on Mar 16, 2020 at 3:13 pm	Mar 16, 2020 at 3:14 pm ↓	1	CSV	Client	Client Detail	...

次のタスク

[Generated Reports] ウィンドウで、レポートインスタンスを確認します。

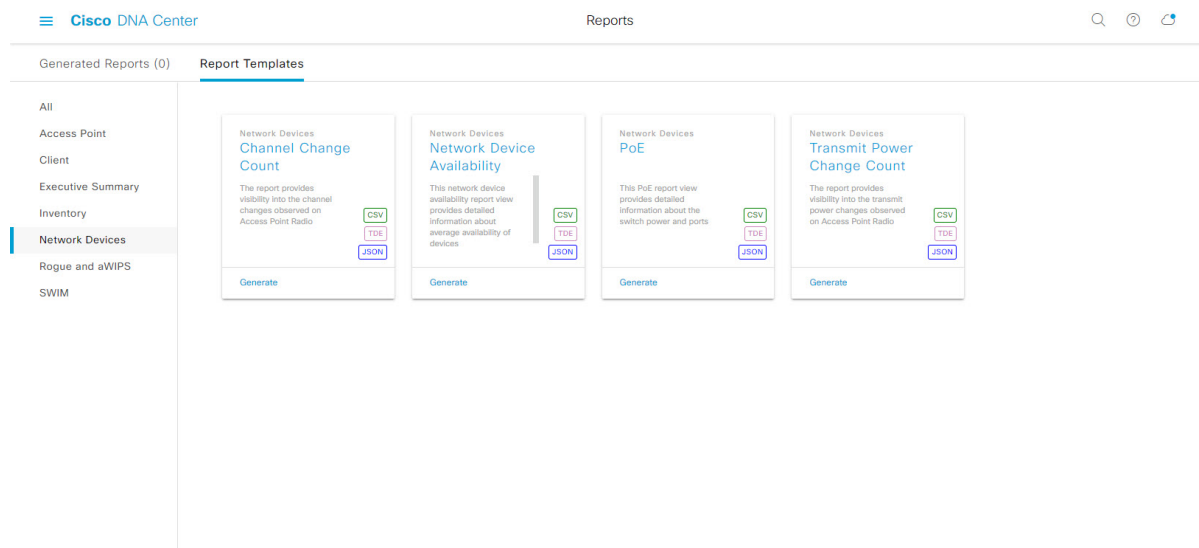


(注) [Generated Reports] ウィンドウで、レポートをダウンロード、確認、編集、複製、または削除できます。詳細については、[生成されたレポートの表示 \(74 ページ\)](#) を参照してください。

ネットワーク デバイス レポートの実行

ネットワークについてのネットワーク デバイス レポートを設定するには、次の手順を実行します。Cisco DNA Center GUIの[Reports] ウィンドウを使用して、ネットワーク デバイス レポートを設定できます。

図 53: ネットワーク デバイス レポート



始める前に

- 正常なディスカバリジョブを Cisco DNA Center で実行します。[Device Inventory] でディスカバリジョブが成功しているかどうか確認できます。[Menu] アイコン (≡) から、[Provision] > [Inventory] の順にクリックして結果を表示します。

ステップ 1 Cisco DNA Center GUI で [Menu] アイコン (≡) をクリックして > [Reports] > [Report Templates] の順に選択します。

[Report Templates] ウィンドウが開き、サポートされているレポートカテゴリが表示されます。各カテゴリはリンクで表されます。リンクをクリックすると、そのカテゴリでサポートされているレポートのみが表示されます。

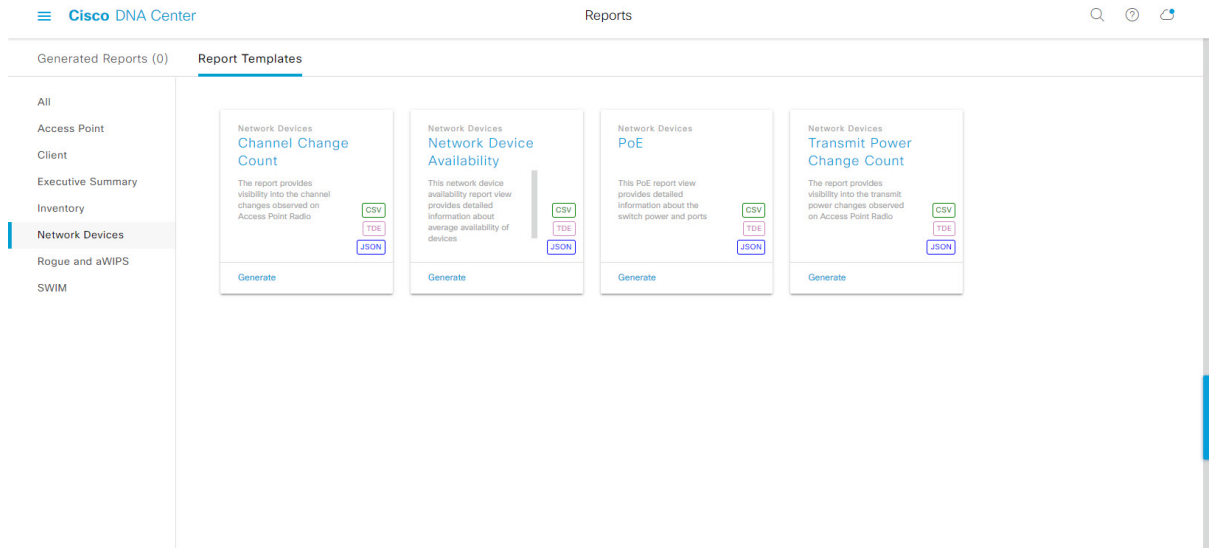
このリリースでは、次のカテゴリのレポートがサポートされています。

- [Access Point] : アクセスポイントおよびアクセスポイントの無線に関するデータを提供するレポート。
- [Client] : ネットワークにおけるクライアントのパフォーマンスの分析に役立つレポート。
- [Executive Summary] : ネットワークにおけるデバイス、アプリケーション、クライアントのパフォーマンスの分析に役立つレポート。
- [Inventory] : Cisco DNA Center で検出されたデバイスを一覧表示するレポート。
- [Network Devices] : ネットワーク内のデバイスに関するデータを提供するレポート。
- [Rogue and aWIPS] : ネットワーク内の脅威に関するデータを提供するレポート。
- [SWIM] : ネットワーク内のすべてのデバイスのソフトウェアとバージョンを一覧表示するレポート。

(注) [Access Point]、[Client]、[Executive Summary] のレポートのデータは最大 90 日間保持されます。

ステップ 2 リンクをクリックした後、選択したカテゴリの [Report Templates] ウィンドウを確認します。

図 54: [Report Templates] ウィンドウ



[Report Templates] ウィンドウに、サポートされているレポートテンプレートが表示されます。各テンプレートはタイルで表され、レポートに関する情報とレポートを設定（生成）するためのリンクが含まれています。表示されたテンプレートからレポートの生成に使用するテンプレートを選びます。たとえば、ネットワーク デバイス レポートの場合、チャンネル変更カウント、ネットワークデバイス可用性、PoE、または送信電力変更カウントのレポートを作成できます。サポートされるレポートのファイルタイプ（CSV、TDE、JSON）もタイル内にアイコンで示されます。

ステップ 3 サンプルレポートを表示するには、タイルでヘッダーをクリックします。

サンプルレポートのウィンドウが表示されます。ウィンドウのサイドバーを使用して下にスクロールし、サンプルレポート全体を確認します。次のデータが表示されます。

- 適用されたフィルタ（レポートを構築するために使用されたデータフィルタ）。
- データメトリックとサマリー。
- データのグラフィカル表示（回線、バー、円グラフを含む）。
- データの分析を支援するテーブル。

(注) サンプルレポートを使用して、レポートの表示方法を計画できます。

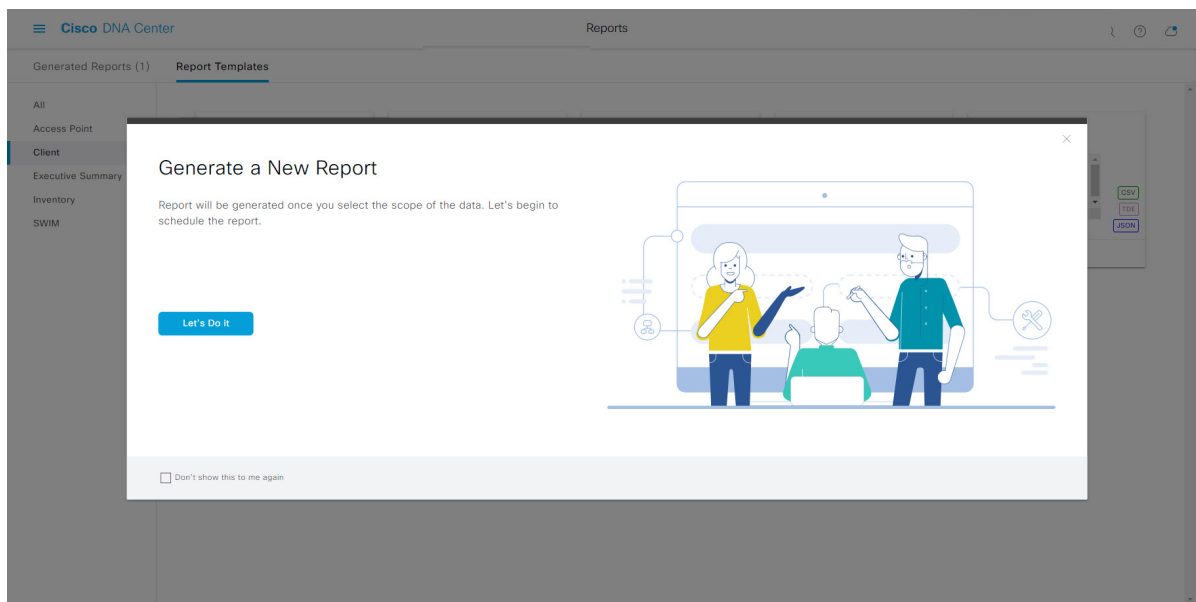
ステップ 4 [X] をクリックして、プレビューを閉じます。

ステップ 5 レポートを作成するためのパラメータを設定するには、タイルで [Generate] リンクをクリックします。

[Generate] ウィンドウが開きます。このウィンドウで、レポートのフォーマットタイプの選択やデータのフィルタの適用のほか、実際のレポート生成スケジュールの設定が可能です。

ステップ 6 [Generate a New Report] ウィンドウで、[Let's Do It] をクリックして生成を開始します。

図 55: [Generate a New Report]



[Setup the Report Template] ウィンドウが開きます。

ステップ 7 [Setup the Report Template] ウィンドウで、レポートのテンプレートを選択します。

[Template] ドロップダウンメニューからいずれかを選択します。

(注) [Template] には、リリースに対応するカテゴリの個々のレポートタイプが表示されます。

同じウィンドウで自動生成されたサンプルを確認できます。

図 56 : [Setup Report Template]

[Next] をクリックして続行します。[Setup the Report Scope] ウィンドウが開きます。

ステップ 8

[Setup the Report Scope] ウィンドウで、レポートの名前を指定して範囲を選択します。

[Report Name] フィールドにレポート名を入力し、[Scope] フィールドをクリックして使用可能なフィルタを表示します。レポートに使用するフィルタオプションをクリックします。

(注) [Report Scope] のオプションは、[Template] の選択に応じて変わります。

図 57 : [Setup Report Scope]

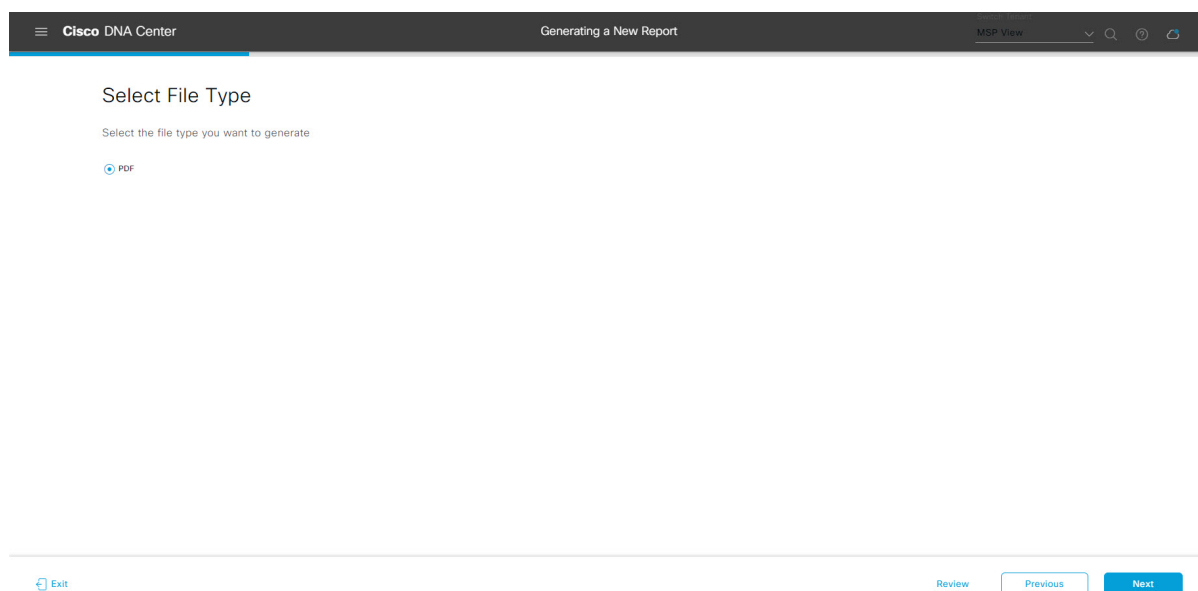
[Next] をクリックして続行します。[Select File Type] ウィンドウが開きます。

ステップ 9 [Select File Type] ウィンドウで、レポートのファイルタイプを選択します。
[File Type] では、作成するレポートに応じて次のオプションを選択できます。

- **PDF**
- **CSV**
- **Tableau Data Extract**
- **JSON**

ファイルタイプが [CSV]、[JSON]、[Tableau Data Extract] の場合、[Fields] オプションが表示され、CSV、JSON、Tableau Data Extract から作成するレポートの属性（追加フィールド）を選択できます。

図 58: [Select File Type]



[Next] をクリックして続行します。[Schedule Report] ウィンドウが開きます。

ステップ 10 [Schedule Report] ウィンドウで、レポートの時間範囲とスケジュールを選択します。
[Time Range] のオプションは次のとおりです。

- **Last 3 hours**
- **Last 24 hours**
- **Last 7 days**
- **Custom**

(注) [Custom] をクリックすると、特定のレポートタイプごとに期間の日時と時間範囲のタイムゾーン (GMT) を選択できるフィールドが表示されます。

[Schedule] には、次のオプションがあります。

- **Run Now**
- **[Run Later]**
- **[Run Recurring]**

[Schedule] で次のオプションを選択した場合は、レポートのタイムゾーンも選択できます。

- **Custom**
- **[Run Later (One Time)]**
- **[Run Recurring]**

図 59: レポートのスケジュール

The screenshot shows the 'Schedule Report' configuration interface in Cisco DNA Center. The page title is 'Generating a New Report'. The 'Time Range' section has three radio buttons: 'Last 3 Hours' (selected), 'Last 24 Hours', and 'Last 7 Days'. The 'Schedule' section has three radio buttons: 'Run Now' (selected), 'Run Later (One-Time)', and 'Run Recurring'. At the bottom of the page, there are four buttons: 'Exit', 'Review', 'Previous', and 'Next'.

[Next] をクリックして続行します。[Delivery and Notification] ウィンドウが開きます。

ステップ 11 [Delivery and Notification] ウィンドウで、レポートの配信方法を選択します。

オプションは次のとおりです。

- **[Email Report]** : 電子メールレポートがリンクまたは添付ファイルとして送信されます。
(注) 電子メールのSMTPサーバーをまだ設定していない場合は設定するように求められます。GUIの [Email] タブのプロンプトに従ってSMTPサーバーを設定します。[System] > [Settings] > [External Services] > [Destinations] > [Email] タブの順にクリックします。
- **[Link]** : レポートが正常にコンパイルされたことを伝える電子メール通知に、元のレポートと [Reports] の [Generated Reports] ページへのリンクが含まれます。ここからリンクを使用して、レポートを表示およびダウンロードできます。

(注) リンクを含む電子メールレポートでは、最大20の電子メールアドレスがサポートされます。複数の電子メールを追加する場合は、電子メールアドレスを追加した後にキーボードの **Enter** を押す必要があります。 **Enter** を押した時点で、電子メールアドレスについて必要なすべての検証が実行され、電子メールアドレスのシンタックスに誤りがある場合は通知されます。

• **[Attachment]** : レポートが電子メール通知に添付されます。

(注) 電子メール通知への添付は、PDFレポートでのみサポートされます。また、電子メールに添付できるPDFレポートの最大サイズは20MBです。電子メールの添付ファイルでは、最大10の電子メールアドレスがサポートされます。複数の電子メールを追加する場合は、電子メールアドレスを追加した後にキーボードの **Enter** を押す必要があります。 **Enter** を押した時点で、電子メールアドレスについて必要なすべての検証が実行され、電子メールアドレスのシンタックスに誤りがある場合は通知されます。

Cisco DNA Center は、レポートに関する次の電子メール通知を送信します。

- レポートは、実行待ちのキュー内にあります。
- インポートプロセスは進行中です。
- レポートのコンパイルが正常に完了しました。

• **[Webhook Notification]** : 設定されたウェブフック URL アドレス (コールバック URL) へのウェブフックとして通知が送信されます。ドロップダウンメニュー (**[Subscription Profile]** フィールド) からウェブフックを選択します。

(注) まだウェブフックを作成していない場合は作成するように求められます。GUIの**[Webhook]** タブのプロンプトに従ってウェブフックを設定します。一般に、ウェブフックを設定するには、**[System]** > **[Settings]** > **[External Services]** > **[Destinations]** > **[Webhook]** タブの順にクリックします。

レポートのステータスウェブフック通知を受信します。たとえば、「キュー内 (In Queue)」、「進行中 (In Progress)」、「成功 (Success)」のウェブフック通知が届きます。これらの通知は、GUIで表示することもできます。

図 60 : [Delivery and Notification]

The screenshot shows the 'Delivery and Notification' configuration page in Cisco DNA Center. The page title is 'Delivery and Notification'. Under the 'Email Report' section, the 'As a Link' radio button is selected. There is an 'Add Email' input field. Below this, the 'Webhook Notification' radio button is unselected. At the bottom of the page, there are buttons for 'Exit', 'Review', 'Previous', and 'Next'.

[Next] をクリックして続行します。[Summary] ウィンドウが開きます。

ステップ 12 [Summary] ウィンドウで、設定を確認し、必要に応じてファイルを編集します。

図 61 : [Summary]

The screenshot shows the 'Summary' configuration page in Cisco DNA Center. The page title is 'Summary'. Below the title, there is a message: 'Almost there! Please find below the summary of the Report'. The page is divided into several sections, each with a dropdown arrow and an 'Edit' link:

- Report Name**: Client Report for Mar 18, 2020 at 02:29 pm
- Scope**: Location (Not Selected), SSID (Not Selected), Band (Not Selected), Group By (Not Selected)
- File Type**: File Type (PDF)
- Time Range**: Time Range (Last 3 Hours)

At the bottom of the page, there are buttons for 'Exit', 'Previous', and 'Next'.

[Next] ボタンをクリックします。

レポートが生成されると、成功したことを示すウィンドウが表示されます。

ステップ 13 [View the Generated Reports] リンクをクリックします。

[Generated Reports] ウィンドウが開き、スケジュールされたレポートのインスタンスの詳細が表示されます。

図 62 : [Generated Reports]

The screenshot shows the Cisco DNA Center Reports page. At the top, there is a navigation bar with 'Cisco DNA Center' and 'Reports'. Below this, there are tabs for 'Generated Reports (2)' and 'Report Templates'. A search bar is present with the text 'Search Table'. The main content is a table with the following columns: Report Name, Schedule, Last Run, Reports, Format, Template Category, Report Template, and Actions. Two reports are listed:

Report Name	Schedule	Last Run	Reports	Format	Template Category	Report Template	Actions
Client Report for Mar 18, 2020 at 02:29 pm	One-Time on Mar 18, 2020 at 2:32 pm	In Queue	1	PDF	Client	Client Summary	⋮
Client Report for Mar 16, 2020 at 03:13 pm	One-Time on Mar 16, 2020 at 3:13 pm	Mar 16, 2020 at 3:14 pm ↓	1	CSV	Client	Client Detail	⋮

次のタスク

[Generated Reports] ウィンドウで、レポートインスタンスを確認します。

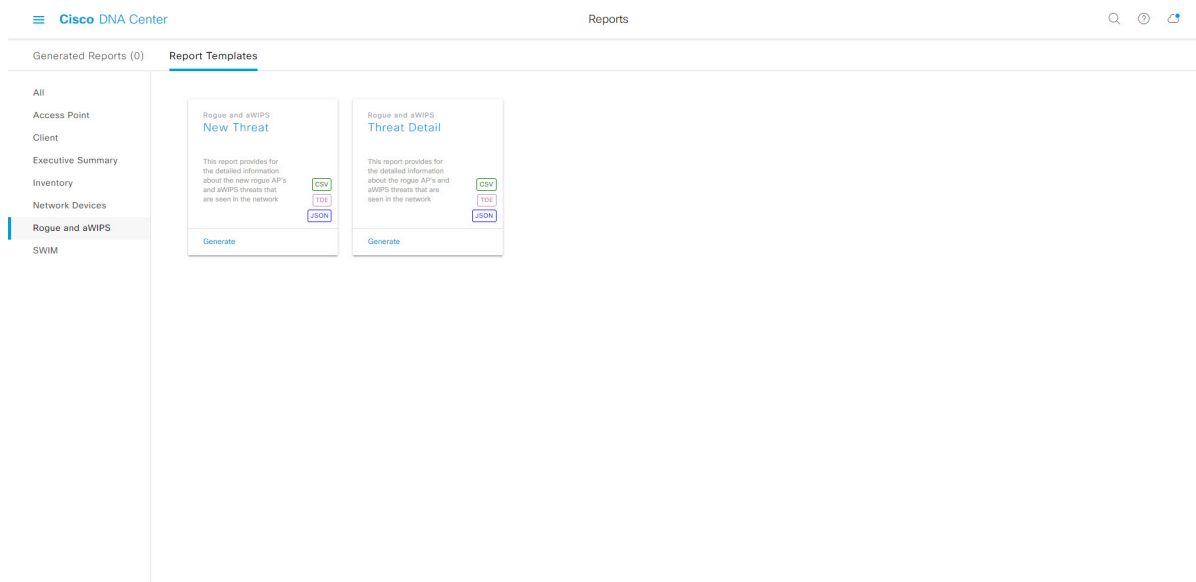


(注) [Generated Reports] ウィンドウで、レポートをダウンロード、確認、編集、複製、または削除できます。詳細については、[生成されたレポートの表示 \(74 ページ\)](#) を参照してください。

不正および aWIPS レポートの実行

ネットワークについての不正および aWIPS レポートを設定するには、次の手順を実行します。Cisco DNA Center GUI の [Reports] ウィンドウを使用して不正および aWIPS レポートを設定できます。

図 63:不正および aWIPS レポート



始める前に

- 正常なディスクバリジョブを Cisco DNA Center で実行します。[Device Inventory] でディスクバリジョブが成功しているかどうか確認できます。[Menu]アイコン (☰) から、[Provision] > [Inventory] の順にクリックして結果を表示します。

ステップ 1 Cisco DNA Center GUI で [Menu] アイコン (☰) をクリックして > [Reports] > [Report Templates] の順に選択します。

[Report Templates] ウィンドウが開き、サポートされているレポートカテゴリが表示されます。各カテゴリはリンクで表されます。リンクをクリックすると、そのカテゴリでサポートされているレポートのみが表示されます。

このリリースでは、次のカテゴリのレポートがサポートされています。

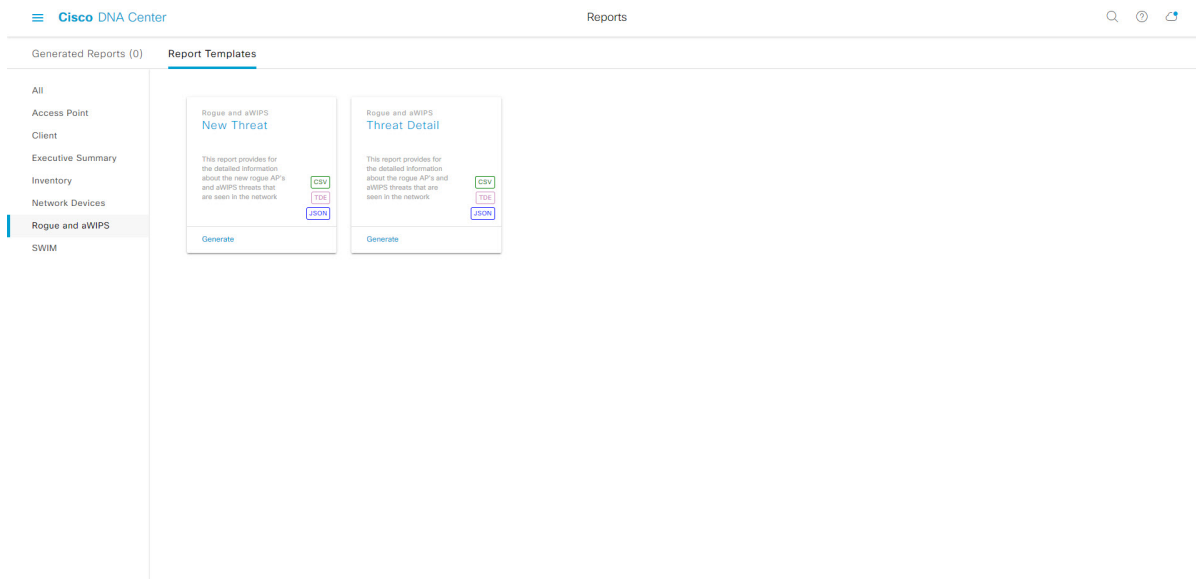
- [Access Point] : アクセスポイントおよびアクセスポイントの無線に関するデータを提供するレポート。
- [Client] : ネットワークにおけるクライアントのパフォーマンスの分析に役立つレポート。
- [Executive Summary] : ネットワークにおけるデバイス、アプリケーション、クライアントのパフォーマンスの分析に役立つレポート。
- [Inventory] : Cisco DNA Center で検出されたデバイスを一覧表示するレポート。
- [Network Devices] : ネットワーク内のデバイスに関するデータを提供するレポート。
- [Rogue and aWIPS] : ネットワーク内の脅威に関するデータを提供するレポート。

- [SWIM] : ネットワーク内のすべてのデバイスのソフトウェアとバージョンを一覧表示するレポート。

(注) [Access Point]、[Client]、[Executive Summary] のレポートのデータは最大 90 日間保持されます。

ステップ 2 リンクをクリックした後、選択したカテゴリの [Report Templates] ウィンドウを確認します。

図 64 : [Report Templates] ウィンドウ



[Report Templates] ウィンドウに、サポートされているレポートテンプレートが表示されます。各テンプレートはタイトルで表され、レポートに関する情報とレポートを設定（生成）するためのリンクが含まれています。表示されたテンプレートからレポートの生成に使用するテンプレートを選びます。たとえば、不正および aWIPS レポートの場合、「**New Threat**（新しい脅威）」レポートまたは「**Threat Detail**（脅威の詳細）」レポートを作成できます。サポートされるレポートのファイルタイプ（CSV、TDE、JSON）もタイトル内にアイコンで示されます。

ステップ 3 サンプルレポートを表示するには、タイトルでヘッダーをクリックします。

サンプルレポートのウィンドウが表示されます。ウィンドウのサイドバーを使用して下にスクロールし、サンプルレポート全体を確認します。次のデータが表示されます。

- 適用されたフィルタ（レポートを構築するために使用されたデータフィルタ）。
- データメトリックとサマリー。
- データのグラフィカル表示（回線、バー、円グラフを含む）。
- データの分析を支援するテーブル。

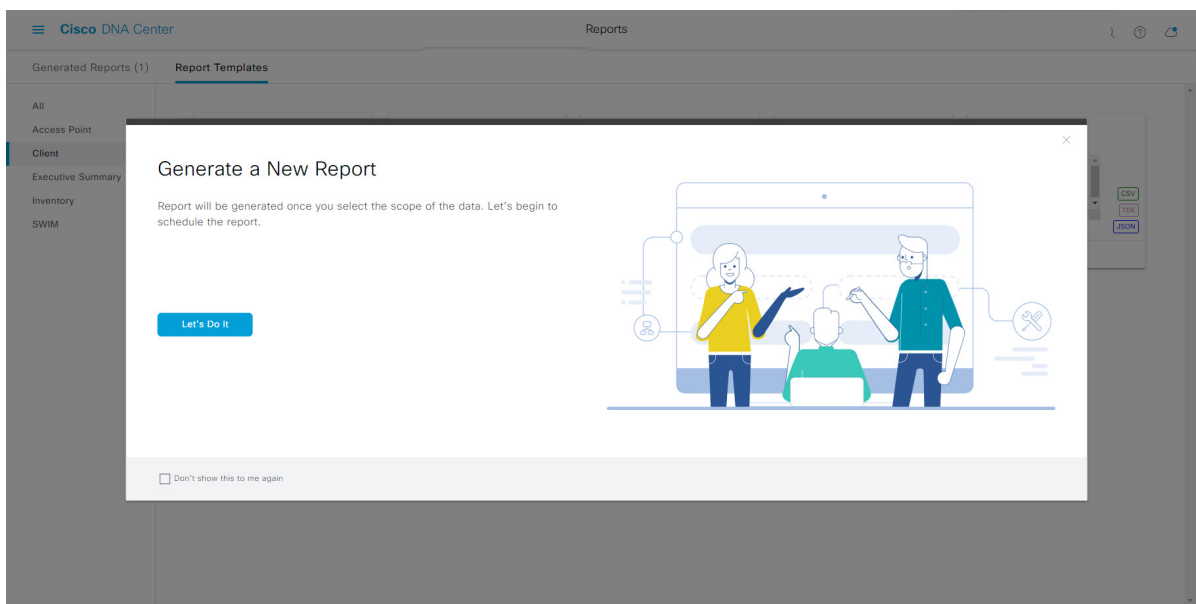
(注) サンプルレポートを使用して、レポートの表示方法を計画できます。

ステップ 4 [X] をクリックして、プレビューを閉じます。

ステップ 5 レポートを作成するためのパラメータを設定するには、タイトルで [Generate] リンクをクリックします。
[Generate] ウィンドウが開きます。このウィンドウで、レポートのフォーマットタイプの選択やデータのフィルタの適用のほか、実際のレポート生成スケジュールの設定が可能です。

ステップ 6 [Generate a New Report] ウィンドウで、[Let's Do It] をクリックして生成を開始します。

図 65: [Generate a New Report]



[Setup the Report Template] ウィンドウが開きます。

ステップ 7 [Setup the Report Template] ウィンドウで、レポートのテンプレートを選択します。

[Template] ドロップダウンメニューからいずれかを選択します。

(注) [Template] には、リリースに対応するカテゴリの個々のレポートタイプが表示されます。

同じウィンドウで自動生成されたサンプルを確認できます。

図 66: [Setup Report Template]

[Next] をクリックして続行します。[Setup the Report Scope] ウィンドウが開きます。

ステップ 8

[Setup the Report Scope] ウィンドウで、レポートの名前を指定して範囲を選択します。

[ReportName] フィールドにレポート名を入力し、[Scope] フィールドをクリックして使用可能なフィルタを表示します。レポートに使用するフィルタオプションをクリックします。

(注) [Report Scope] のオプションは、[Template] の選択に応じて変わります。

図 67: [Setup Report Scope]

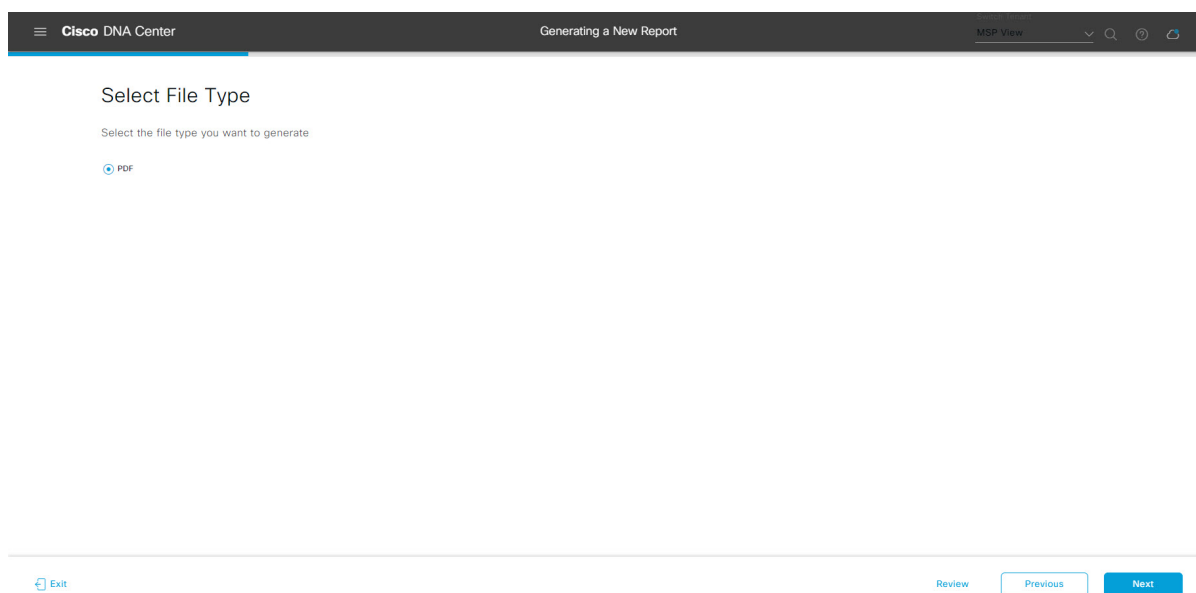
[Next] をクリックして続行します。[Select File Type] ウィンドウが開きます。

ステップ 9 [Select File Type] ウィンドウで、レポートのファイルタイプを選択します。
[File Type] では、作成するレポートに応じて次のオプションを選択できます。

- PDF
- CSV
- **Tableau Data Extract**
- JSON

ファイルタイプが [CSV]、[JSON]、[Tableau Data Extract] の場合、[Fields] オプションが表示され、CSV、JSON、Tableau Data Extract から作成するレポートの属性（追加フィールド）を選択できます。

図 68 : [Select File Type]



[Next] をクリックして続行します。[Schedule Report] ウィンドウが開きます。

ステップ 10 [Schedule Report] ウィンドウで、レポートの時間範囲とスケジュールを選択します。
[Time Range] のオプションは次のとおりです。

- Last 3 hours
- Last 24 hours
- Last 7 days
- Custom

(注) [Custom] をクリックすると、特定のレポートタイプごとに期間の日時と時間範囲のタイムゾーン（GMT）を選択できるフィールドが表示されます。

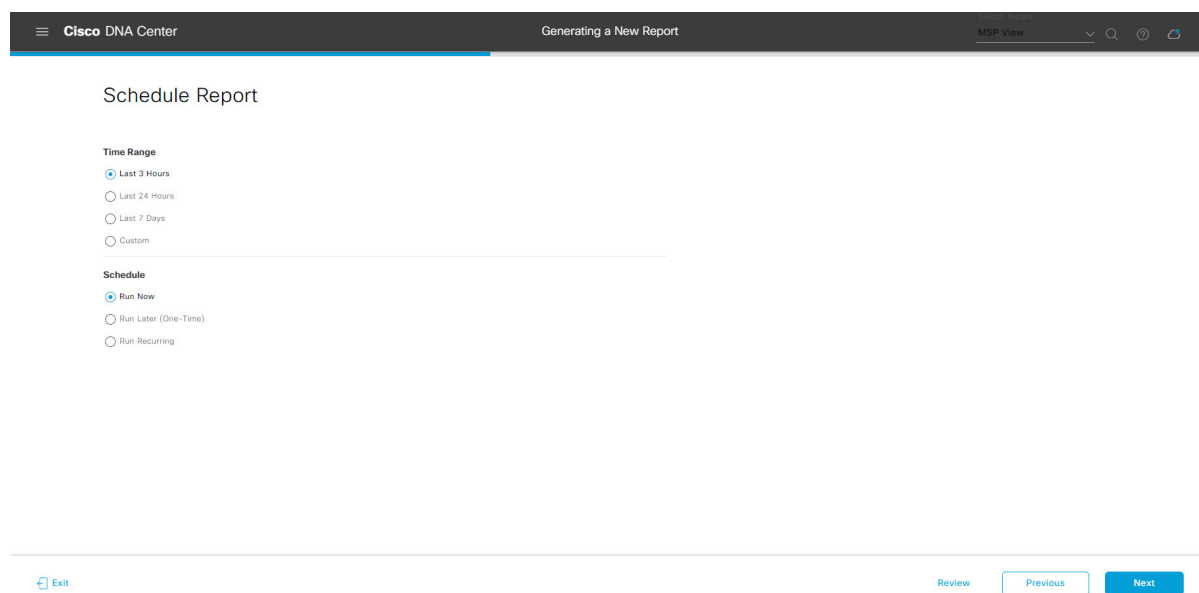
[Schedule] には、次のオプションがあります。

- **Run Now**
- **[Run Later]**
- **[Run Recurring]**

[Schedule] で次のオプションを選択した場合は、レポートのタイムゾーンも選択できます。

- **Custom**
- **[Run Later (One Time)]**
- **[Run Recurring]**

図 69: レポートのスケジュール



[Next] をクリックして続行します。[Delivery and Notification] ウィンドウが開きます。

ステップ 11 [Delivery and Notification] ウィンドウで、レポートの配信方法を選択します。

オプションは次のとおりです。

- **[Email Report]** : 電子メールレポートがリンクまたは添付ファイルとして送信されます。
 - (注) 電子メールの SMTP サーバーをまだ設定していない場合は設定するように求められます。GUI の [Email] タブのプロンプトに従って SMTP サーバーを設定します。[System] > [Settings] > [External Services] > [Destinations] > [Email] タブの順にクリックします。
- **[Link]** : レポートが正常にコンパイルされたことを伝える電子メール通知に、元のレポートと [Reports] の [Generated Reports] ページへのリンクが含まれます。ここからリンクを使用して、レポートを表示およびダウンロードできます。

(注) リンクを含む電子メールレポートでは、最大20の電子メールアドレスがサポートされます。複数の電子メールを追加する場合は、電子メールアドレスを追加した後にキーボードの **Enter** を押す必要があります。Enter を押した時点で、電子メールアドレスについて必要なすべての検証が実行され、電子メールアドレスのシンタックスに誤りがある場合は通知されます。

• [Attachment] : レポートが電子メール通知に添付されます。

(注) 電子メール通知への添付は、PDF レポートでのみサポートされます。また、電子メールに添付できる PDF レポートの最大サイズは20 MB です。電子メールの添付ファイルでは、最大10の電子メールアドレスがサポートされます。複数の電子メールを追加する場合は、電子メールアドレスを追加した後にキーボードの **Enter** を押す必要があります。Enter を押した時点で、電子メールアドレスについて必要なすべての検証が実行され、電子メールアドレスのシンタックスに誤りがある場合は通知されます。

Cisco DNA Center は、レポートに関する次の電子メール通知を送信します。

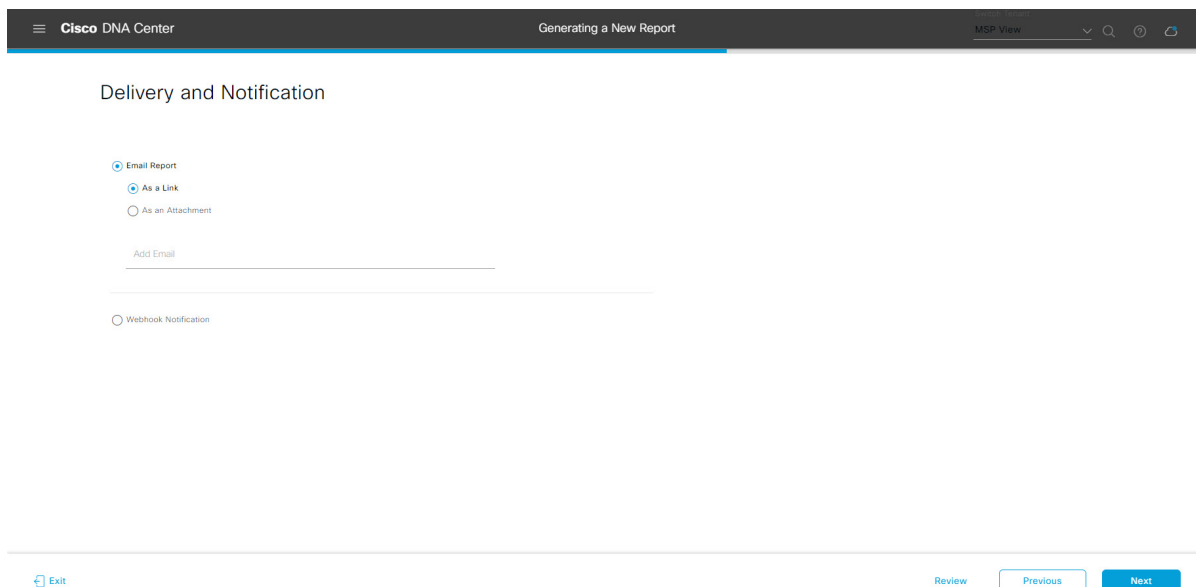
- レポートは、実行待ちのキュー内にあります。
- インポートプロセスは進行中です。
- レポートのコンパイルが正常に完了しました。

• [Webhook Notification] : 設定されたウェブフック URL アドレス (コールバック URL) へのウェブフックとして通知が送信されます。ドロップダウンメニュー ([Subscription Profile] フィールド) からウェブフックを選択します。

(注) まだウェブフックを作成していない場合は作成するように求められます。GUIの[Webhook] タブのプロンプトに従ってウェブフックを設定します。一般に、ウェブフックを設定するには、[System] > [Settings] > [External Services] > [Destinations] > [Webhook] タブの順にクリックします。

レポートのステータスウェブフック通知を受信します。たとえば、「キュー内 (In Queue)」、「進行中 (In Progress)」、「成功 (Success)」のウェブフック通知が届きます。これらの通知は、GUI で表示することもできます。

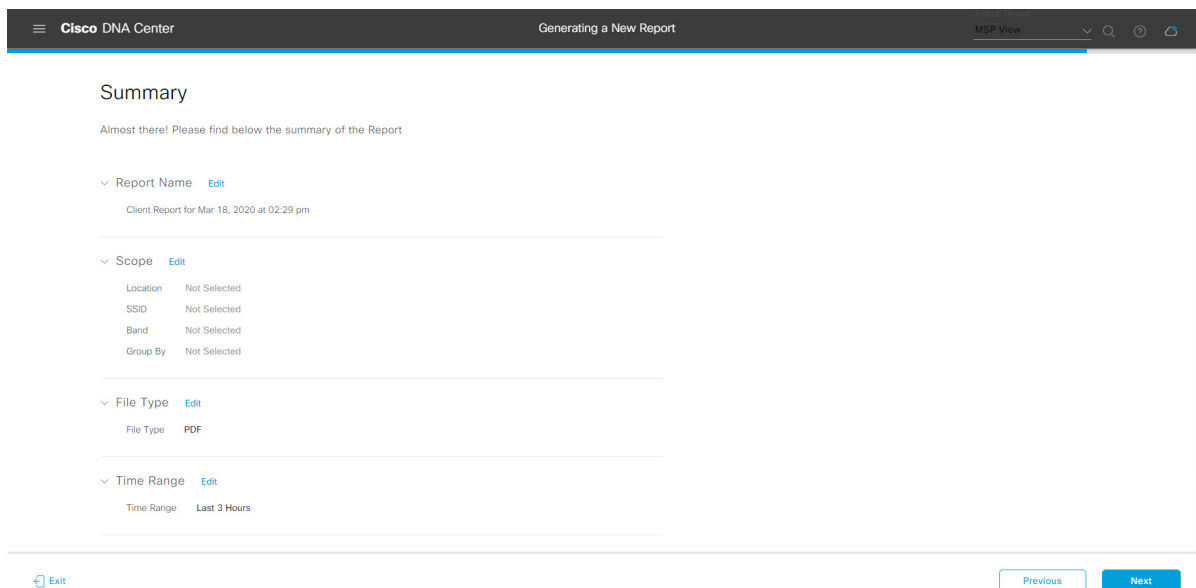
図 70: [Delivery and Notification]



[Next] をクリックして続行します。[Summary] ウィンドウが開きます。

ステップ 12 [Summary] ウィンドウで、設定を確認し、必要に応じてファイルを編集します。

図 71: [Summary]



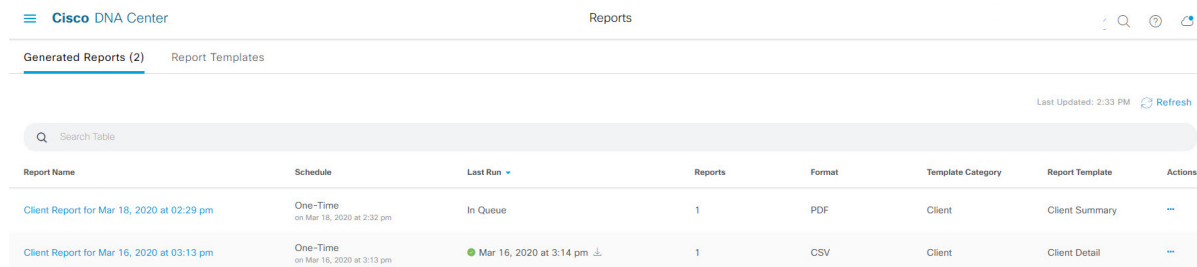
[Next] ボタンをクリックします。

レポートが生成されると、成功したことを示すウィンドウが表示されます。

ステップ 13 [View the Generated Reports] リンクをクリックします。

[Generated Reports] ウィンドウが開き、スケジュールされたレポートのインスタンスの詳細が表示されます。

図 72: [Generated Reports]



The screenshot shows the Cisco DNA Center Reports page. The page title is "Cisco DNA Center" and "Reports". There are tabs for "Generated Reports (2)" and "Report Templates". A search bar is present with the text "Search Table". The table below lists generated reports with columns: Report Name, Schedule, Last Run, Reports, Format, Template Category, Report Template, and Actions.

Report Name	Schedule	Last Run	Reports	Format	Template Category	Report Template	Actions
Client Report for Mar 18, 2020 at 02:29 pm	One-Time on Mar 18, 2020 at 2:32 pm	In Queue	1	PDF	Client	Client Summary	...
Client Report for Mar 16, 2020 at 03:13 pm	One-Time on Mar 16, 2020 at 3:13 pm	Mar 16, 2020 at 3:14 pm ↓	1	CSV	Client	Client Detail	...

次のタスク

[Generated Reports] ウィンドウで、レポートインスタンスを確認します。

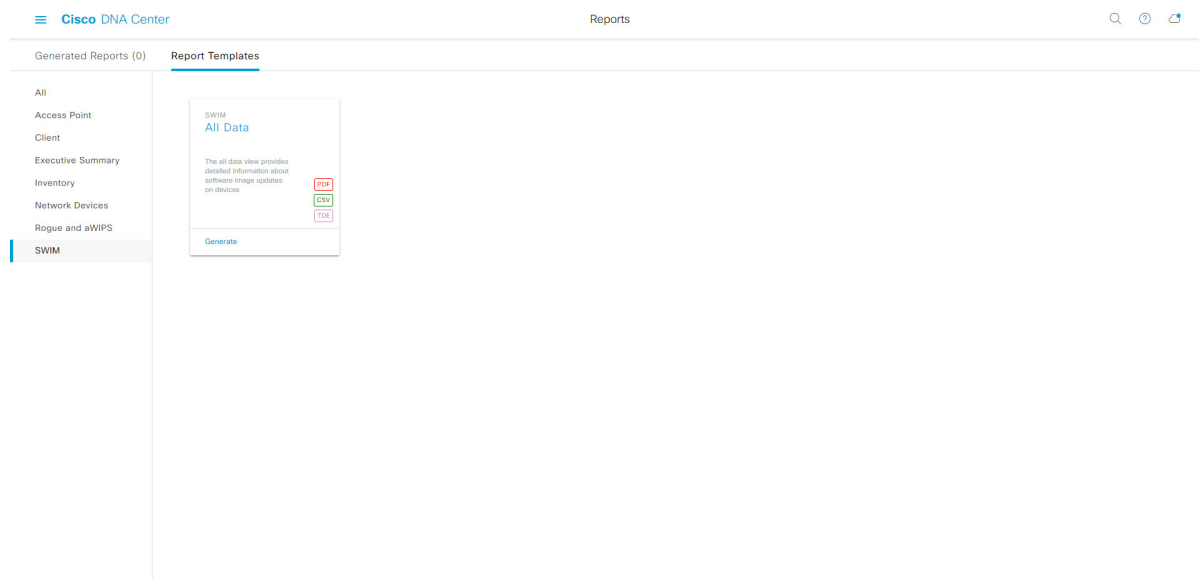


(注) [Generated Reports] ウィンドウで、レポートをダウンロード、確認、編集、複製、または削除できます。詳細については、[生成されたレポートの表示 \(74 ページ\)](#) を参照してください。

SWIM レポートの実行

ネットワークについての **SWIM** レポートを設定するには、次の手順を実行します。Cisco DNA Center GUI の [Reports] ウィンドウを使用して **SWIM** レポートを設定できます。

図 73: SWIM レポート



始める前に

- 正常なディスクバリジョブを Cisco DNA Center で実行します。[Device Inventory] でディスクバリジョブが成功しているかどうか確認できます。[Menu] アイコン (☰) から、[Provision] > [Inventory] の順にクリックして結果を表示します。

ステップ 1 Cisco DNA Center GUI で [Menu] アイコン (☰) をクリックして > [Reports] > [Report Templates] の順に選択します。

[Report Templates] ウィンドウが開き、サポートされているレポートカテゴリが表示されます。各カテゴリはリンクで表されます。リンクをクリックすると、そのカテゴリでサポートされているレポートのみが表示されます。

このリリースでは、次のカテゴリのレポートがサポートされています。

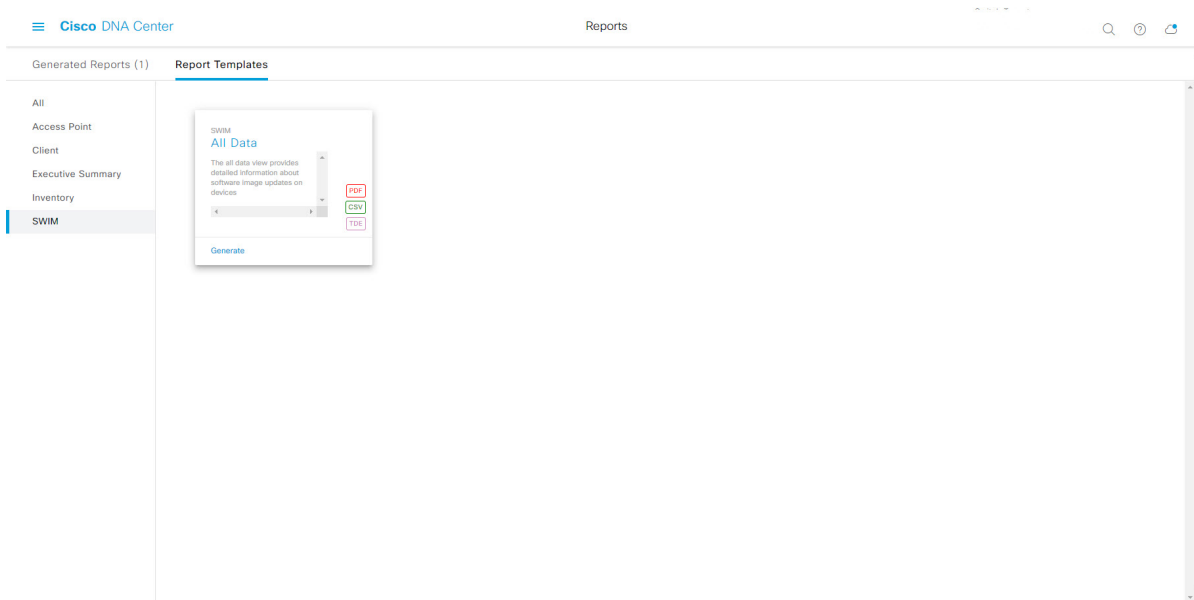
- [Access Point] : アクセスポイントおよびアクセスポイントの無線に関するデータを提供するレポート。
- [Client] : ネットワークにおけるクライアントのパフォーマンスの分析に役立つレポート。
- [Executive Summary] : ネットワークにおけるデバイス、アプリケーション、クライアントのパフォーマンスの分析に役立つレポート。
- [Inventory] : Cisco DNA Center で検出されたデバイスを一覧表示するレポート。
- [Network Devices] : ネットワーク内のデバイスに関するデータを提供するレポート。
- [Rogue and aWIPS] : ネットワーク内の脅威に関するデータを提供するレポート。

- [SWIM]：ネットワーク内のすべてのデバイスのソフトウェアとバージョンを一覧表示するレポート。

(注) [Access Point]、[Client]、[Executive Summary] のレポートのデータは最大 90 日間保持されません。

ステップ 2 リンクをクリックした後、選択したカテゴリの [Report Templates] ウィンドウを確認します。

図 74: [Report Templates] ウィンドウ



[Report Templates] ウィンドウに、サポートされているレポートテンプレートが表示されます。各テンプレートはタイルで表され、レポートに関する情報とレポートを設定（生成）するためのリンクが含まれています。表示されたテンプレートからレポートの生成に使用するテンプレートを選びます。たとえば、**SWIM** レポートの場合は、[All Data] レポートを作成できます。サポートされるレポートのファイルタイプ（PDF、CSV、TDE）もタイル内にアイコンで示されます。

ステップ 3 サンプルレポートを表示するには、タイルでヘッダーをクリックします。

サンプルレポートのウィンドウが表示されます。ウィンドウのサイドバーを使用して下にスクロールし、サンプルレポート全体を確認します。次のデータが表示されます。

- 適用されたフィルタ（レポートを構築するために使用されたデータフィルタ）。
- データメトリックとサマリー。
- データの分析を支援するテーブル。

(注) サンプルレポートを使用して、レポートの表示方法を計画できます。

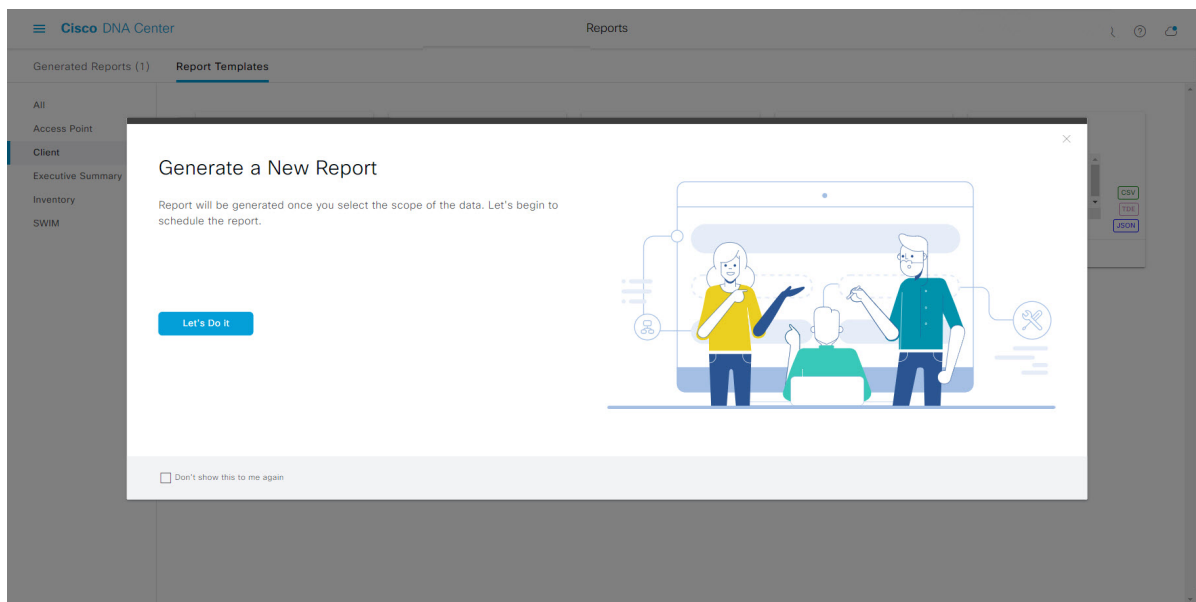
ステップ 4 [X] をクリックして、プレビューを閉じます。

ステップ 5 レポートを作成するためのパラメータを設定するには、タイルで [Generate] リンクをクリックします。

[Generate] ウィンドウが開きます。このウィンドウで、レポートのフォーマットタイプの選択やデータのフィルタの適用のほか、実際のレポート生成スケジュールの設定が可能です。

ステップ 6 [Generate a New Report] ウィンドウで、[Let's Do It] をクリックして生成を開始します。

図 75: [Generate a New Report]



[Setup the Report Template] ウィンドウが開きます。

ステップ 7 [Setup the Report Template] ウィンドウで、レポートのテンプレートを選択します。

[Template] ドロップダウンメニューからいずれかを選択します。

(注) [Template] には、リリースに対応するカテゴリの個々のレポートタイプが表示されます。

同じウィンドウで自動生成されたサンプルを確認できます。

図 76: [Setup Report Template]

[Next] をクリックして続行します。[Setup the Report Scope] ウィンドウが開きます。

ステップ 8

[Setup the Report Scope] ウィンドウで、レポートの名前を指定して範囲を選択します。

[Report Name] フィールドにレポート名を入力し、[Scope] フィールドをクリックして使用可能なフィルタを表示します。レポートに使用するフィルタオプションをクリックします。

(注) [Report Scope] のオプションは、[Template] の選択に応じて変わります。

図 77: [Setup Report Scope]

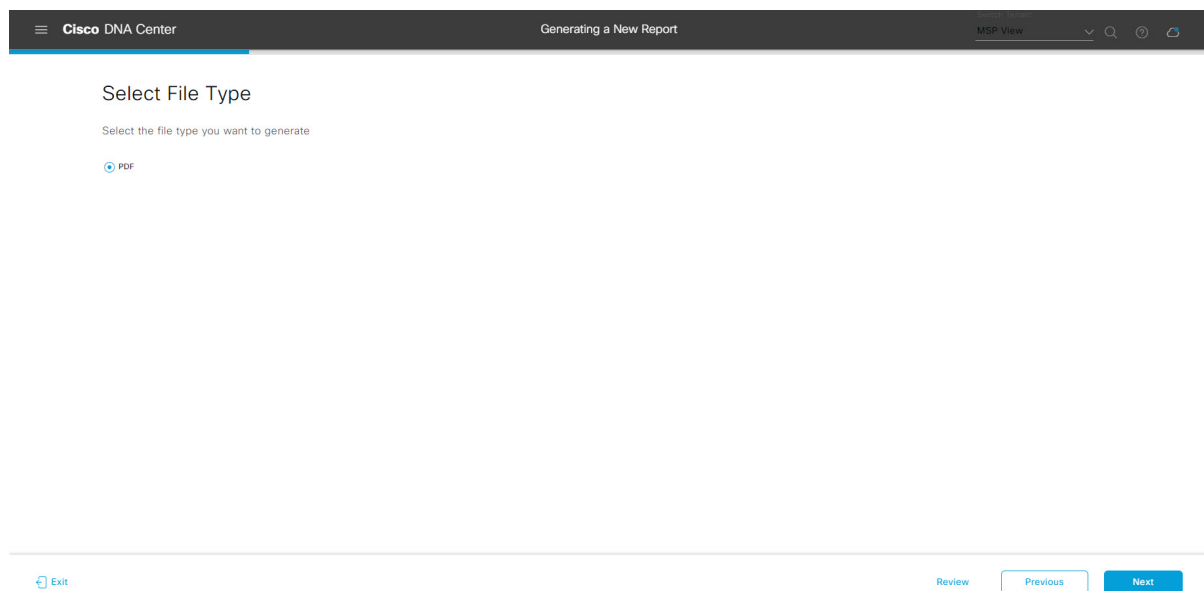
[Next] をクリックして続行します。[Select File Type] ウィンドウが開きます。

ステップ 9 [Select File Type] ウィンドウで、レポートのファイルタイプを選択します。
[File Type] では、作成するレポートに応じて次のオプションを選択できます。

- **PDF**
- **CSV**
- **Tableau Data Extract**
- **JSON**

ファイルタイプが [CSV]、[JSON]、[Tableau Data Extract] の場合、[Fields] オプションが表示され、CSV、JSON、Tableau Data Extract から作成するレポートの属性（追加フィールド）を選択できます。

図 78: [Select File Type]



[Next] をクリックして続行します。[Schedule Report] ウィンドウが開きます。

ステップ 10 [Schedule Report] ウィンドウで、レポートの時間範囲とスケジュールを選択します。
[Time Range] のオプションは次のとおりです。

- **Last 3 hours**
- **Last 24 hours**
- **Last 7 days**
- **Custom**

(注) [Custom] をクリックすると、特定のレポートタイプごとに期間の日時と時間範囲のタイムゾーン (GMT) を選択できるフィールドが表示されます。

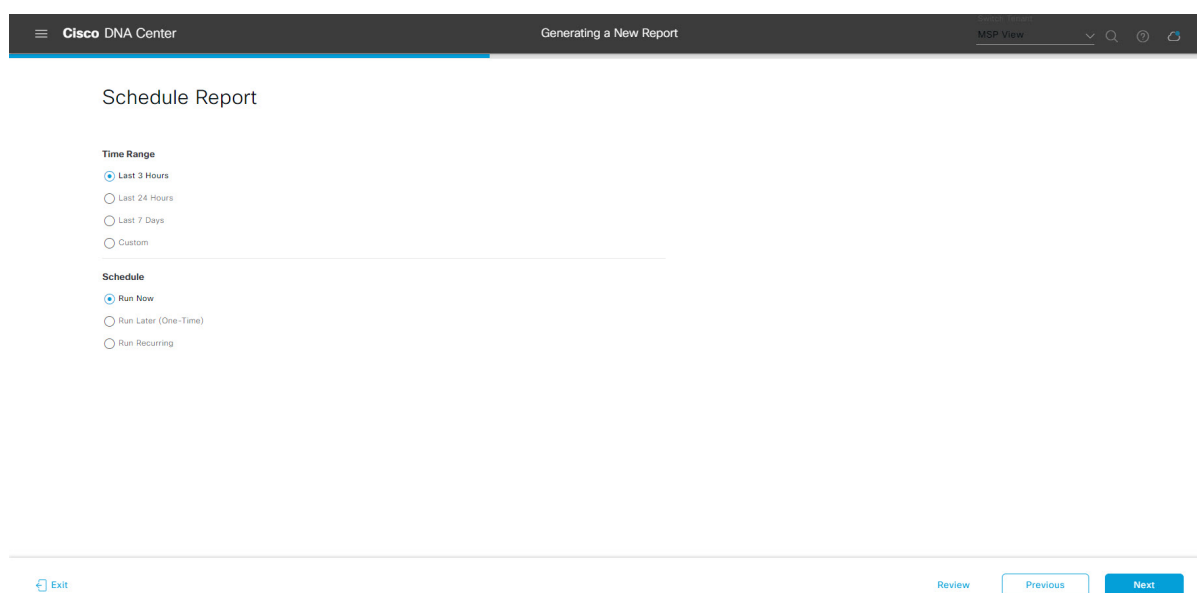
[Schedule] には、次のオプションがあります。

- **Run Now**
- **[Run Later]**
- **[Run Recurring]**

[Schedule] で次のオプションを選択した場合は、レポートのタイムゾーンも選択できます。

- **Custom**
- **[Run Later (One Time)]**
- **[Run Recurring]**

図 79: レポートのスケジュール



[Next] をクリックして続行します。[Delivery and Notification] ウィンドウが開きます。

ステップ 11 [Delivery and Notification] ウィンドウで、レポートの配信方法を選択します。

オプションは次のとおりです。

- **[Email Report]** : 電子メールレポートがリンクまたは添付ファイルとして送信されます。
(注) 電子メールのSMTPサーバーをまだ設定していない場合は設定するように求められます。GUIの [Email] タブのプロンプトに従ってSMTPサーバーを設定します。[System] > [Settings] > [External Services] > [Destinations] > [Email] タブの順にクリックします。
- **[Link]** : レポートが正常にコンパイルされたことを伝える電子メール通知に、元のレポートと [Reports] の [Generated Reports] ページへのリンクが含まれます。ここからリンクを使用して、レポートを表示およびダウンロードできます。

(注) リンクを含む電子メールレポートでは、最大20の電子メールアドレスがサポートされます。複数の電子メールを追加する場合は、電子メールアドレスを追加した後にキーボードの **Enter** を押す必要があります。Enter を押した時点で、電子メールアドレスについて必要なすべての検証が実行され、電子メールアドレスのシンタックスに誤りがある場合は通知されます。

• [Attachment] : レポートが電子メール通知に添付されます。

(注) 電子メール通知への添付は、PDF レポートでのみサポートされます。また、電子メールに添付できる PDF レポートの最大サイズは 20 MB です。電子メールの添付ファイルでは、最大 10 の電子メールアドレスがサポートされます。複数の電子メールを追加する場合は、電子メールアドレスを追加した後にキーボードの **Enter** を押す必要があります。Enter を押した時点で、電子メールアドレスについて必要なすべての検証が実行され、電子メールアドレスのシンタックスに誤りがある場合は通知されます。

Cisco DNA Center は、レポートに関する次の電子メール通知を送信します。

- レポートは、実行待ちのキュー内にあります。
- インポートプロセスは進行中です。
- レポートのコンパイルが正常に完了しました。

• [Webhook Notification] : 設定されたウェブフック URL アドレス (コールバック URL) へのウェブフックとして通知が送信されます。ドロップダウンメニュー ([Subscription Profile] フィールド) からウェブフックを選択します。

(注) まだウェブフックを作成していない場合は作成するように求められます。GUI の [Webhook] タブのプロンプトに従ってウェブフックを設定します。一般に、ウェブフックを設定するには、[System] > [Settings] > [External Services] > [Destinations] > [Webhook] タブの順にクリックします。

レポートのステータスウェブフック通知を受信します。たとえば、「キュー内 (In Queue)」、「進行中 (In Progress)」、「成功 (Success)」のウェブフック通知が届きます。これらの通知は、GUI で表示することもできます。

図 80 : [Delivery and Notification]

The screenshot shows the 'Delivery and Notification' configuration page in Cisco DNA Center. The page title is 'Generating a New Report'. Under 'Delivery and Notification', there are three radio button options: 'Email Report' (selected), 'As a Link', and 'As an Attachment'. Below these is an 'Add Email' input field. There is also a 'Webhook Notification' option. At the bottom right, there are 'Review', 'Previous', and 'Next' buttons.

[Next] をクリックして続行します。[Summary] ウィンドウが開きます。

ステップ 12 [Summary] ウィンドウで、設定を確認し、必要に応じてファイルを編集します。

図 81 : [Summary]

The screenshot shows the 'Summary' configuration page in Cisco DNA Center. The page title is 'Generating a New Report'. The main heading is 'Summary' with the subtext 'Almost there! Please find below the summary of the Report'. There are four expandable sections: 'Report Name' (Client Report for Mar 18, 2020 at 02:29 pm), 'Scope' (Location: Not Selected, SSID: Not Selected, Band: Not Selected, Group By: Not Selected), 'File Type' (File Type: PDF), and 'Time Range' (Time Range: Last 3 Hours). At the bottom right, there are 'Previous' and 'Next' buttons.

[Next] ボタンをクリックします。

レポートが生成されると、成功したことを示すウィンドウが表示されます。

ステップ 13 [View the Generated Reports] リンクをクリックします。

[Generated Reports] ウィンドウが開き、スケジュールされたレポートのインスタンスの詳細が表示されます。

図 82 : [Generated Reports]

The screenshot shows the Cisco DNA Center Reports interface. At the top, there are tabs for 'Generated Reports (2)' and 'Report Templates'. A search bar is present with the text 'Search Table'. Below the search bar is a table with the following columns: Report Name, Schedule, Last Run, Reports, Format, Template Category, Report Template, and Actions. Two reports are listed:

Report Name	Schedule	Last Run	Reports	Format	Template Category	Report Template	Actions
Client Report for Mar 18, 2020 at 02:29 pm	One-Time on Mar 18, 2020 at 2:32 pm	In Queue	1	PDF	Client	Client Summary	...
Client Report for Mar 16, 2020 at 03:13 pm	One-Time on Mar 16, 2020 at 3:13 pm	Mar 16, 2020 at 3:14 pm	1	CSV	Client	Client Detail	...

次のタスク

[Generated Reports] ウィンドウで、レポートインスタンスを確認します。



(注) [Generated Reports] ウィンドウで、レポートをダウンロード、確認、編集、複製、または削除できます。詳細については、[生成されたレポートの表示 \(74 ページ\)](#) を参照してください。

生成されたレポートの表示

以前生成したレポートをダウンロード、確認、編集、複製、または削除するには、この手順を実行します。

図 83 : [Generated Reports]

The screenshot shows the Cisco DNA Center Reports interface with tabs for 'Generated Reports', 'Report Templates', and 'Usage Insights'. A search bar is present with the text 'Search Table'. Below the search bar is a table with the following columns: Report Name, Schedule, Last Run, Reports, Format, Template Category, Report Template, and Actions. Five reports are listed:

Report Name	Schedule	Last Run	Reports	Format	Template Category	Report Template	Actions
Network Devices Report - Network Interface Utilization - May 31 2023 at 10:38	One-Time on May 31, 2023 at 10:38 am	Expired	0	CSV	Network Devices	Network Interface Utilization	...
Network Devices Report - Network Interface Utilization - May 31 2023 at 10:52	One-Time on May 31, 2023 at 10:53 am	Expired	0	CSV	Network Devices	Network Interface Utilization	...
Network Devices Report - Device CPU and Memory Utilization - May 31 2023 at 11:04	One-Time on May 31, 2023 at 11:04 am	Expired	0	CSV	Network Devices	Device CPU and Memory Utilization	...
Client Report - Top N Summary - May 31 2023 at 11:38	One-Time on May 31, 2023 at 11:39 am	Expired	0	PDF	Client	Top N Summary	...
Client Report - Top N Summary - May 31 2023 at 11:39	One-Time on May 31, 2023 at 11:40 am	Expired	0	PDF	Client	Top N Summary	...

Showing 62 of 62

始める前に

- 正常なディスカバリジョブを Cisco DNA Center で実行します。[Device Inventory] でディスカバリジョブが成功しているかどうか確認できます。[Menu] アイコン (☰) から、[Provision] > [Inventory] の順にクリックして結果を表示します。
- [Catalog] の [Schedule] 機能を使って、レポートを作成します。

ステップ 1 [Reports]Cisco DNA Center GUI で [Menu] アイコン (☰) をクリックして。

ステップ 2 [Generated Reports] タブをクリックします。

次の情報が表示されます。

- [Report Name] : レポートの名前。
- レポート名を指定しなかった場合は、レポートの日付と時刻とともにレポートタイプを含むデフォルト名がレポートに設定されます。

(注) このリリースでは、レポート名がリンクになっており、クリックすると [Generated Reports] ウィンドウ内でそのレポートが表示されます。さらに、レポートのコピーをダウンロードするための [Download] リンクも用意されています。
- [Schedule] : 生成された 1 回限りのレポートまたは繰り返しのレポート。レポートの生成スケジュールについての簡単な説明も表示されます。
- [Last Run] : レポートの実行ステータスと詳細が表示されます。次のレポート実行ステータスタイプが表示される場合があります。
 - [Not Initiated] : スケジュールされたが、まだ開始されていないレポート。
 - [In Queue] : スケジュールされ、実行する処理キュー内にあるレポート。
 - [In Progress] : 現在実行中のレポート。
 - [Completed] : 実行が完了したレポート。完了時の日付と時刻が表示されます。
アイコン (下矢印) をクリックすると、最後に生成されたレポートがダウンロードされます。
 - [Expired] : 期限切れになり、Cisco DNA Center で使用できなくなっているレポート。
 - [Error] : レポートの実行に失敗しました。
- [Reports] : 合計で最大 7 個のレポート数。

表示されたレポート数にマウスのカーソルを合わせると、[View Report List] が表示されます。レポートダイアログボックスを表示するには、[View Report List] をクリックします。レポートダイアログボックスには、すべてのレポート実行とそのステータス ([Not Initiated]、[In Queue]、[In Progress]、[Completed]、[Expired]、[Error])、およびコピーをダウンロードするための [Download] ボタンが表示されます。[Error] をクリックすると、レポートの実行に関するエラーと警告が表示されます。

重要 Cisco DNA Center プラットフォーム 合計 7 個のレポートを保持します。具体的には、Cisco DNA Center プラットフォームは実行された最後の 7 個のレポートと、過去 7 日間（週）に実行された最後の 7 個のレポートを保持します。たとえば、1 日に 8 個のレポートを実行した場合、Cisco DNA Center プラットフォームは最後の 7 個のレポートのみを保持します。毎日 1 つのレポートをスケジュールすると、Cisco DNA Center プラットフォームは過去 7 日間（週）にわたる最新の 7 個のレポートのみを保持します。また、Cisco DNA Center プラットフォームからさまざまな形式でレポートをエクスポートし、それらを安全な場所にアーカイブすることもできます。

- [Format] : ファイル形式タイプ（PDF または CSV ファイル形式など）。
- [Template Category] : カタログオプション（クライアント、SWIM、インベントリ）に基づくレポートのタイプ。
- [Report Template] : レポートの生成に使用されたテンプレート。
- [Actions] : レポートで実行できるタスクのリスト。

[Filter] アイコンをクリックしてフィルタを使用するか、[Find] フィールドにキーワードを入力することで、GUI に表示されるダウンロードを調整することができます。

ステップ 3 次の 1 つ以上のタスクを実行するには、[Actions] をクリックします。

- [Edit] : レポートに設定されたパラメータ（スケジュールを含む）が表示されるウィンドウを開きます。このウィンドウでは、設定されているレポートパラメータを確認できます。ただし、このウィンドウでは、レポート設定を変更できません。これは、読み取り専用ビューです。設定を編集する必要がある場合は、[Edit] をクリックします。[Edit] をクリックすると、レポート設定を表示および編集できます。
- [Edit] : レポートに設定されたパラメータ（スケジュールを含む）が表示されるウィンドウを開きます。このウィンドウでは、パラメータの確認および編集もできます。レポートを編集した後、[Save] をクリックします。

重要 レポート設定を編集して更新すると、以降のレポート実行にはこの新しい設定が反映されます。このことは、繰り返しのスケジュールでレポートが生成されている場合に重要です。さらに、レポート設定を編集して更新すると、Cisco DNA Center プラットフォームの以前のレポートはすべて削除されます。このウィンドウで、[Save] ボタンをクリックすると、削除に関する警告が GUI に表示されます。[Save] ボタンをクリックして以前のすべてのレポートを削除するために設定で編集を行う必要はありません。

- [Duplicate] : レポートのパラメータを表示または設定できる [Duplicate] ウィンドウが開きます。[Generate Report] をクリックして、レポートを再度生成します。

(注) 既存のレポートとその設定に基づいて新しいレポートを作成する場合は、[Duplicate] オプションを使用し、設定を変更します。これにより、既存のレポートとその設定を保持したまま、既存のレポートと同様の新しいレポートを作成できます。既存のレポートを廃棄して新しいレポートに完全に置き換える場合は、前述のように [View Config] と [Edit] のオプションを使用します。

- **[Run Now]** : レポートを実行するプロセスを開始します。レポートの実行が成功すると、成功メッセージが表示されます。
 - (注) レポートを実行しようとしたときに以前のレポートが7個ある場合、最後の7つのレポートのみが保存されることを示す警告が GUI に表示されます。レポートの既存のスケジュール以外でレポートを生成する必要がある場合は、**[Run Now]** オプションを使用します。
 - **[Delete]** : レポートを削除します。レポートを削除する前に、このアクションを確認するよう求められます。
-

翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。